

富山市町内会アンケート調査  
報告書

富山市



# 目次

<b>I 町内会アンケート調査の実施概要</b> .....	<b>1</b>
<b>II 町内会アンケート調査の結果</b> .....	<b>2</b>
<b>第1章 町内会の概要</b> .....	<b>2</b>
1. 町内会の概況 .....	2
2. 役員・町内会長について .....	6
3. 財政 .....	13
4. 総会への参加状況 .....	19
<b>第2章 町内会の活動</b> .....	<b>20</b>
1. 活動場所 .....	20
2. 活動状況 .....	21
3. 広報 .....	32
4. 加入促進 .....	35
5. 運営における課題 .....	42
<b>第3章 今後の町内会活動</b> .....	<b>45</b>
<b>IV 町内会の課題</b> .....	<b>74</b>
1. 地区別現況と課題 .....	74
2. 課題解決のための事例調査 .....	82
<b>【参考資料】</b> .....	<b>101</b>
1. クロス集計（町内会長の業務への考え及び負担） .....	101
2. アンケート票 .....	108



## I 町内会アンケート調査の実施概要

### (1) 調査の目的

人口減少や少子・超高齢化の進行による役員の担い手不足、価値観や生活様式の多様化による地域コミュニティの希薄化等が懸念されるとともに、コロナ禍により地域のイベント等の縮小、延期、休止など、地域活動への制限を余儀なくされた。そこで、市内の町内会長を対象にアンケート調査を実施し、各町内会の実情やニーズを整理するとともに、町内会が抱える課題を解決する糸口を探り、今後の施策に繋げることを目的とする。

### (2) 調査の対象

- ・市内町内会会長

### (3) 調査対象の抽出方法

- ・自治振興会から、積極的に活動している町内会や、課題を抱えている町内会の情報提供を受け、地域ごとに対象町内会を決定した。

### (4) 調査の実施方法

- ・自治振興会を通じて対象者に配布、回収

### (5) 調査の実施期間

- ・配布：令和5年8月10日
- ・回答締切：令和5年9月8日

### (6) 実施結果（回収数）

種 類	町内会数 (実数)	配布数 (抽出数)	回収数	未回収	回収率
町内会アンケート	1,423	146	137	9	93.8%

## Ⅱ 町内会アンケート調査の結果

### 第1章 町内会の概要

#### 1. 町内会の概況

問1 町内会の概況についてお答えください。

① 地域

・地域別の回収状況は以下のとおりであり、概ね配布数を回収している。

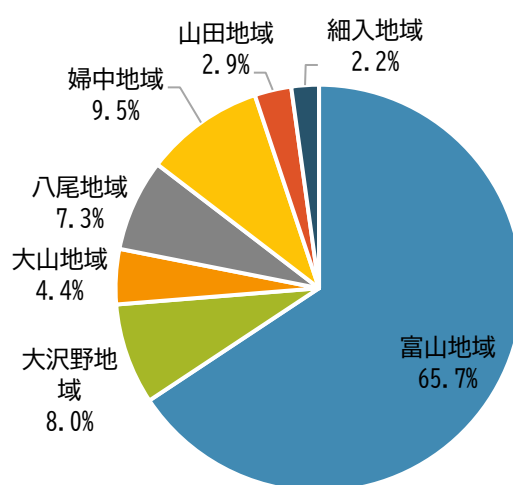


図1-1 地域（全体）

項目	配布数	回答数	地域別割合	富山地域と
				その他地域の割合
1 富山地域	95	90	65.7	65.7%
2 大沢野地域	11	11	8.0	34.3%
3 大山地域	7	6	4.4	
4 八尾地域	12	10	7.3	
5 婦中地域	14	13	9.5	
6 山田地域	4	4	2.9	
7 細入地域	3	3	2.2	
計	146	137	100.0%	100.0%

## ② 結成時期

- ・ 結成時期は、全体では「不明」(29.2%) が最も多く、結成時期が認知されていないことがうかがえる。
- ・ 年代がわかる町内会では「昭和 20 年代以前」が約 3 割であり、80 年より前から結成されている町内会が多い。
- ・ 富山地域では、全体よりも「不明」が 21.1%と 8.1 ポイント低く、結成時期が明瞭な町内会が高い。
- ・ 富山地域以外では、「不明」や「昭和 20 年代以前」が比較的高い。

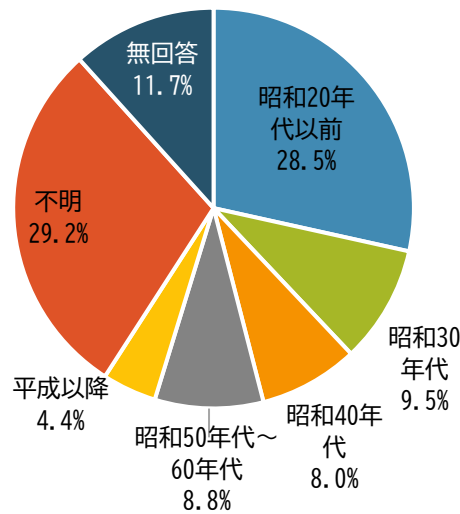


図 1-2-① 結成時期 (全体)

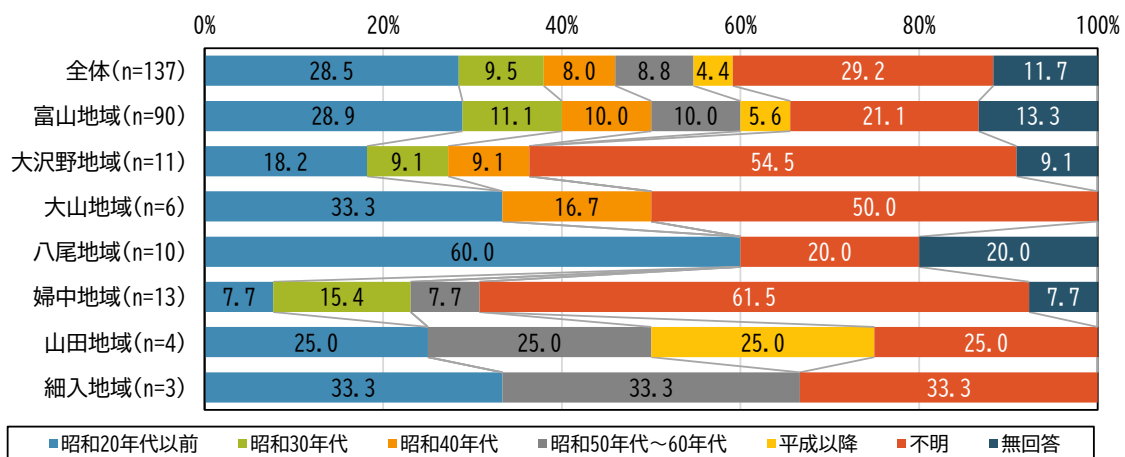


図 1-2-② 結成時期 (地域別)

### ③ 世帯数

- ・世帯数は、全体では「1～50 世帯」が 25.5%、「51～100 世帯」が 22.6%であり、約半数を占める。次いで「101～200 世帯」が 24.8%であり、「201 世帯以上」20.4%である。
- ・地域別にみると「富山地域」以外において「1～50 世帯」が3割を超えており、富山地域に比べ小規模な世帯が多い。

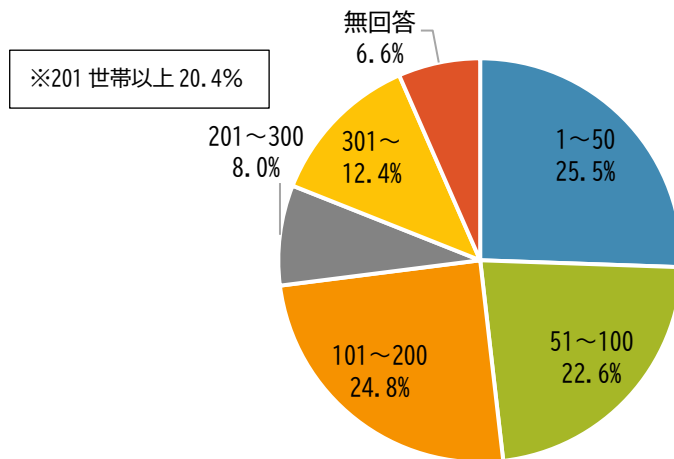


図 1-3-①世帯数 (全体)

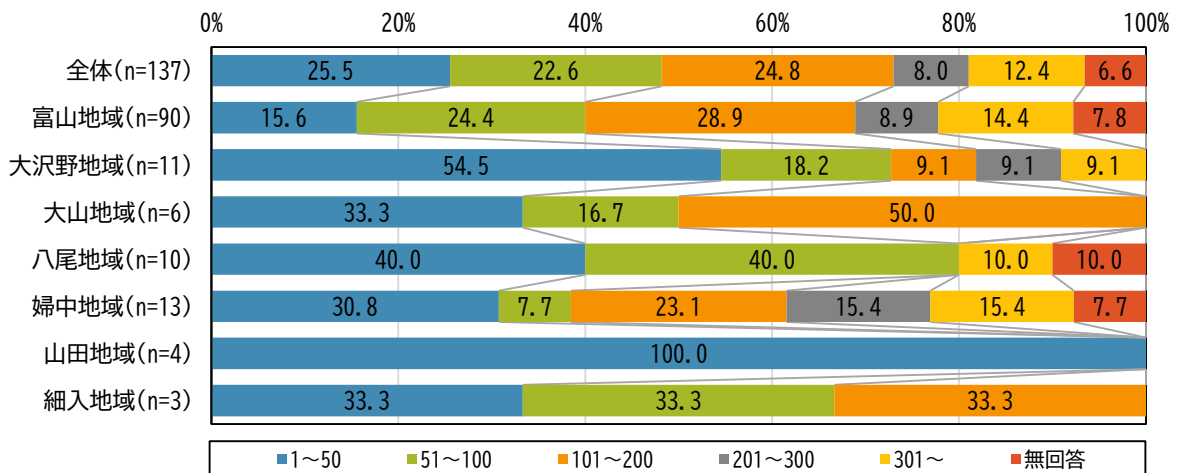


図 1-3-②世帯数 (地域別)



#### ④ 班数

- ・班数は、全体をみると1つの町内会で「10班」以内が66.4%と最も多く半数以上の割合を占める。次いで、「11～20班」が18.2%、「21班以上」が7.3%であり、併せて4分の1程度が11班以上となっている。
- ・富山地域では「1～10班」が少なく、その他地域では多い傾向がある。

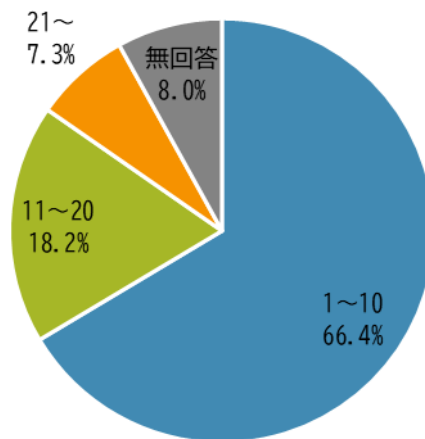


図 1-4-① 班数（全体）

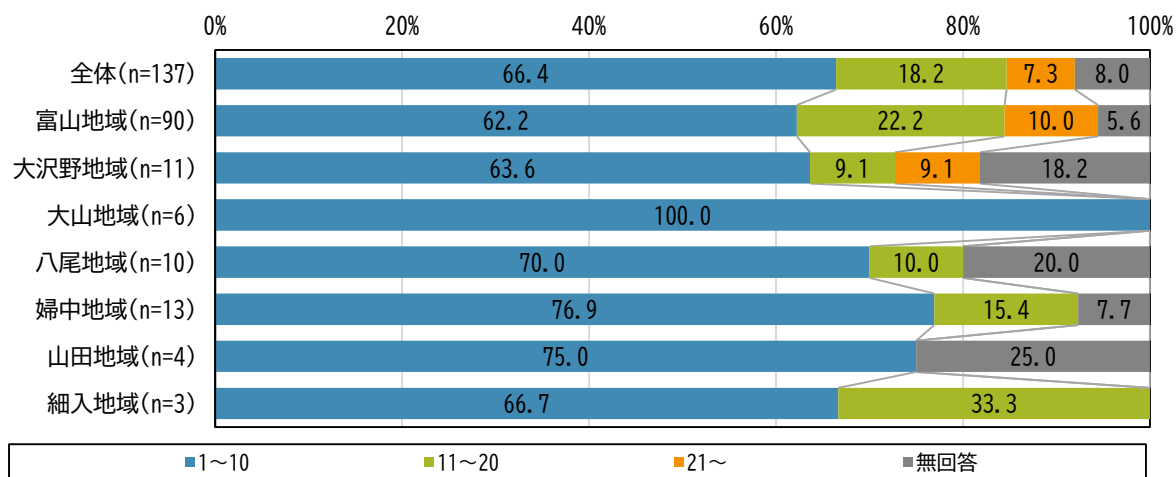


図 1-4-② 班数（地域別）

## 2. 役員・町内会長について

### 問2 町内会長ご自身についてお答えください。

#### ①性別

・性別は、男性が96.4%とほとんどを占めている。

#### ②年齢

・全体では「60歳代」が43.1%と最も多く、次いで「70歳代」が35.8%であり、60歳代以上が8割と若い世代が少ない状況である。

・富山地域をみると、全体と比べ70歳代が9.8ポイント高く、また50歳代では5.3ポイント低く、高い年齢層の町内会長が多い。

・「大沢野地域」は20歳代から、「婦中地域」「山田地域」では40歳代からの年齢の割合が高く、町内会長の年齢が若年化している。逆に、「細入地域」では60～70歳代のみとなっている。

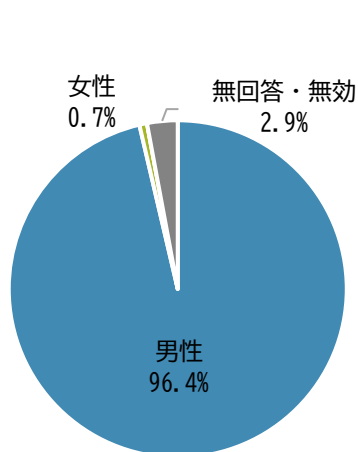


図 2-1-① 性別 (全体)

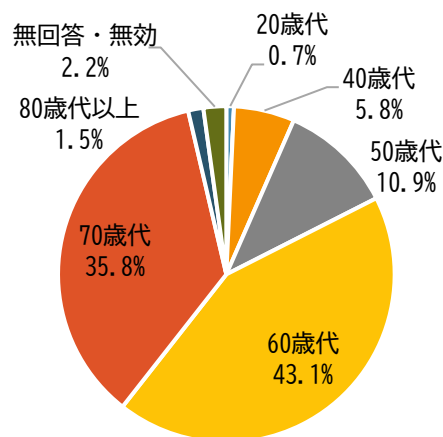


図 2-2-① 年齢 (全体)

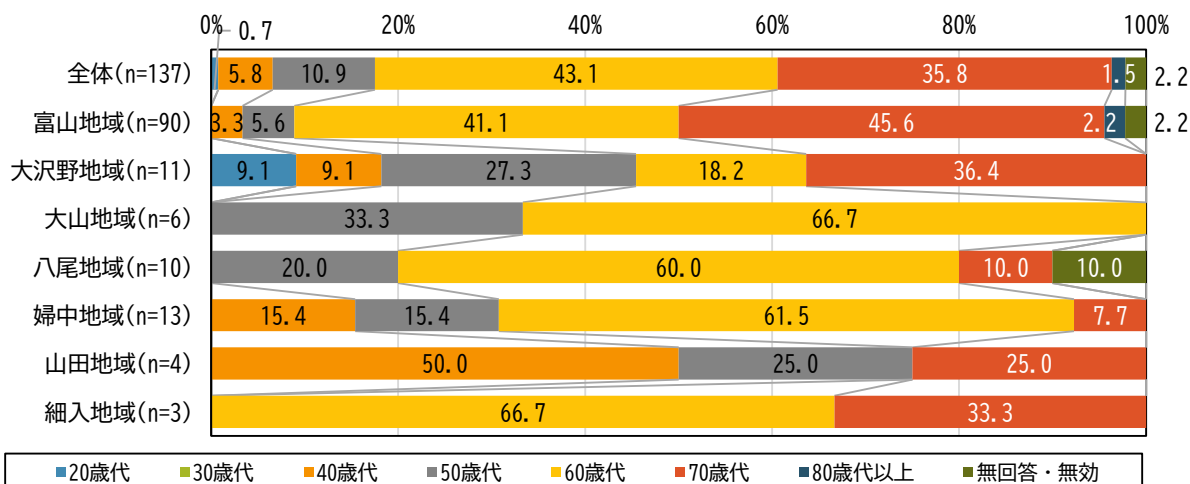


図 2-2-① 年齢 (全体)

### ③会長の任期

- ・会長の任期は、全体で「1年」が4割、「2年」が5割で2年以内が9割を占めている。
- ・地域別にみると、富山地域以外では、「1年」の割合が高く、細入地域以外で7割を超えており、会長の任期は短い傾向にある。

### ④在職年数

- ・全体では「1年未満」が4割で、任期と同様に在職年数は短い。
- ・地域別にみると、任期と同様に富山地域以外では「1年未満」の割合が7割以上と高い傾向にある。

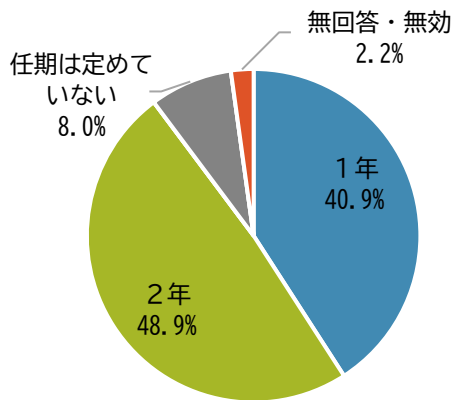


図 2-3-① 会長の任期 (全体)

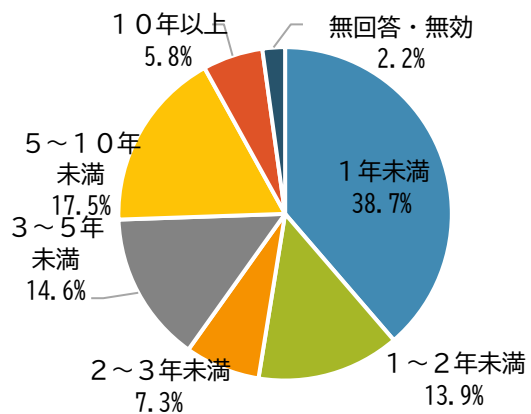


図 2-4-① 在職年数 (全体)

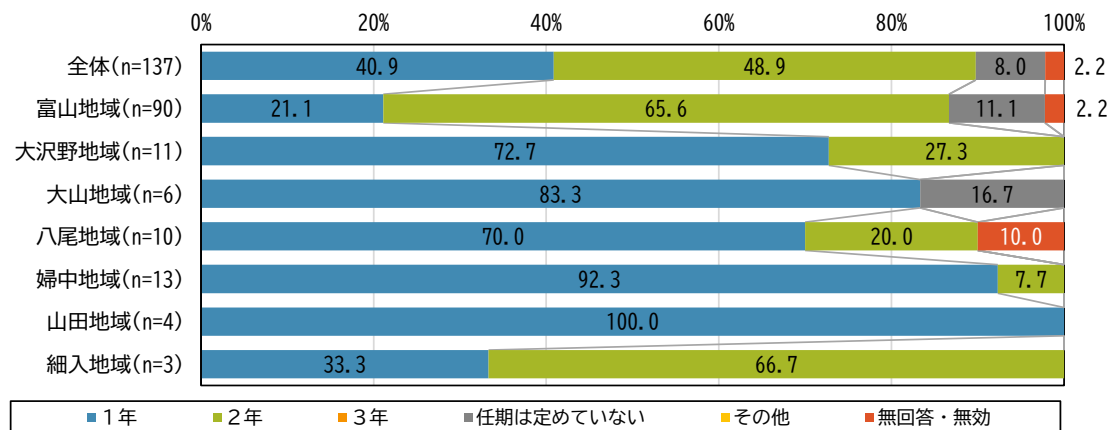


図 2-3-② 会長の任期 (地域別)

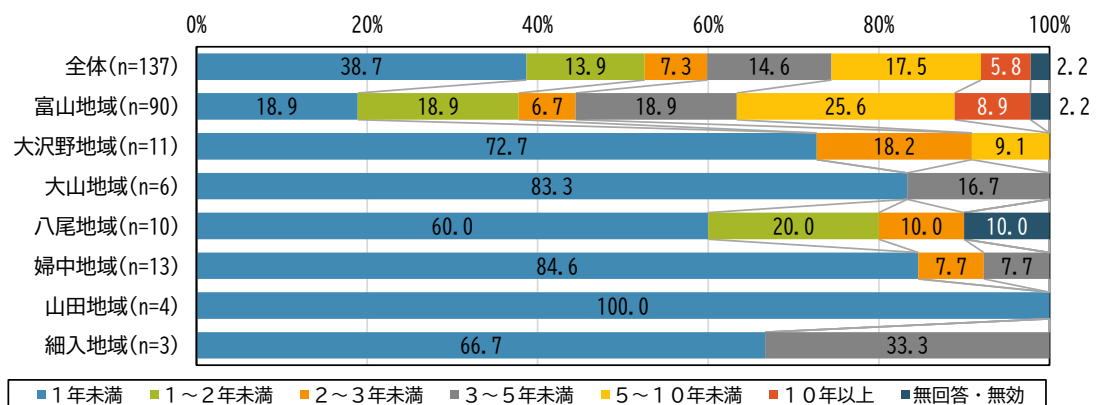


図 2-4-② 在職年数 (地域別)

⑤職業

- ・職業は、「会社員」(36.5%)、「無職」(33.6%)、「自営業」(12.4%)の順に多い。
- ・地域別にみると、富山地域以外では比較的「会社員」の割合が高く「無職」の割合が低い状況である。

⑥兼任している役職

- ・全体をみると「兼任していない」が42.0%であり、それ以外の「兼任している」が半数以上を占めている。
- ・地域別にみると、富山地域以外では比較的「兼任していない」が高い。

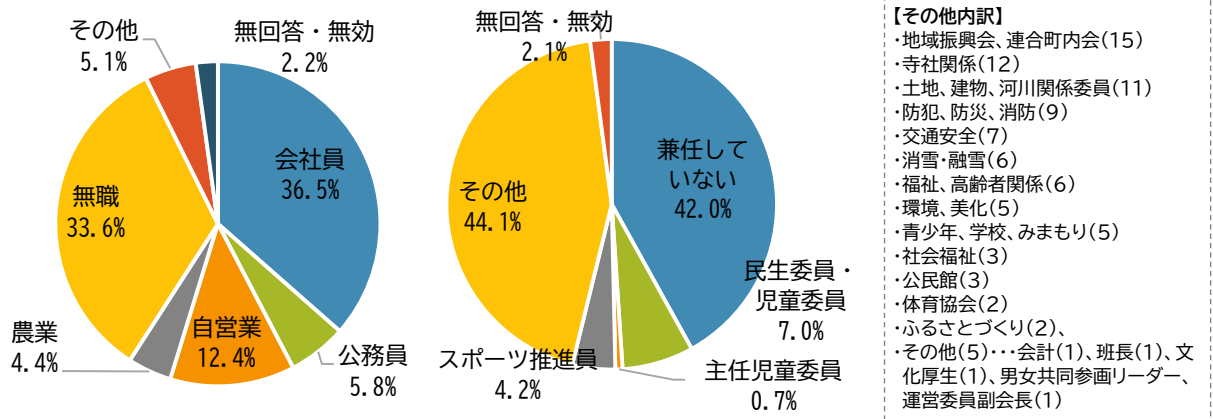


図 2-5-① 職業 (全体)

図 2-6-① 兼任している役職 (全体)

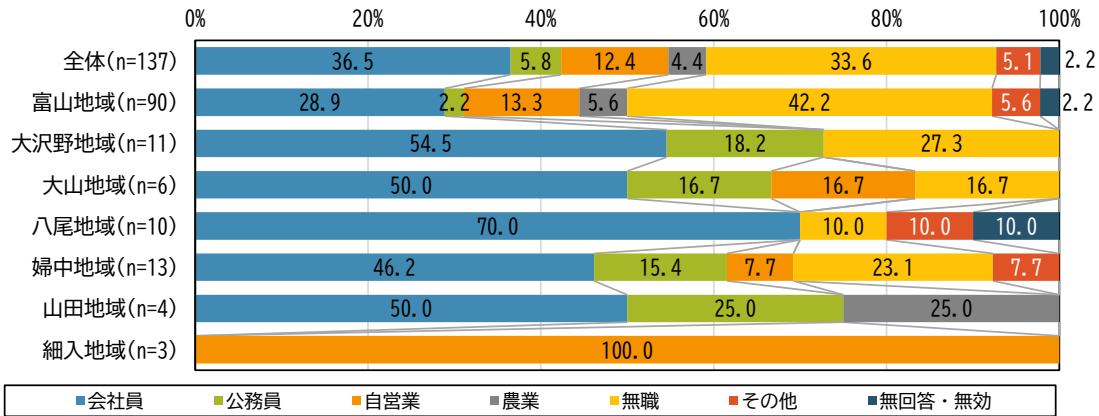


図 2-6-② 職業 (地域別)

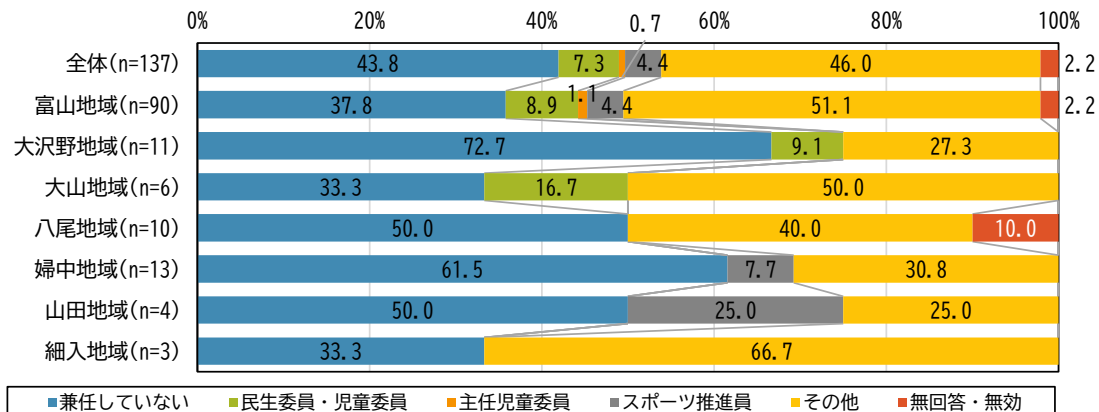


図 2-5-② 兼任している役職 (地域別)

### ⑦会長の選出方法

- ・会長の選出方法は、「輪番制」(26.3%)、「役員会や選考委員による推薦」(21.9%)、「役員の間での互選」(19.0%)の順に多い。各方法1～2割が多く、比較的選出方法にはばらつきがある。
- ・地域別にみると、富山地域以外では「輪番制」や「ルート型」の割合が高い。

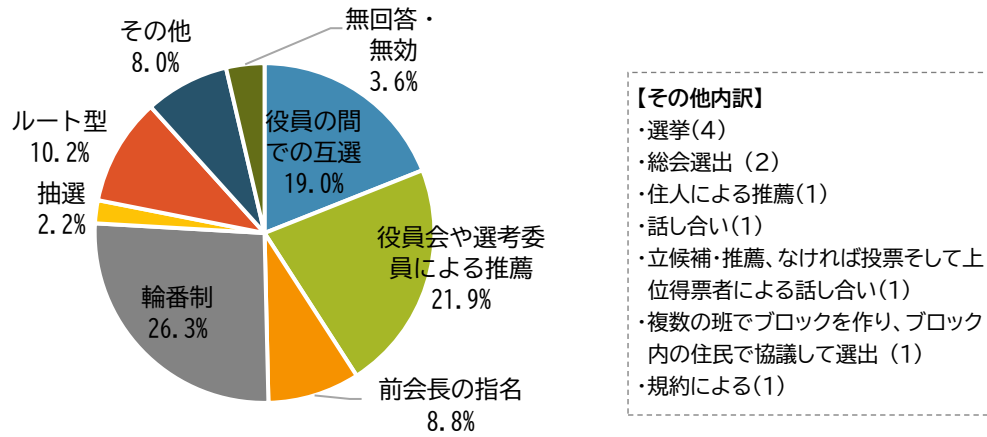


図 2-7-① 会長の選出方法 (全体)

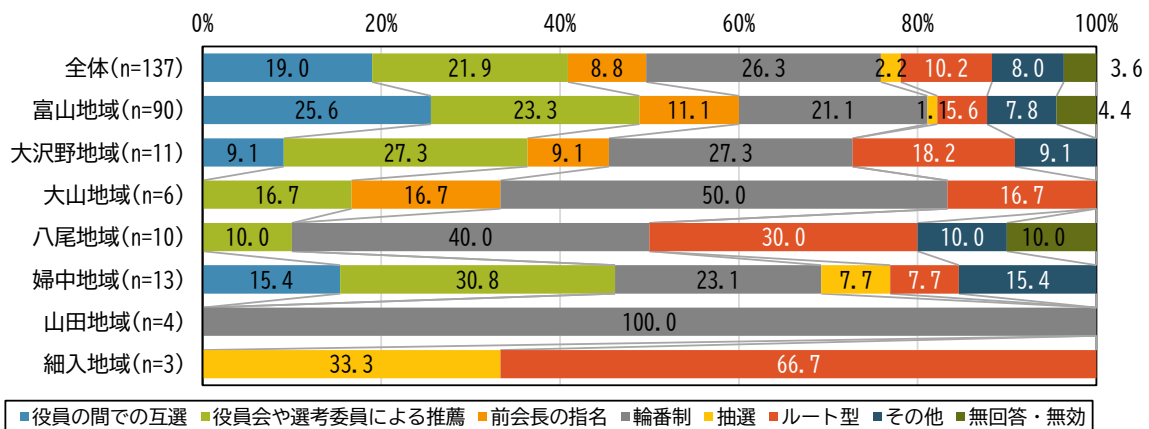


図 2-7-② 会長の選出方法 (地域別)

### 問3 町内会長の業務について、どのようにお考えですか。

- ・町内会長の業務の考えについて「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計である肯定意見について分析する。
- ・全体では、「町内会長の仕事の責任は重い」(89.1%)、「町内会長の仕事の負担が大きすぎる」(77.4%)というマイナス面を肯定する意見が8~9割と高くなっている。
- ・次いで「地域の人々に頼りにされ、やりがいがある仕事である」が69.3%と肯定的な意見も7割と高い。
- ・「負担に見合うだけの、報酬があるべきだ」は51.1%であり、半数程度が肯定した意見である。
- ・地域別にみると、富山地域は全体と比べ「町内会長をつとめることは名誉なことだ」(42.2%、2.0ポイント)のみやや高く、そのほかの項目ではやや低い状況である。

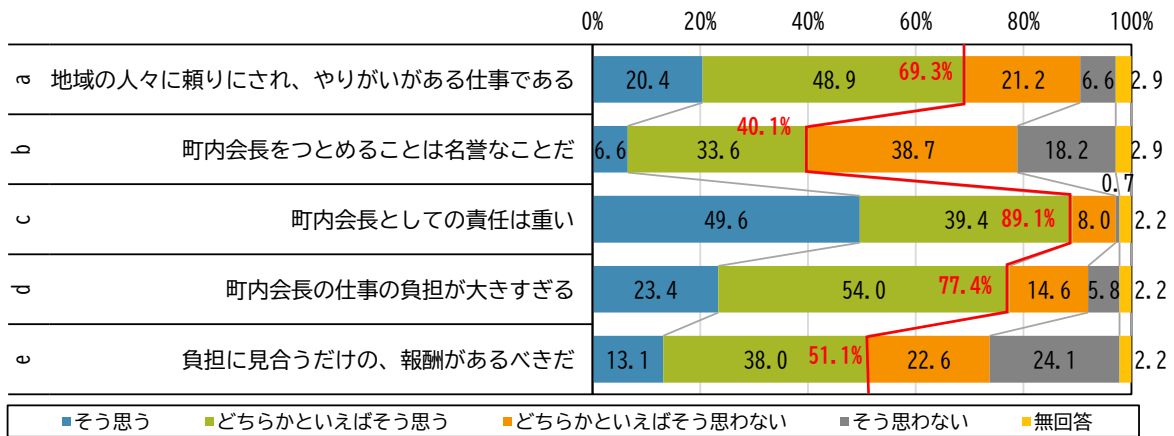


図 3-1 町内会長の業務への考え（全体）

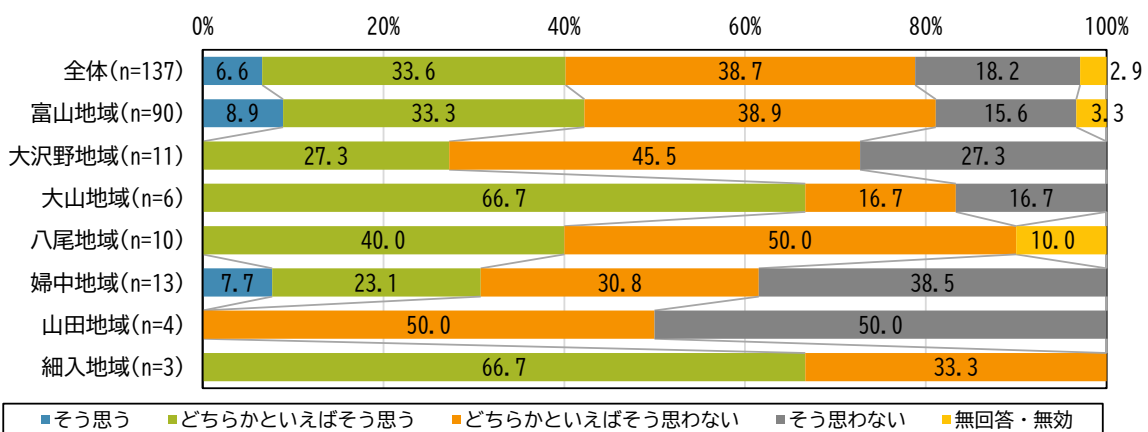


図 3-2 b. 町内会長をつとめることは名誉なことだ（地域別）

#### 問4 町内会長として携わる以下の業務について、負担が大きいと感じていますか

- ・町内会長として携わる業務の負担が大きいと感じているかについて「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計である肯定意見について分析する。
- ・全体では、「地域の苦情処理」が69.4%と最も高く、次いで「祭り・運動会等の行事」「地域要望のとりまとめ」「町内会長に割り当てられるあて職」が同60.6%、「施設の管理」が54.7%となっており、半数以上の方が、負担が大きいと感じている。
- ・地域別にみると、富山地域が比較的負担が大きいのは「道路や公園の清掃」「施設の管理」「防災活動・防災訓練」「福祉活動」である。
- ・富山地域よりも他地域において負担が大きいのは、「市からの回覧・配布物」「市以外からの回覧・配布物」「他団体との連携」である。

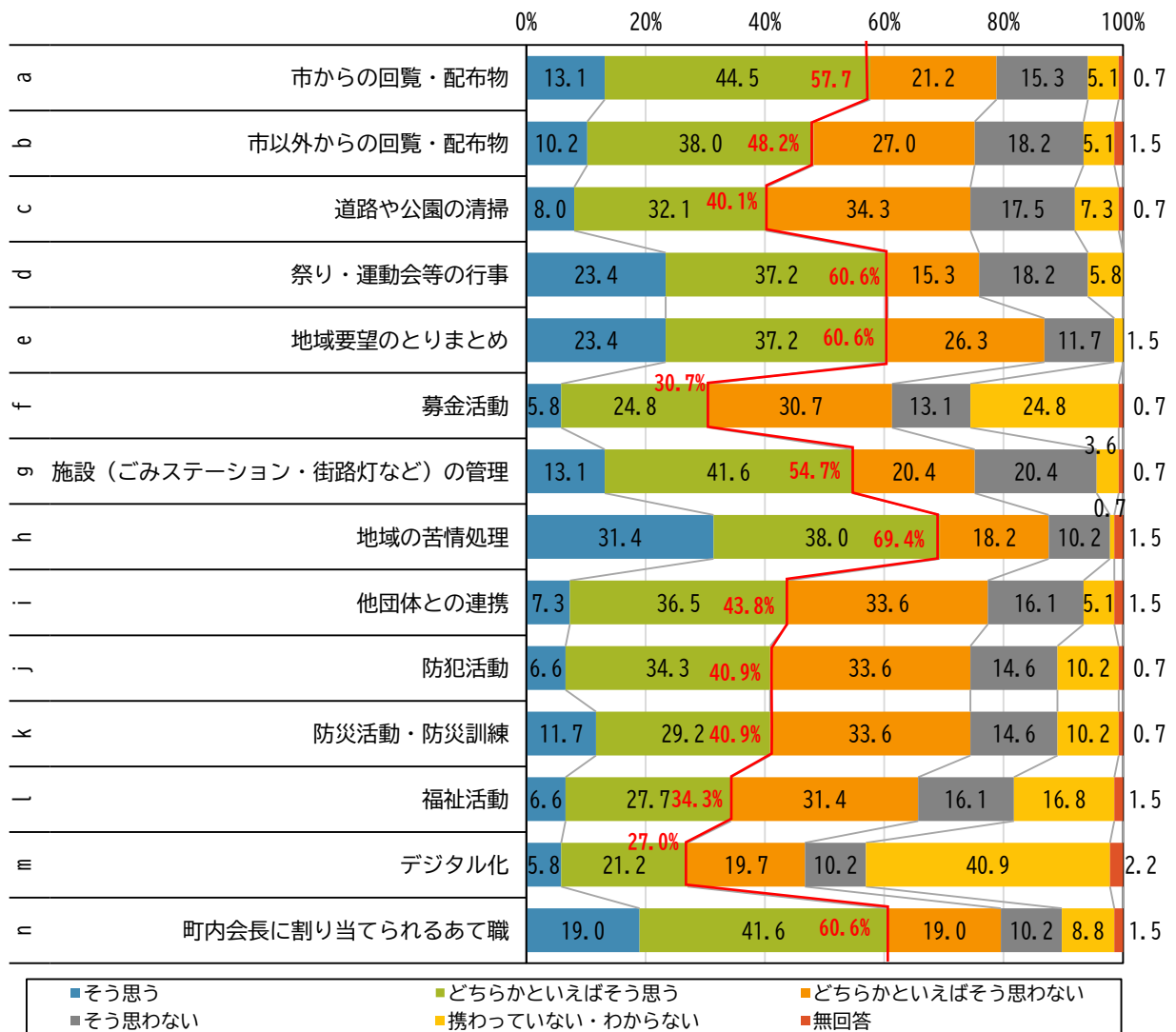


図4-1 業務の負担が大きい（全体）

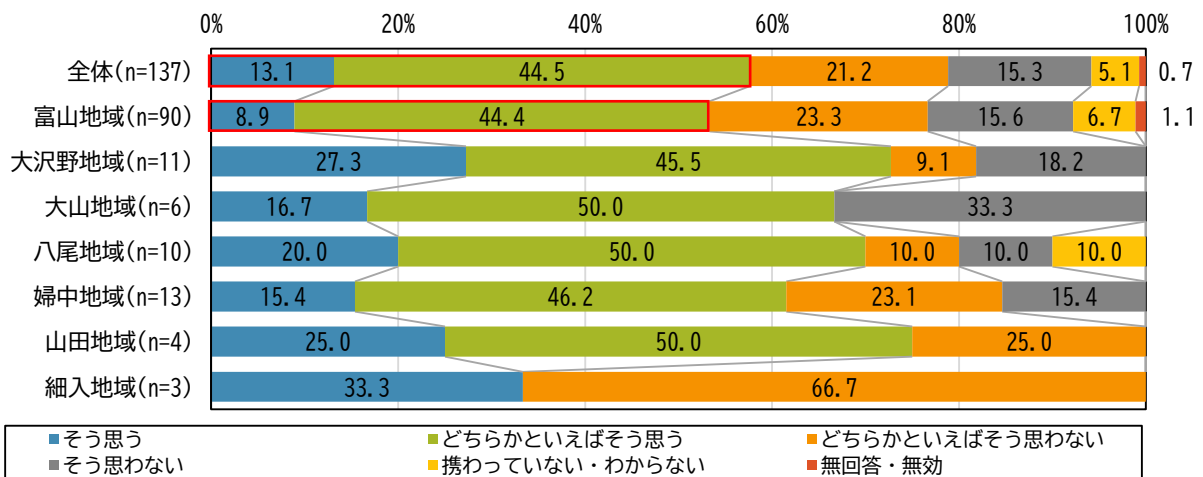


図 4-2 a. 市からの回覧・配布物（地域別）

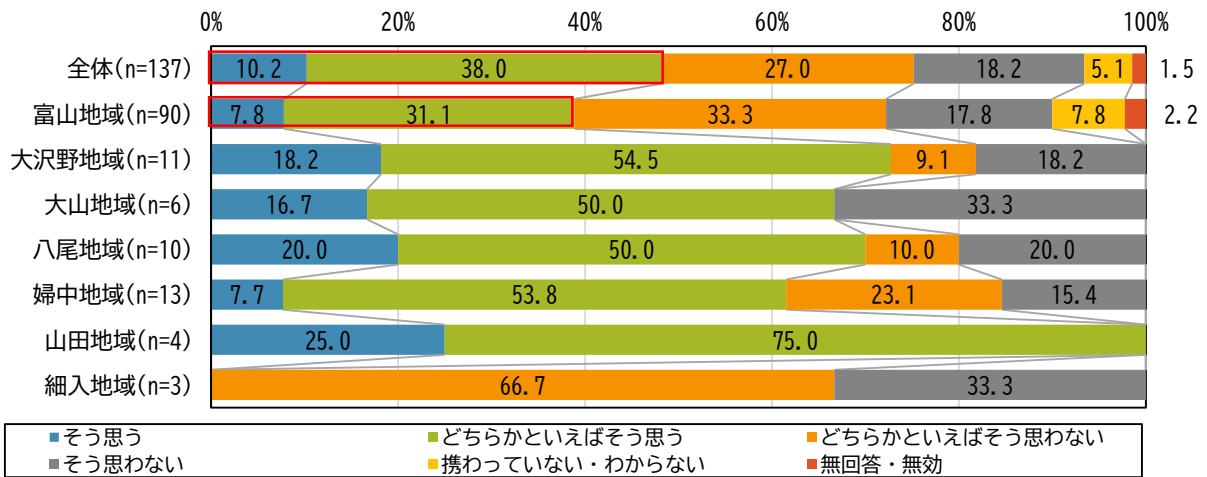


図 4-3 b. 市以外からの回覧・配布物（地域別）

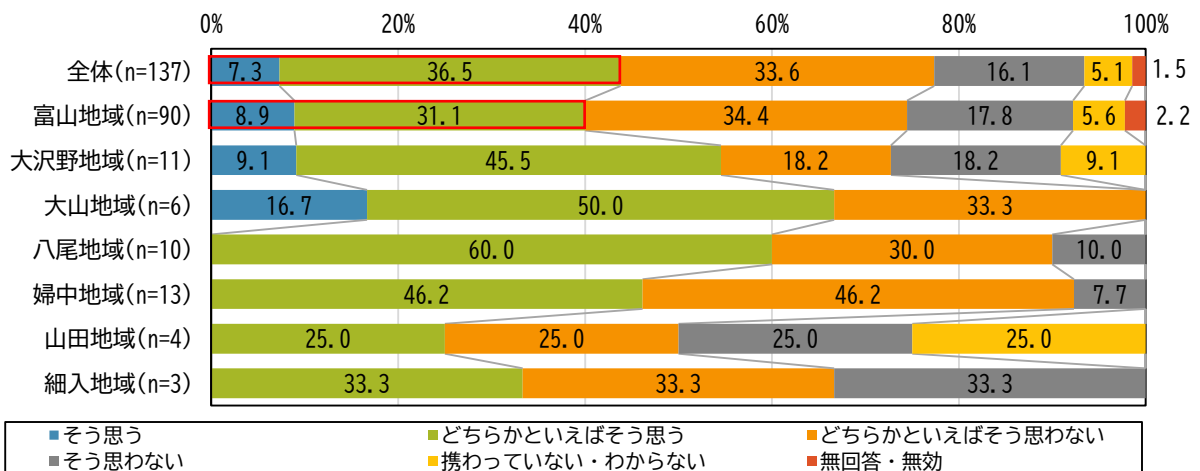


図 4-4 i. 他団体との連携（地域別）



### 3. 財政

#### 問5 1戸あたりの町内会費（年額）をご記入ください。

- ・ 1戸あたりの年額町内会費をみると、「～10,000円」が43.1%、「10,001～20,000円」が45.3%であり、各々4割強である。
- ・ 「20,001円～」は8.8%であり、2万円を超えるのは1割程度である。
- ・ 地域別にみると、富山地域においては「～10,000円」が57.8%と全体と比べ14.7ポイントも高く、富山地域においては町内会費が安い傾向がある。
- ・ また、大山地域、八尾地域、山田地域においては、すべて町内会費は1万円を超える回答である。

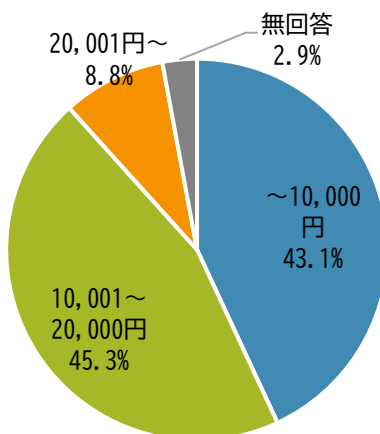


図 5-1 1戸あたりの町内会費（年額）（全体）

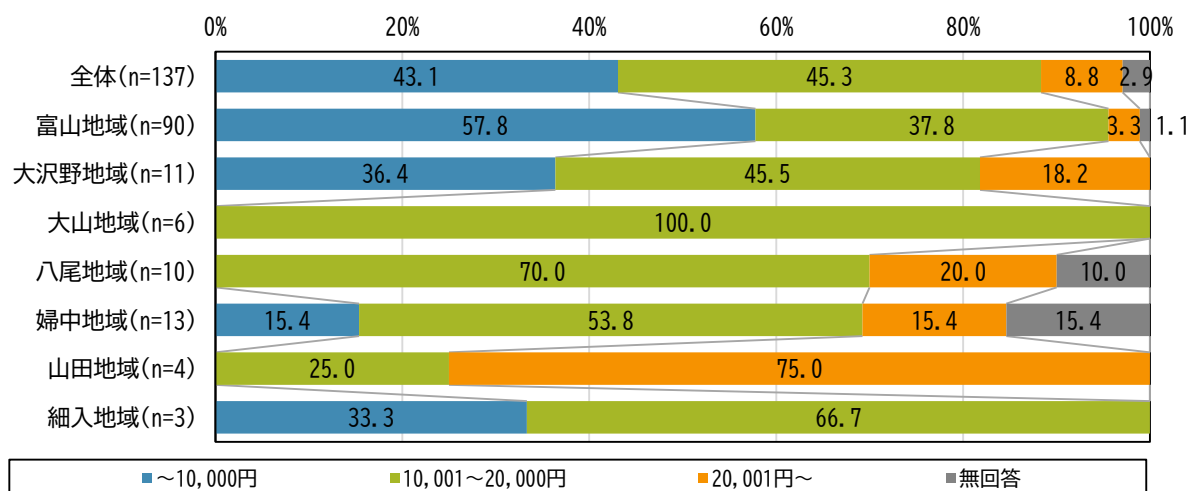
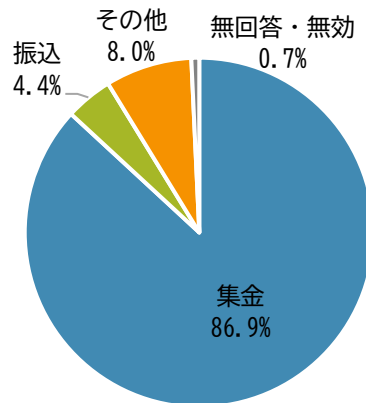


図 5-2 1戸あたりの町内会費（年額）（地域別）

## 問6 町内会費の徴収方法は何ですか。

- ・町内会費の徴収方法は、全体では「集金」86.9%であり、9割程度の町内会で集金により町内会費の徴収を行っている。「振込」を行っているのは4.4%とわずかである。
- ・地域別にみると、7地域のうち5地域において「集金」が6～9割である。
- ・「山田地域」「細入地域」はその他の徴収方法が多く、集金以外の柔軟な徴収方法を行っている。



### 【その他内訳】

- ・集金と振込(6)
- ・各自持参(2)
- ・集金、振込、指定した日に個々でもってきてもらう(1)
- ・年4回定期集会時集金(1)
- ・毎月の定例会時(月末)に集金(1)

図 6-1 町内会費の徴収方法（全体）

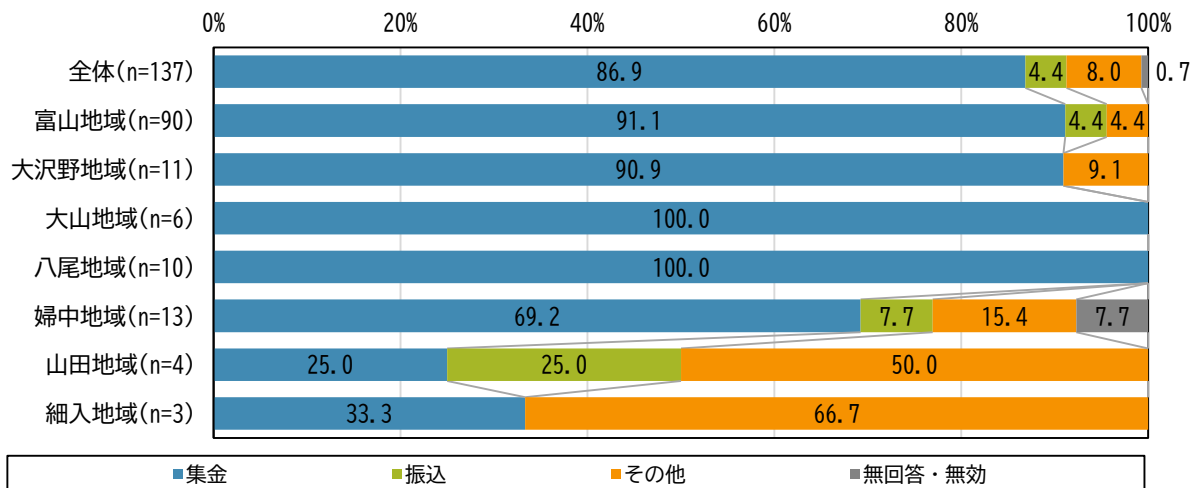


図 6-2 町内会費の徴収方法（地域別）

## 問7 町内会費の徴収に関して、負担に感じていることはありますか。

- ・町内会費の徴収については、全体においては「負担に感じていない」との回答は32.8%である。負担に感じている内容については、「留守宅への再訪問」17.5%、「現金の取り扱い」13.9%の順に多い。
- ・その他の内訳としては、現金の取り扱いや留守宅への再訪問など、複数の回答を挙げるものが多く、そのほかは「支払いへの説明」「町外への集金」などが挙げられている。
- ・地域別にみると、婦中地域において負担感が高い。(負担に感じていない15.4%)

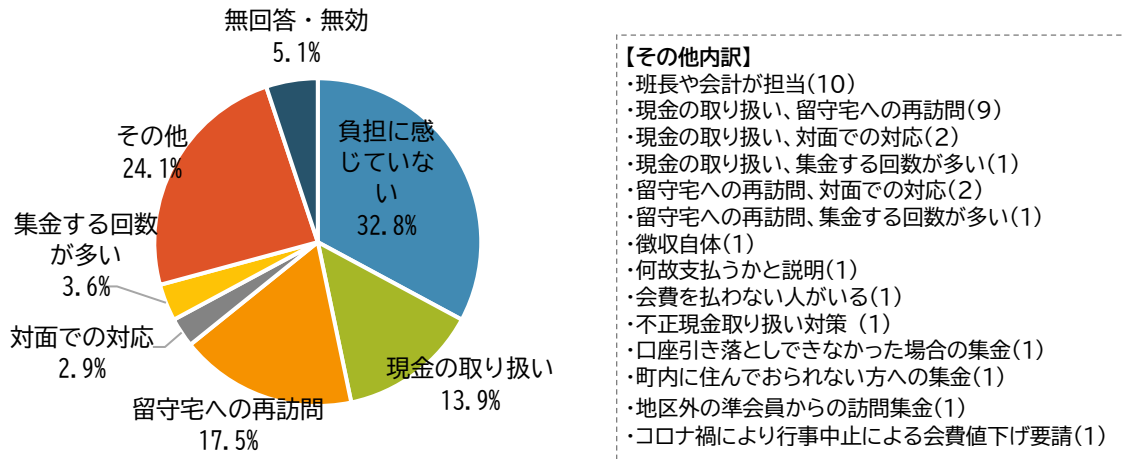


図 7-1 町内会費の徴収で負担に感じていること (全体)

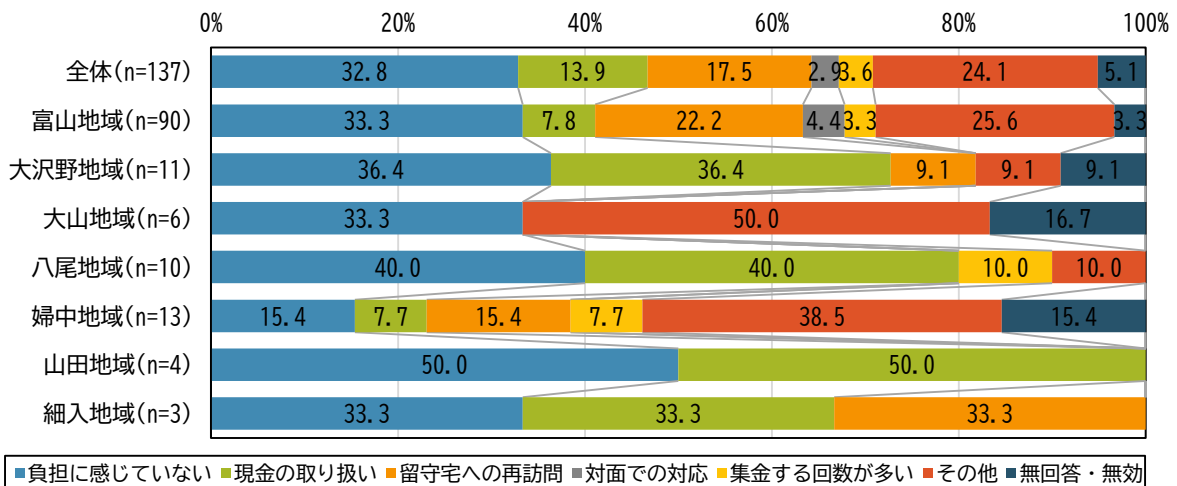


図 7-2 町内会費の徴収で負担に感じていること (地域別)

**問 8 あなたの町内会の役員について具体的な人数と、役員に対する手当の有無について、以下の表にご記入ください。**

- ・町内会の役員の具体的な人数は、下表のとおりであり「会長」「会計」は概ね1人、「副会長」「監事」は概ね2人、「部長」「副部長」3～5人である。「部長」「副部長」については、記入率が10～20%であり、職務がないケースが多い。
- ・役員の手当については、「会長」「副会長」「会計」「班長」で「あり」が過半数を超えており、役員手当があるケースが多い。
- ・またその他の記入率が52.6%と半数を超えており、役職名が異なる役員が複数存在している。

表 8 役員の人数（全体）

	回答数	回答率	平均人数	うち女性人数
1 会 長	136	99.3%	1.0人	1.0人
2 副会長	123	89.8%	1.7人	1.0人
3 部 長	28	20.4%	3.7人	1.3人
4 副部長	15	10.9%	4.5人	2.2人
5 会 計	114	83.2%	1.1人	1.1人
6 監 事	84	61.3%	1.8人	1.2人
7 班 長	119	86.9%	9.4人	3.1人
8 その他	72	52.6%	2.7人	1.3人

【その他内訳】

- ・総務・庶務・書記・事務(36)
- ・寺社関係(17)
- ・公民館関係(16)
- ・監査・顧問・相談役・理事(16)
- ・その他委員(12)
- ・環境衛生厚生(11)
- ・体育関係(8)
- ・子ども関係(7)
- ・防犯関係(7)
- ・交通関係(7)
- ・婦人会、青壮年会(6)
- ・生産組合(6)
- ・広報(4)
- ・地域振興会関係(3)
- ・長寿会(1)
- ・班長・副班長(1)
- ・防災関係(1)
- ・その他(4)

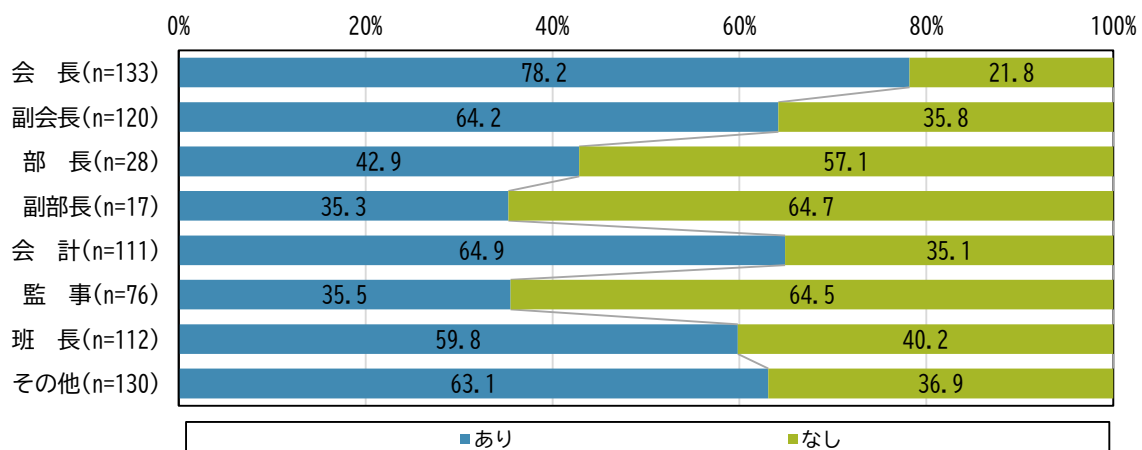


図 8-1 役員の手当の有無（全体）

- ・地域別にみると、会長の役員手当については、富山地域において「なし」が29.2%と全体と比べ7.4ポイント高くなっている。
- ・副会長の役員手当についても、富山地域で「なし」が45.0%と全体と比べ9.2ポイント低くなっている。

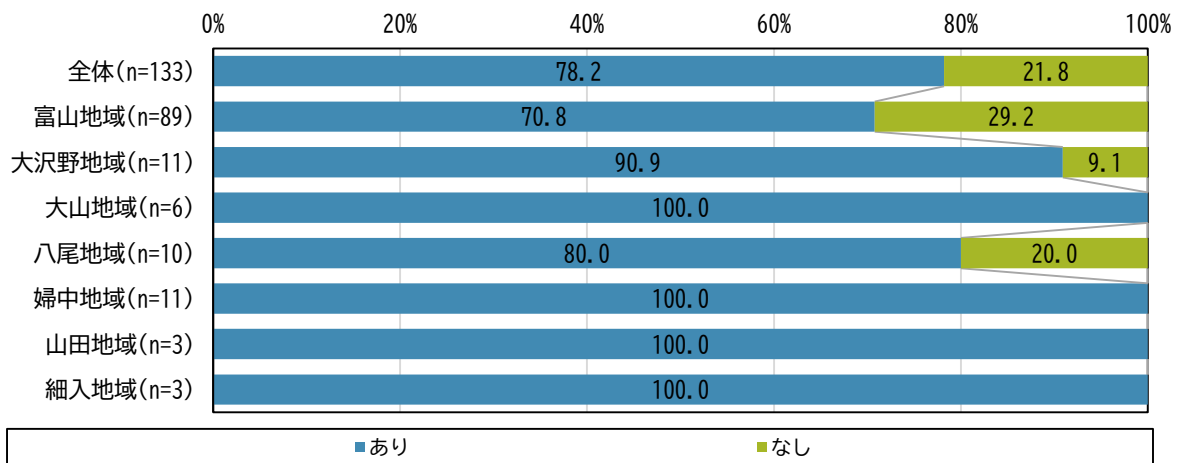


図 8-2 役員の手当の有無（会長）

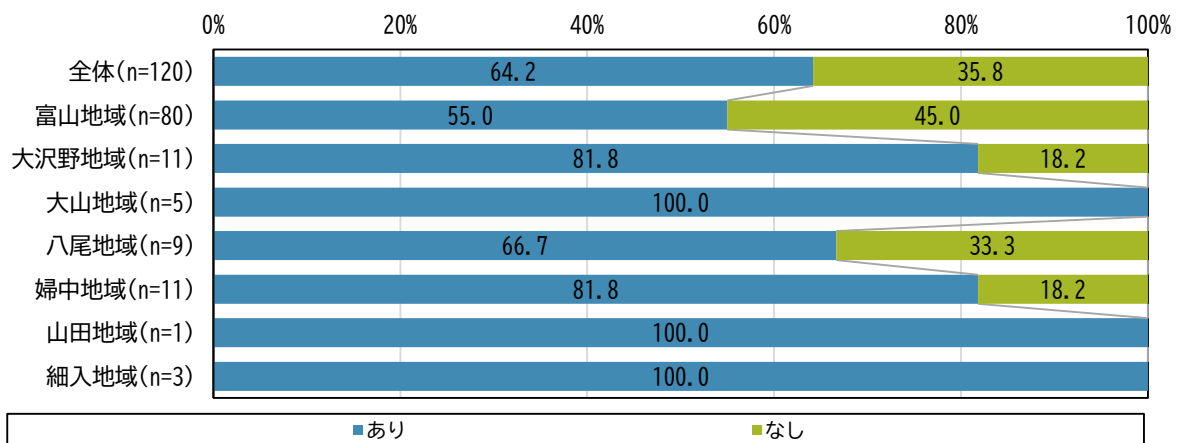


図 8-3 役員の手当の有無（副会長）

- ・ 会計、班長の役職手当においても、富山地域で「なし」が全体と比べ高い傾向にある。
- ・ 山田地域においては、班長の役職手当が「なし」は50.0%と全体に比べ9.8%ポイント高くなっている。

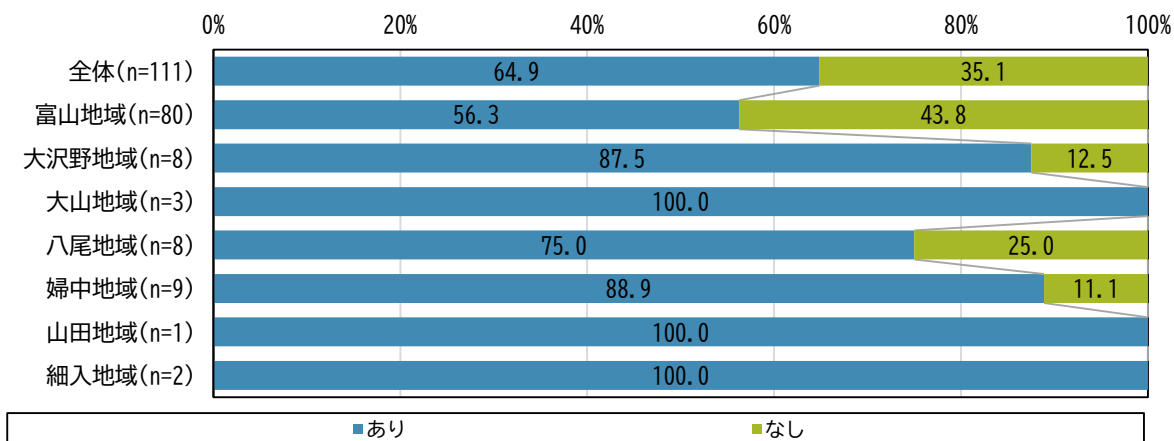


図 8-4 役員の手当の有無（会計）

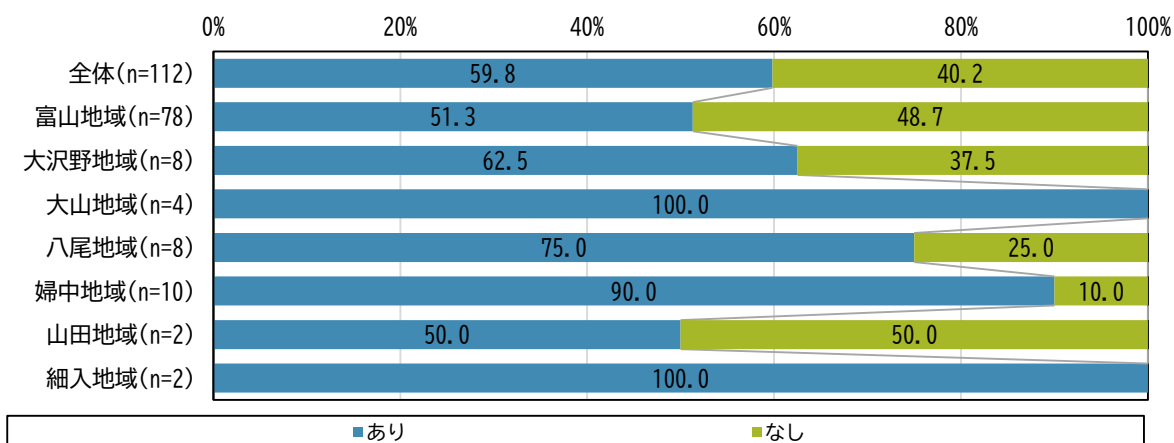


図 8-5 役員の手当の有無（班長）

## 4. 総会への参加状況

### 問9 町内会の総会に、住民の皆様はどの程度参加されていますか。

- ・総会の参加状況を見ると、「委任状がほとんどで、ほぼ役員だけが参加している」が10.9%、「1～2割の住民が総会に参加する」が21.9%、「2～5割の住民が総会に参加する」が30.7%であり、総会参加が5割以下の町内会は約6割となっている。
- ・地域別にみると、富山地域では全体に比べ「5割を超える住民が総会に参加する」が低くなっており、総会への参加率が低い。

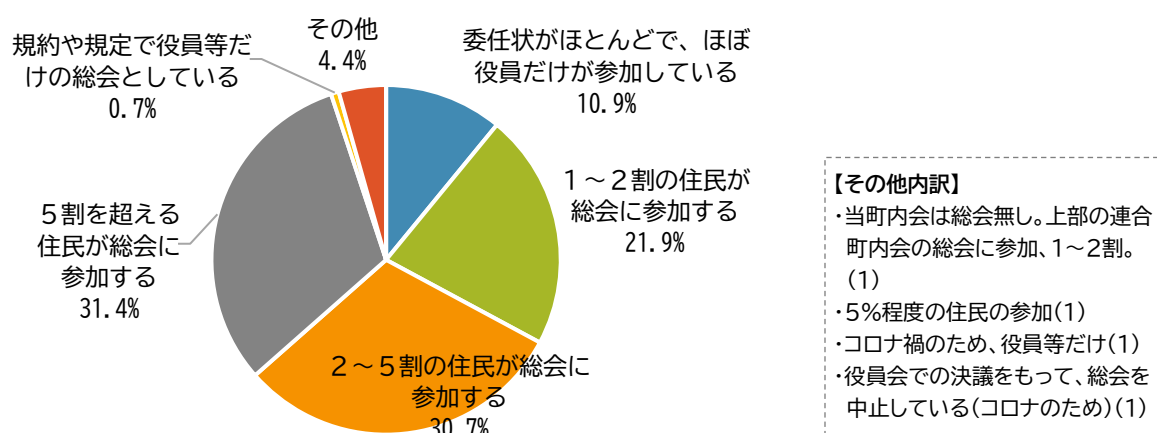


図9-1 総会への参加の程度（全体）

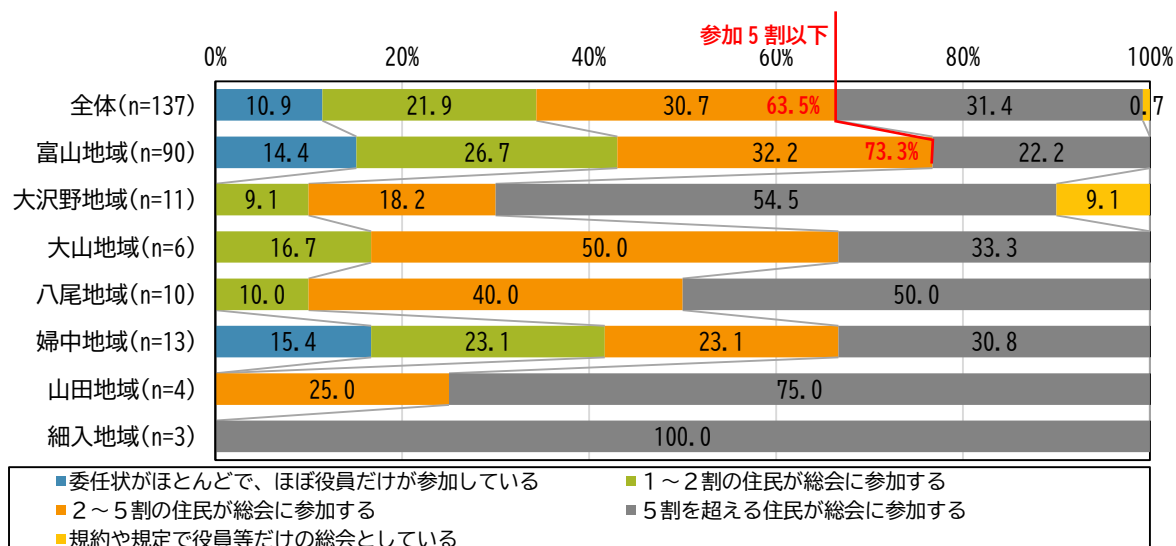


図9-2 総会への参加の程度（地域別）

## 第2章 町内会の活動

### 1. 活動場所

問 10 あなたの町内会には自治公民館や集会所がありますか。「1. あり」と回答した方は所有形態について、「2. なし」と回答した方は打ち合わせや会議の場所についてお答えください。

- ・町内会の活動場所については、自治公民館や集会所が「あり」が88.3%であり、約9割に集会所等がある。
- ・集会所等がある方の所有形態をみると、「町内会で単独所有している」が77.7%であり、約8割が町内会で所有している。
- ・地域別にみると、細入地域で「なし」が3割（1件）となっている。

表 10 会議等の場所

項目	回答数
1 個人の住宅	4
2 会議のたびに会議室を借りている	8
3 飲食店など	4
4 お寺の会議室	1
5 消防分団の会議室	1
計	16

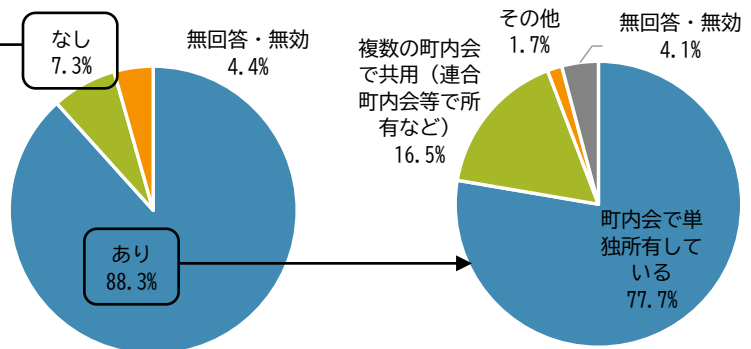


図 10-1 集会所等の有無(全体)

図 10-2 所有形態(全体)

【その他内訳】  
 ・神社と共有(1)  
 ・神社所有(1)

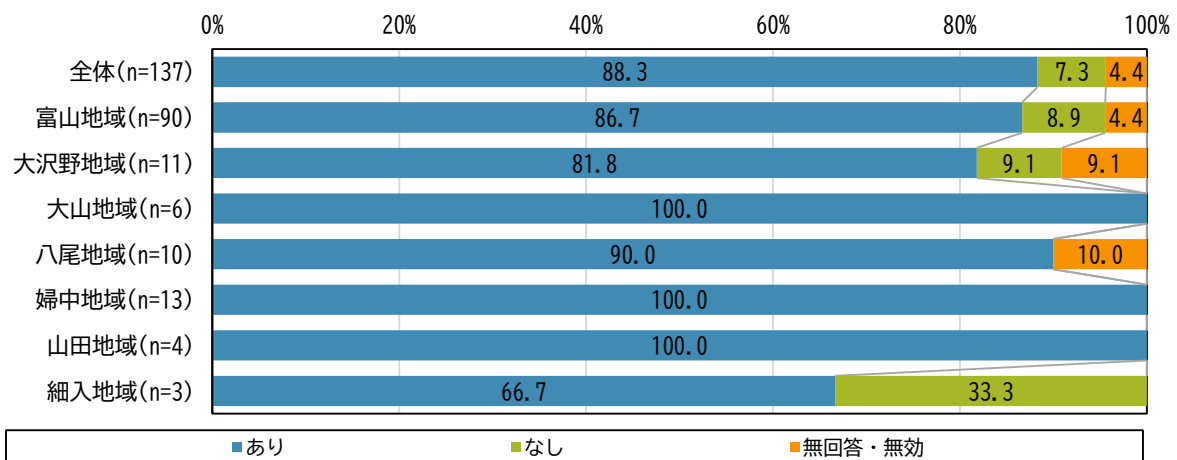


図 10-3 集会所等の有無(地域別)



## 2. 活動状況

問 11 町内会活動についてお聞きします。a.~p.それぞれについて「活動の有無」をお答えください。「2. あり」と回答した方は、「(1)活動の頻度」「(2)参加者数」についてお答えください。

- ・町内会活動の有無と頻度、参加者数は以下の通りである。
- ・「活動あり」「参加者がある程度いる（参加者数半分未満・半分以上の合計）」の両方が過半数を超える活動は、「災害の予防や災害時の対策についての活動」「地域の清掃やリサイクルなど地域の環境美化活動」「祭りや伝統芸能などの維持・保存活動」「懇親会や旅行会など、町内会の住民との交流を図る活動」であり、防災、環境美化、祭り等、交流に関する活動が活発に行われている様子がうかがえる。

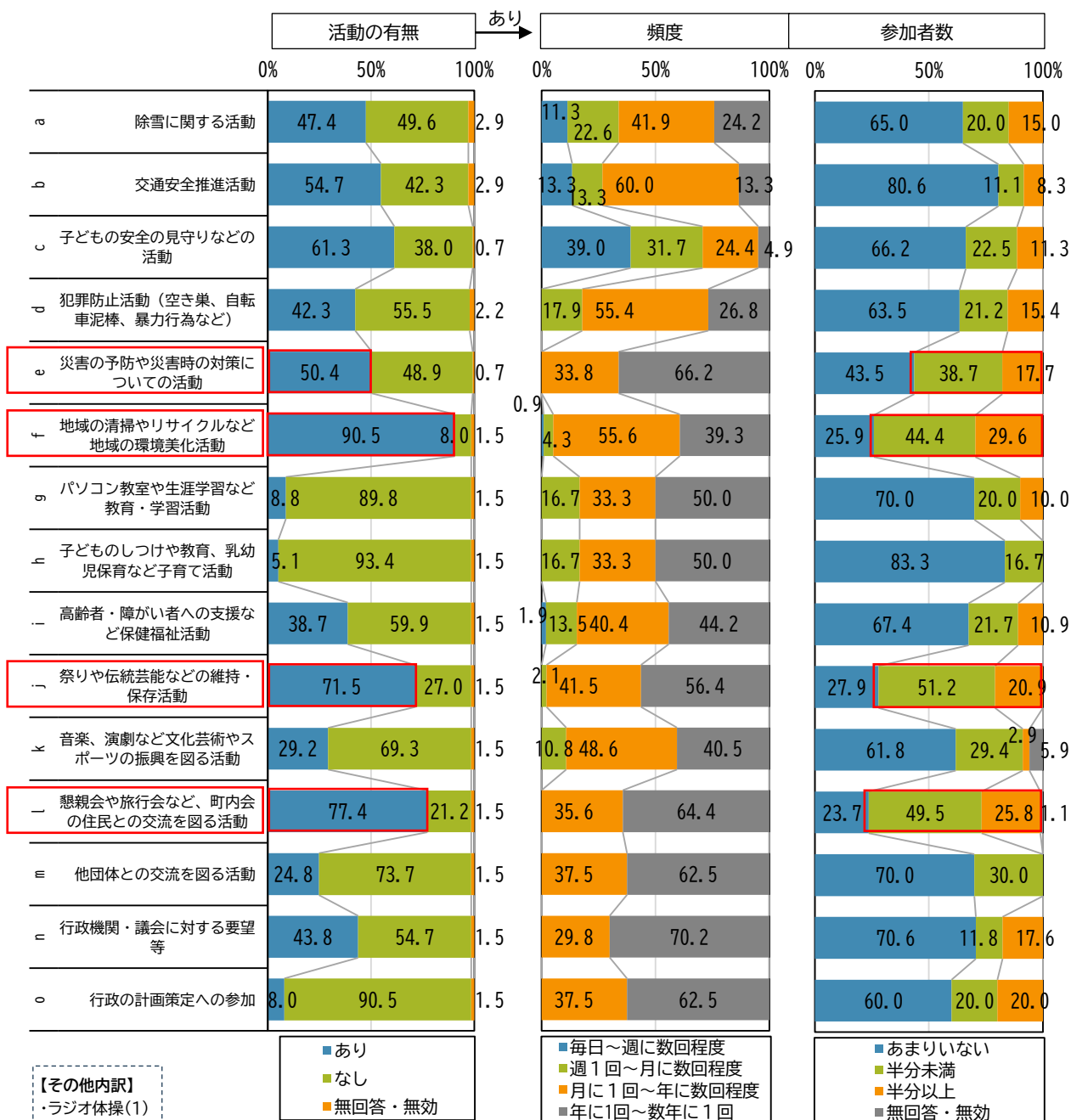


図 11-1 活動の有無、頻度、参加者数（全体）

① 活動の有無

・「活動がある」町内会活動は、「地域の清掃やリサイクルなど地域の環境美化活動」(90.5%)が最も多く、続いて「懇親会や旅行会など、町内会の住民との交流を図る活動」(77.4%)、「祭りや伝統芸能などの維持・保存活動」(71.5%)の順に高い。

② 活動の頻度

・年に数回以上の頻度で行われる活動の割合を見ると「子供の安全の見守りなどの活動」(95.1%)「交通安全推進活動」(86.7%)、「除雪に関する活動」(75.8%)、「犯罪防止活動」(73.2%)の順に高い。

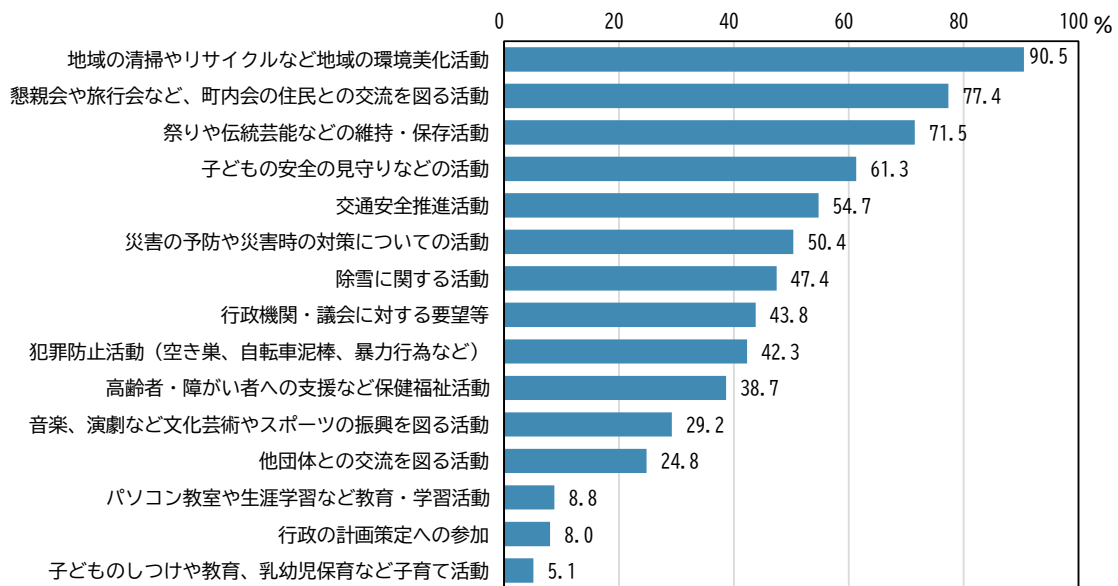


図 11-2 活動の有無(全体) ※ありの割合

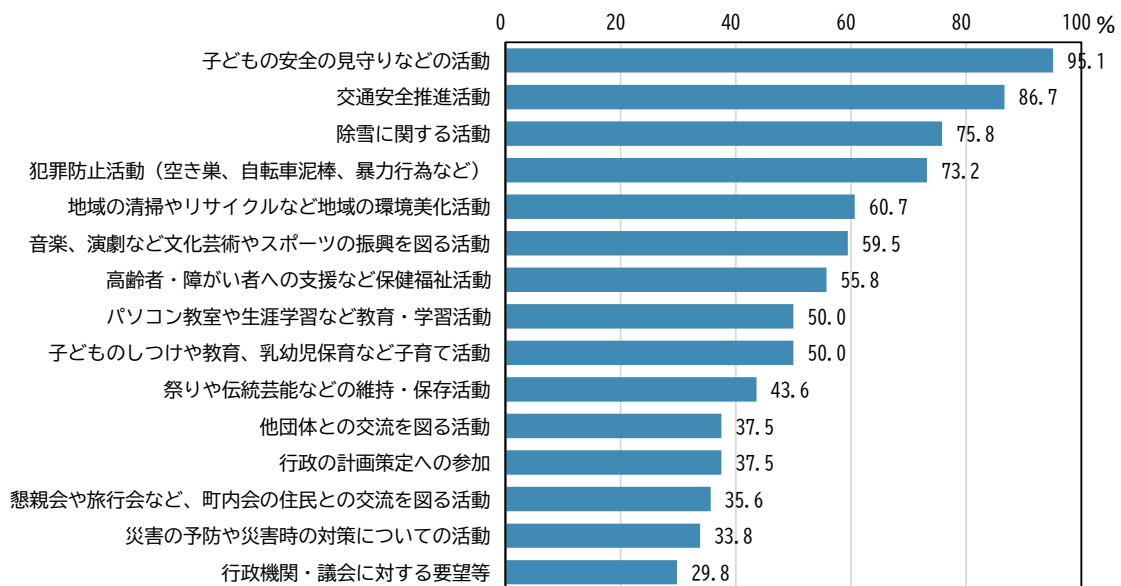


図 11-3 活動の頻度(全体) ※年に数回以上の割合

### ③活動の参加者数

・参加者がいる程度いる（半分未満・半分以上の合計）についてみると、「懇親会や旅行会など、町内会の住民との交流を図る活動」（75.3%）が最も高く、次いで「地域の清掃やリサイクルなど地域の環境美化活動」（74.1%）、「祭りや伝統芸能などの維持・保存活動」（72.1%）が高い。

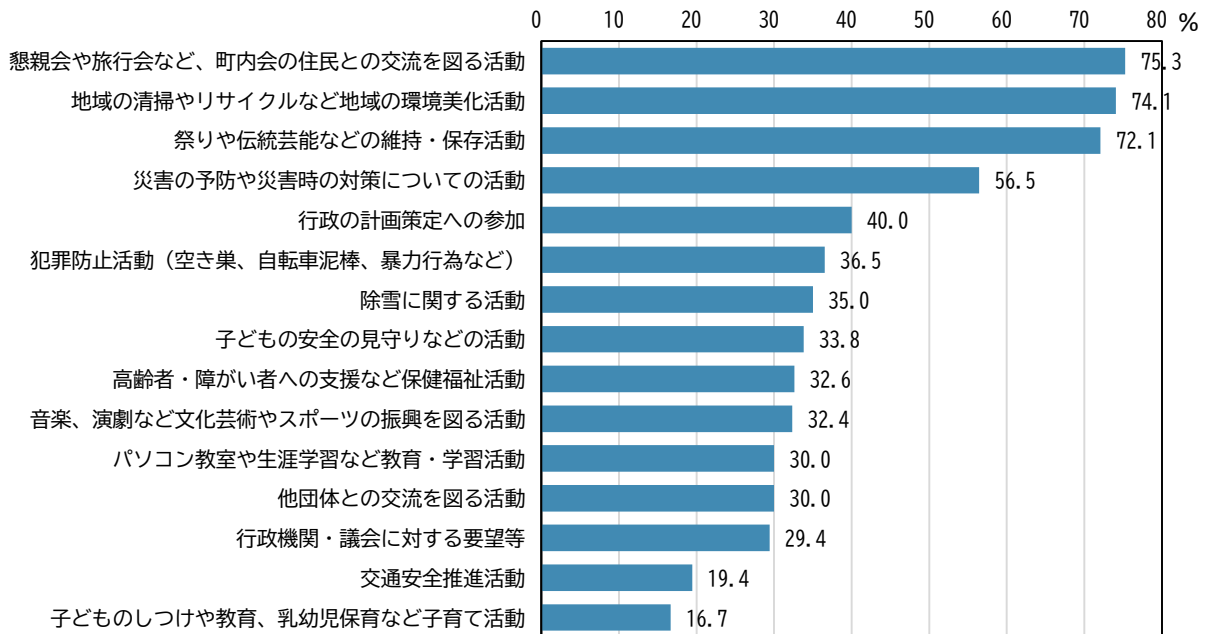


図 11-4 活動の参加者数（全体）※「半分未満」「半分以上」の合計の割合

#### ④地域別活動

##### 【e. 災害の予防や災害時の対策についての活動】

- ・活動の有無は、山田地域、細入地域においては「あり」が6～7割と高くなっている。
- ・活動の頻度は、全体と比べ「年に1回～数年に1回」が、大山地域（66.7%、41.3ポイント）、八尾地域（40.0%、14.6ポイント）では高く、活動頻度が低い町内会が多い。
- ・参加者数は、婦中地域で「あまりない」（100.0%）が高く、逆に大沢野地域、大山地域、山田地域では「半分以上が参加する」が半数を超えており、地域によって参加状況に差が大きい。

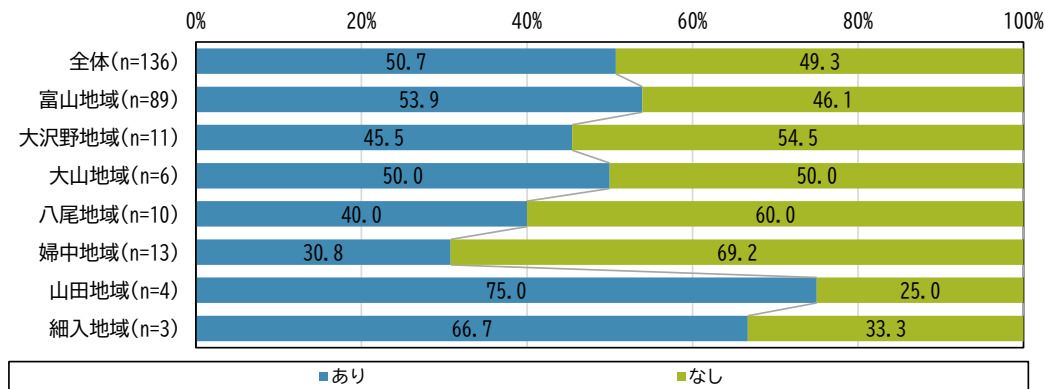


図 11-5 活動の有無 (e. 災害の予防や災害時の対策についての活動)

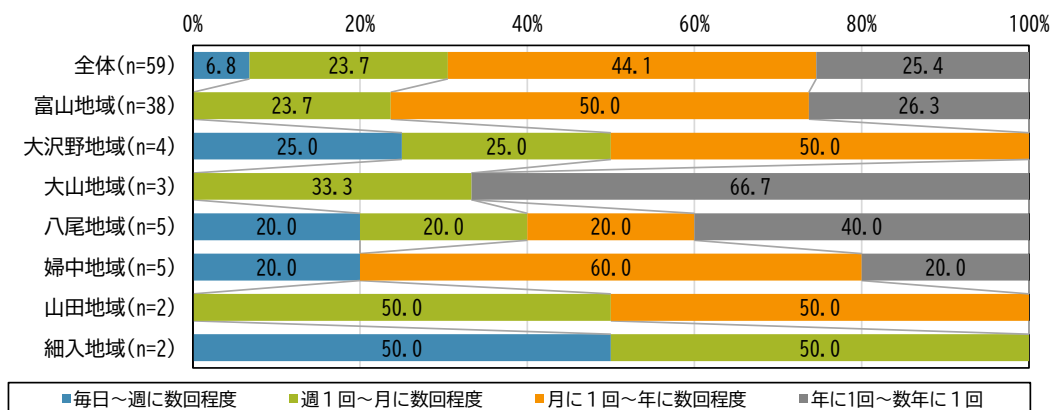


図 11-6 活動の頻度 (e. 災害の予防や災害時の対策についての活動)

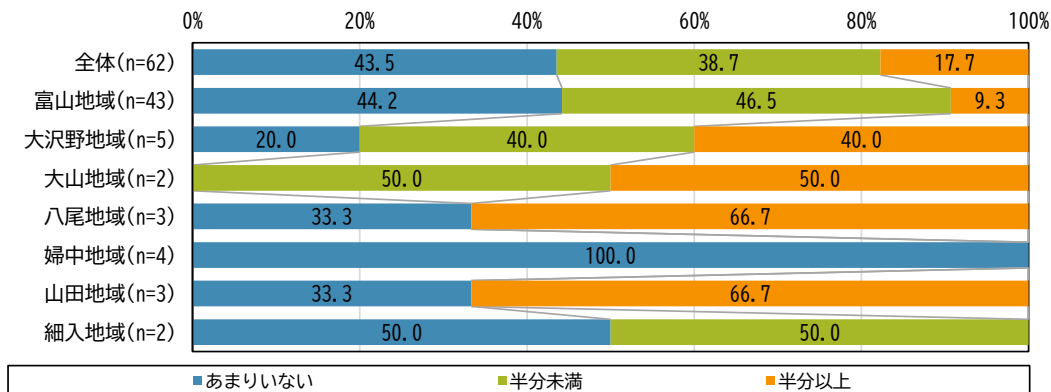


図 11-7 活動の参加者数 (e. 災害の予防や災害時の対策についての活動)

【f. 地域の清掃やリサイクルなど地域の環境美化活動】

- ・活動の有無をみると、各地域ともに8割以上に活動があり実施割合が高い。
- ・頻度をみると、全体に比べ「年に1回～数年に1回」が大山地域（66.7%、27.4ポイント）、婦中地域（72.7%、33.4ポイント）、山田地域（75.0%、35.7ポイント）で高く、活動頻度が低い。
- ・参加者数は、大沢野地域、八尾地域、山田地域、細入地域で「半数以上」が半数を超える。一方、大山地域では「あまりいない」が半数であり、地域により差がある。

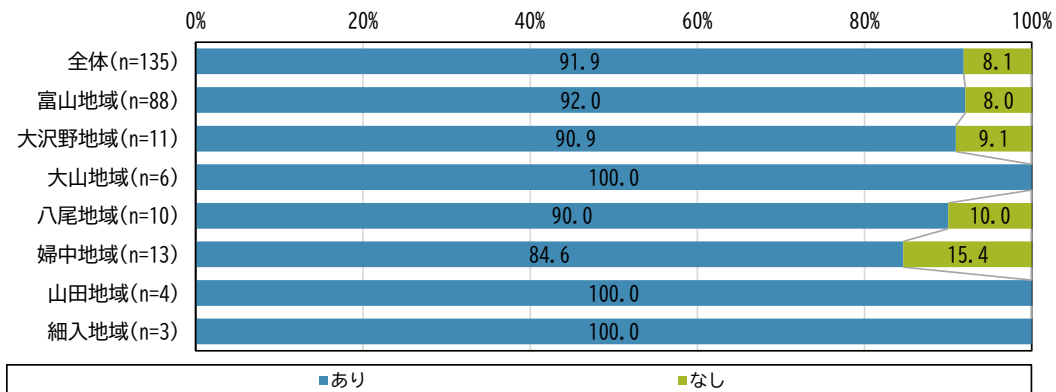


図 11-8 活動の有無 (f. 地域の清掃やリサイクルなど地域の環境美化活動)

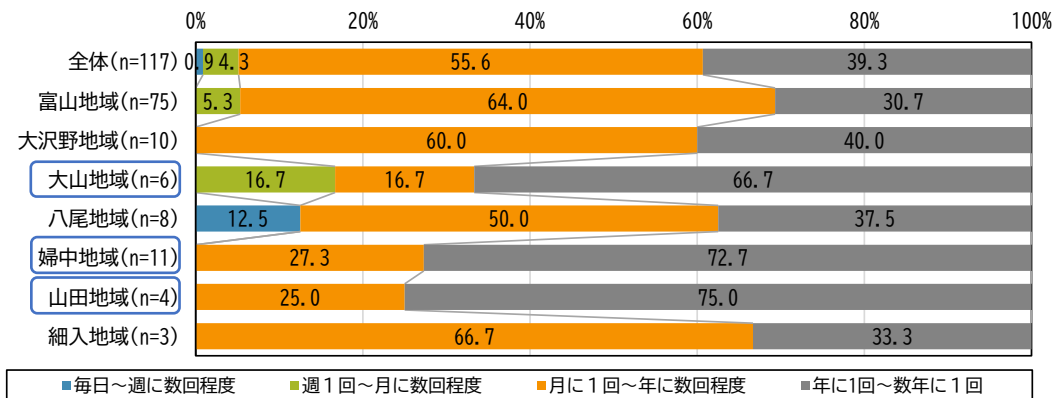


図 11-9 活動の頻度 (f. 地域の清掃やリサイクルなど地域の環境美化活動)

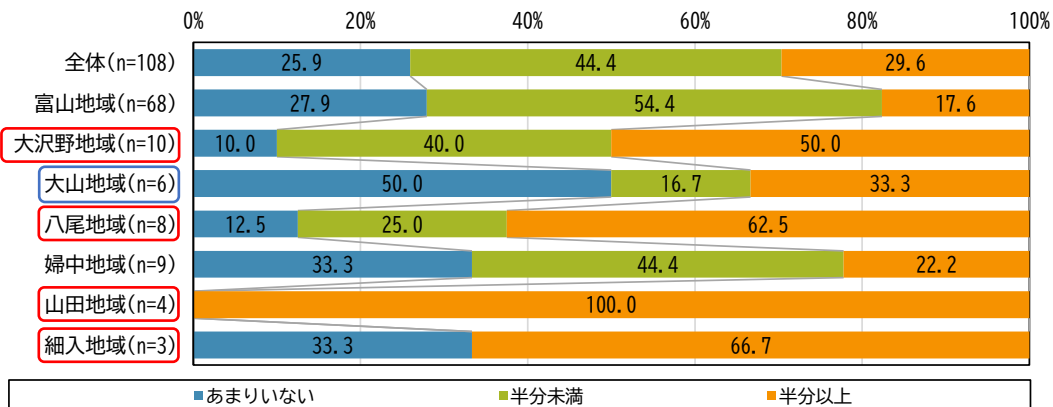


図 11-10 活動の参加者数 (f. 地域の清掃やリサイクルなど地域の環境美化活動)

【j. 祭りや伝統芸能などの維持・保存活動】

- ・活動の有無をみると、「なし」が高いのは、大山地域（66.7%）、山田地域（50.0%）であり、一方「あり」が高いのは婦中地域（84.6%）、細入地域（100.0%）である。
- ・頻度をみると、全体と比べ「年に1回～数年に1回」が大沢野地域（28.6%、27.8ポイント）、細入地域（33.3%、23.1ポイント）で低く、活動頻度が比較的高い。一方、大山地域、山田地域では「年に1回～数年に1回」が100.0%で頻度が低い。
- ・参加者数は、大山地域、八尾地域では「あまりいない」が高く、一方山田地域、細入地域では「半数以上」が6～10割であり参加者数が多く、地域差がみられている。

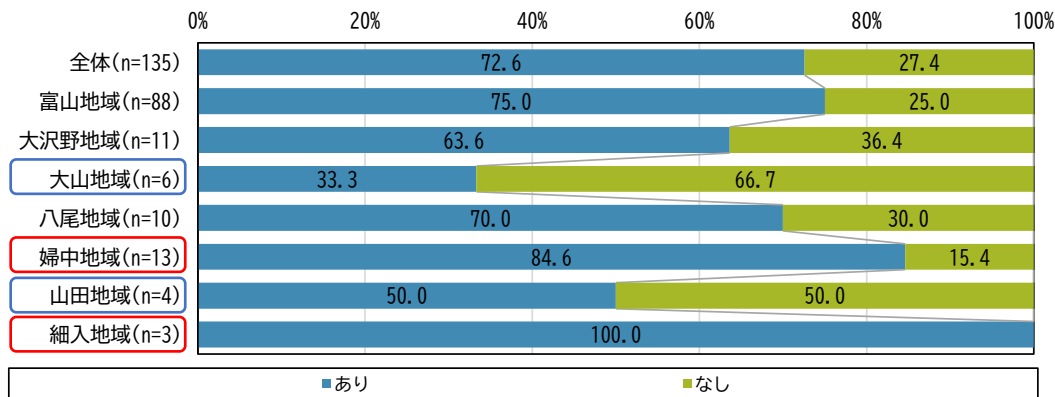


図 11-11 活動の有無 (j. 祭りや伝統芸能などの維持・保存活動)

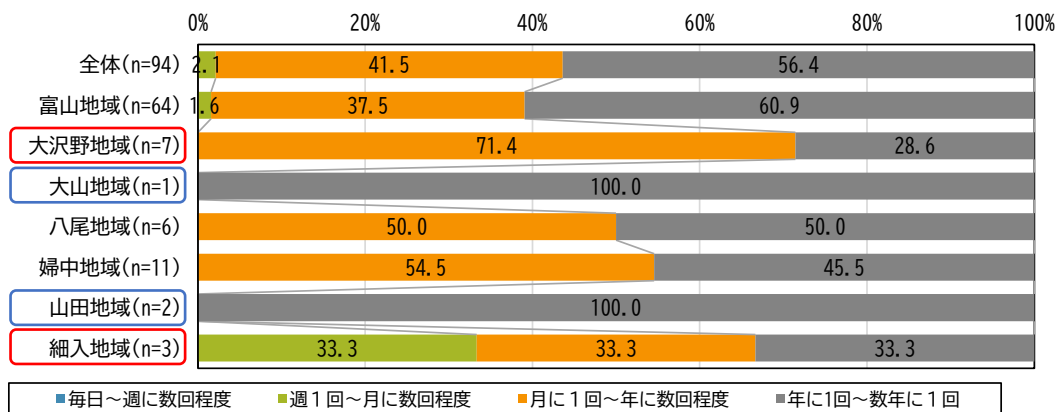


図 11-12 活動の頻度 (j. 祭りや伝統芸能などの維持・保存活動)

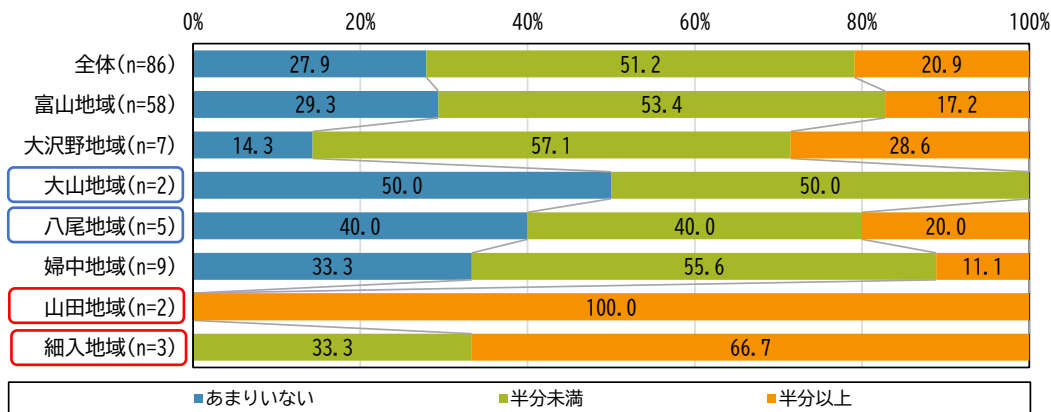


図 11-13 活動の参加者数 (j. 祭りや伝統芸能などの維持・保存活動)

【1. 懇親会や旅行会など、町内会の住民との交流を図る活動】

- ・活動の有無をみると、全体と比べ「なし」が大沢野地域 (36.4%、15.2 ポイント)、八尾地域 (50.0%、28.8 ポイント) と低く、「活動がない」が3割を超えている。
- ・頻度をみると、全体と比べ「年に1回～数年に1回」が大沢野地域 (71.4%、7.0 ポイント)、大山地域 (80.0%、15.6 ポイント)、婦中地域 (81.8%、17.4 ポイント) 高く、年1回以下が7割を超える。
- ・参加者数は、大山地域では「あまりいない」が40.0%と全体と比べ16.1 ポイント高い。一方、大沢野地域、山田地域、細入地域は「半数以上」4～10割と参加者が多い。

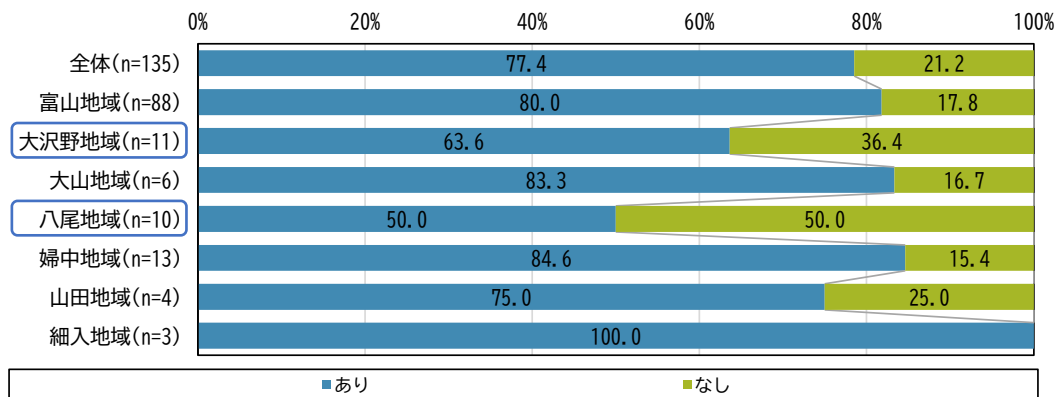


図 11-14 活動の有無 (1. 懇親会や旅行会など、町内会の住民との交流を図る活動)

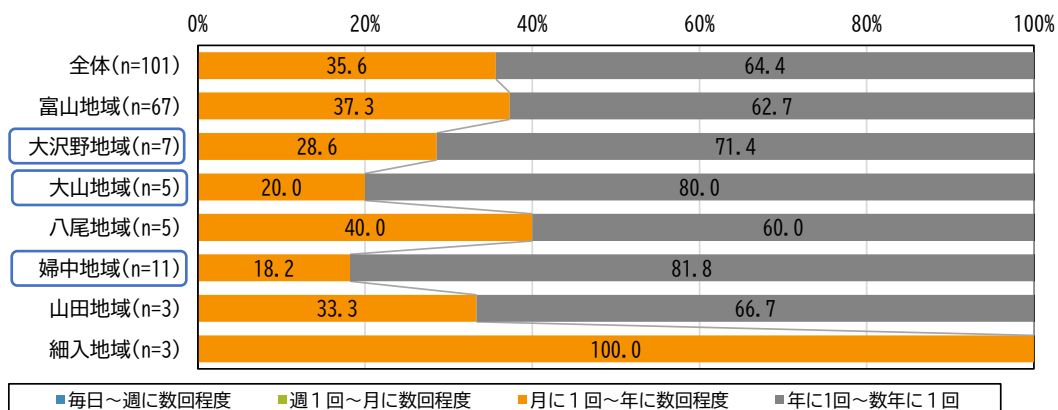


図 11-15 活動の頻度 (1. 懇親会や旅行会など、町内会の住民との交流を図る活動)

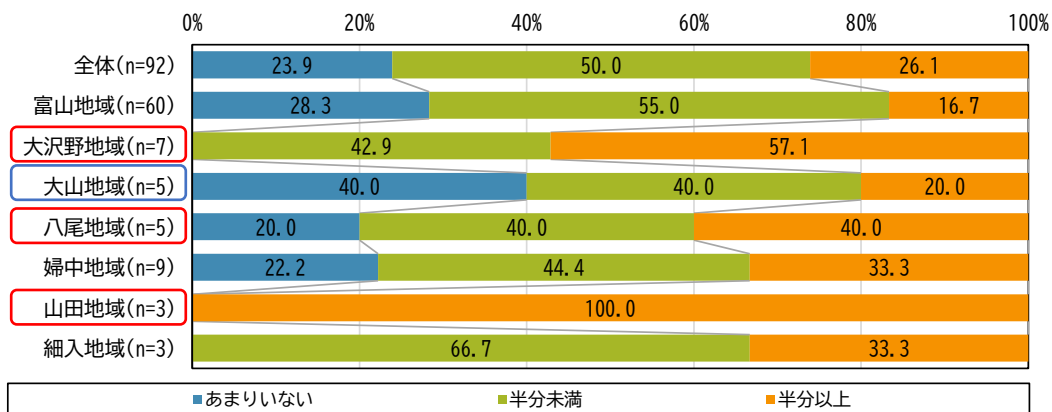


図 11-16 活動の参加者数 (1. 懇親会や旅行会など、町内会の住民との交流を図る活動)

問 12 町内会活動に関して連携している団体はありますか。

【各活動の連携団体数】

- ・町内会活動の連携団体（数）は、「子どもの安全の見守りなどの活動」（113件）が最も多く、次いで「交通安全推進活動」（106件）、「高齢者・障がい者への支援など保健福祉活動」（99件）、「地域の清掃やリサイクルなど地域の環境美化活動」（91件）の順に多い。
- ・5割以上の町内会が連携している活動は、全15活動のうち9活動であり、多くの町内会で他の団体と連携している。
- ・連携団体別にみると、「町内会、連合町内会以外の住民組織」「協会・協議会」との連携が多い。

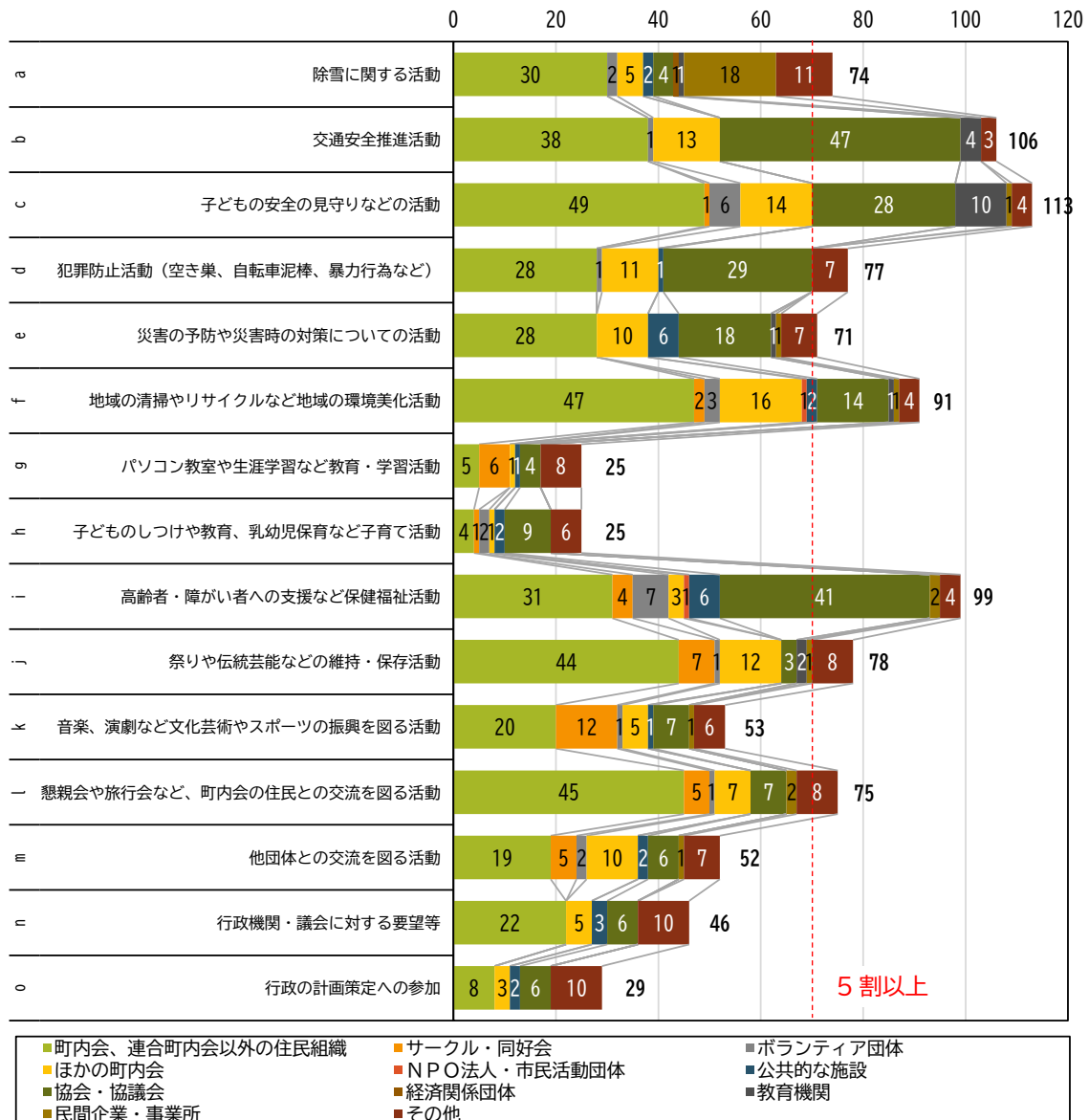


図 12-1 町内会活動の連携団体（全体）



【地域別連携団体】（連携が多いものについて）

- ・ 富山地域では、いずれの活動においても連携の割合がやや高い傾向がある。
- ・ 細入地域ではいずれの活動においても連携の割合が高く、一方、山田地域ではいずれの活動においても連携の割合が低い。
- ・ そのほかの地域においては、全体として連携割合が低い傾向である。 八尾地域では「交通安全推進活動」、大山地域では「犯罪防止活動」で高く、一部の活動においては連携割合が高い。

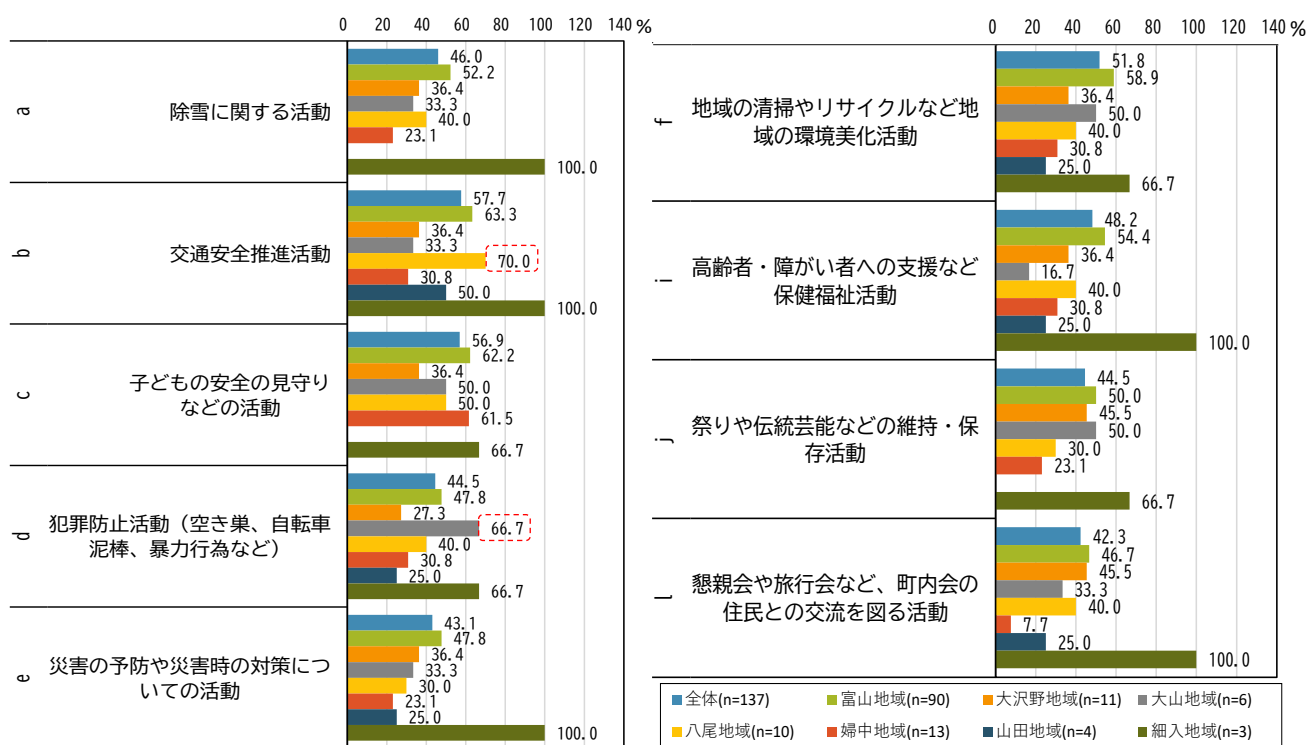


図 12-2 町内会活動の連携した活動をしているか（地域別）

**問 13 町内会活動に関し、特徴的なことや自慢できるものなどがあれば、自由にご記載ください。**

- ・町内会活動で特徴的なこと、自慢できるものは「祭・イベント」88.1%と約9割となっており、自由記載では祭やイベントの工夫の様子や、誇りに思う様子がうかがえる。
- ・そのほかは「清掃・美化・除雪」(16.7%)、「防犯対策」(9.5%)、「害虫駆除」(4.8%)などがある。

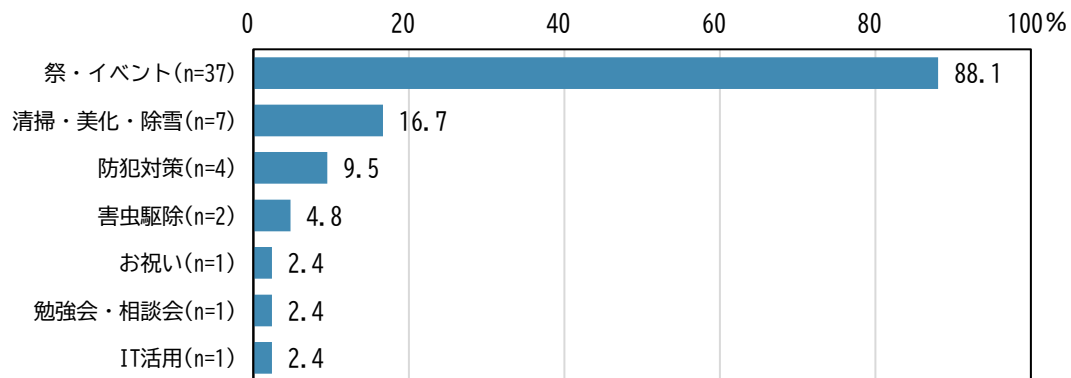


図 13 特徴的な町内会活動（全体）複数回答 n=42

◎自由記載内容の抜粋 ※属性として地域と世帯規模を記載

(1) 祭・イベント

- ・青年会で獅子舞をしていたが、若い世代が少なくなり、獅子会を作り全世代で対応している。(八尾地域、世帯数 51~100)
- ・4年ぶりの開催となった納涼祭、バーベキューをメインとするも、毎年趣向を変えた企画を盛り込んでいる。本年度は、地区内の川の生き物調査、ドローン体験コーナー、ピザ焼き体験コーナー、児童クラブによる縁日、災害非常食の試食と希望の非常食をアンケート実施(婦中地域、世帯数 51~100)
- ・納涼祭、もちつき大会を行っている。子どもが参加したい企画を行い、「かお」の見える町内を目標にしている。(富山地域、世帯数 101~)

(2) 清掃・美化・除雪

- ・「美化」ごみ集積場近辺の落ち葉や、積雪（主に季節的要因）は、近隣の志ある方が自発的に整備・美化を行ってくださる。地区の公園の落ち葉が、晩秋の時期ひどかったので、数年前から側溝清掃の日に合わせて落ち葉集めを公園近隣の町内で協力して実施している。(富山地域、世帯数 51~100)

(3) 防犯対策

- ・町内全体の防犯強化として、防犯カメラ 2 台を警察と相談して設置した。(富山地域、世帯数 101~)

#### (4) 害虫駆除

- ・特徴的なこととしては、「樹木の薬剤散布」を実施している。年2回（6月、9月）、町内会住民宅の庭木、公園の樹木、街路樹に散布し、地域の環境保全を図っている。参加者は町内会員、薬剤等の経費は町内会会計から。⇒自宅の庭木へ散布をしてもらえることで、地域全体の害虫駆除になるとともに、町内会費を散布活動によって各戸へ還元していることにもなると思います。（富山地域、世帯数 51～100）

#### (5) お祝い

- ・一般的なものだと思っているが、ほぼ毎月行事として催事を行っている。あえていえば、香典、新成人祝、新入生（小学一年生）祝、古希祝いの贈呈（富山地域、世帯数 101～）

#### (6) 勉強会・相談会

- ・コロナワクチン接種相談会、マイナンバーカード申請説明会、スマホ教室の開催、立山登山（富山地域、世帯数 1～50）

#### (7) IT 活用

- ・若い方が多いので、IT に強い方も多く、コロナ禍にあっても活発に活動。①コロナ禍においても何かできるイベントはないかと模索し夕涼み会をオンライン抽選会（インスタライブにて町内に配信）に変更して実施。②役員会の資料を事前にライン等で情報共有し、会議時間の短縮を検討。③電子回覧板アプリ（結ネット）を使用した町内の情報共有。（富山地域、世帯数 101～）

### 3. 広報

#### 問 14 あなたの町内会では、会員に活動情報をどのように伝えていますか

- ・活動の伝達方法については、「回覧などで、情報を提供している」が90.4%と最も高く、ほとんどの町内会で回覧が行われている。回覧以外の活動では「公民館などの集会施設に情報を提供している」(29.6%)、「実際の活動を通じて、情報を提供している」(28.1%)、「独自の広報誌を通じて、情報を提供している」(20.7%)が多く、2～3割程度となっている。
- ・「独自の広報誌を作成し、発信している」の年間発信回数は、「5～10回」(29.6%)、「11回以上」(29.6%)を合わせると約6割であり、1～2か月に1度以上情報を発信している。また、他団体へ情報発信を依頼している例も少ないながらも見られている。(他団体の広報誌に掲載依頼2件、他団体の施設に掲示1件)
- ・活動情報の伝達については、回覧を基本としながらも、独自の広報誌を発行する町内会もみられている。

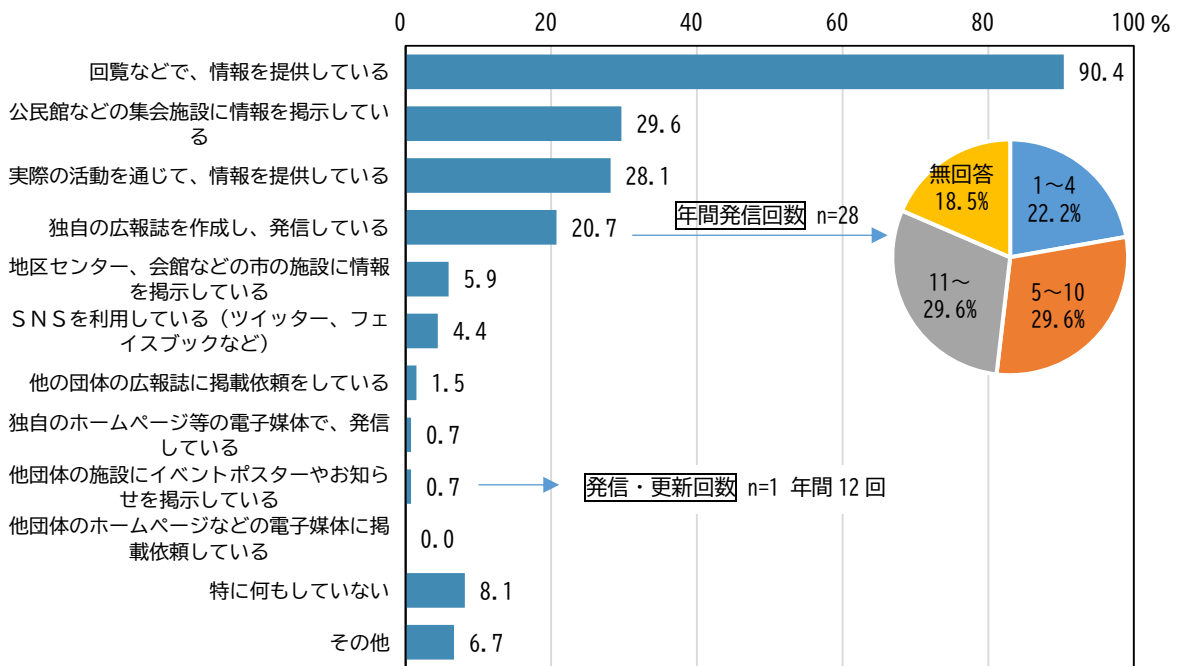


図 14-1 活動情報の伝達方法 (全体) 複数回答 n=135

#### 【その他内訳】

- ・ごみ集積場に告知板を設置(1)
- ・班別ミーティング(1)
- ・月に一回役員会(1)
- ・結ネット(1)
- ・年4階の定期集会時報告(1)
- ・町内掲示板での周知(8か所)(1)
- ・掲示板(12か所)を設置し、情報等を掲示(1)
- ・町内新聞を発行していたがやめた(1)
- ・毎月の定例会(月末)にお伝えしている(1)

**問 15 活動情報を発信する上で困ることについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。**

- ・活動情報を発信する上で困ることは、「回覧の効果」が 49.2%と最も多く、次いで「回覧版の準備や回覧が負担となっている」(32.8%)、「回覧に時間がかかっている」(26.6%)の順に多い。
- ・一方、「特にない」が 28.9%と約3割が困ることはないと回答している。

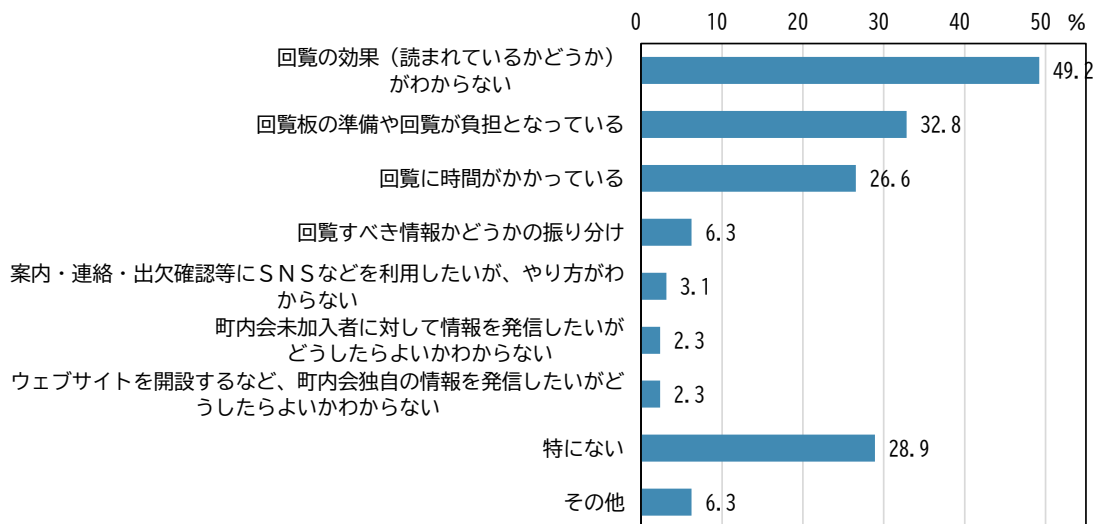


図 15-1 活動情報を発信する上で困ること（全体）複数回答 n=128

**【その他内訳】**

■アパート関係

- ・アパートオーナーの町内会参加意識の欠如(1)
- ・アパート入居者への回覧の効果。必要性が分からない。入居者情報がない。(1)
- ・アパート世帯、結ネット未加入者へ対しての情報発信(1)

■SNS利用

- ・SNS を使いたい、高齢者が多いので難しい(1)
- ・SNS 利用の際の機器使用の伝達等(1)
- ・高齢者にはウェブサイト、SNSなどは仕様が難しい。(1)
- ・SNS を利用したいが、高齢者が多く合意に至らない。(1)
- ・高齢者が多く、SNS 等が普及しない(1)

- ・地域別に活動情報を発信する上で困ることについてみると、「回覧の効果がわからない」は大山地域、山田地域で割合が高く、一方大沢野地域、八尾地域では低い。
- ・「回覧版の準備や回覧が負担となっている」は、婦中地域、大沢野地域で割合が高く、一方八尾地域では低い。
- ・また「回覧に時間がかかっている」では大山地域、婦中地域、細入地域で割合が高い。
- ・「特にない」をみると、八尾地域、細入地域で割合が、全体と比べ 20 ポイント以上高く、一方大沢野、大山地域では 10 ポイント以上低く、地域によって情報発信の負担に違いがみられている。

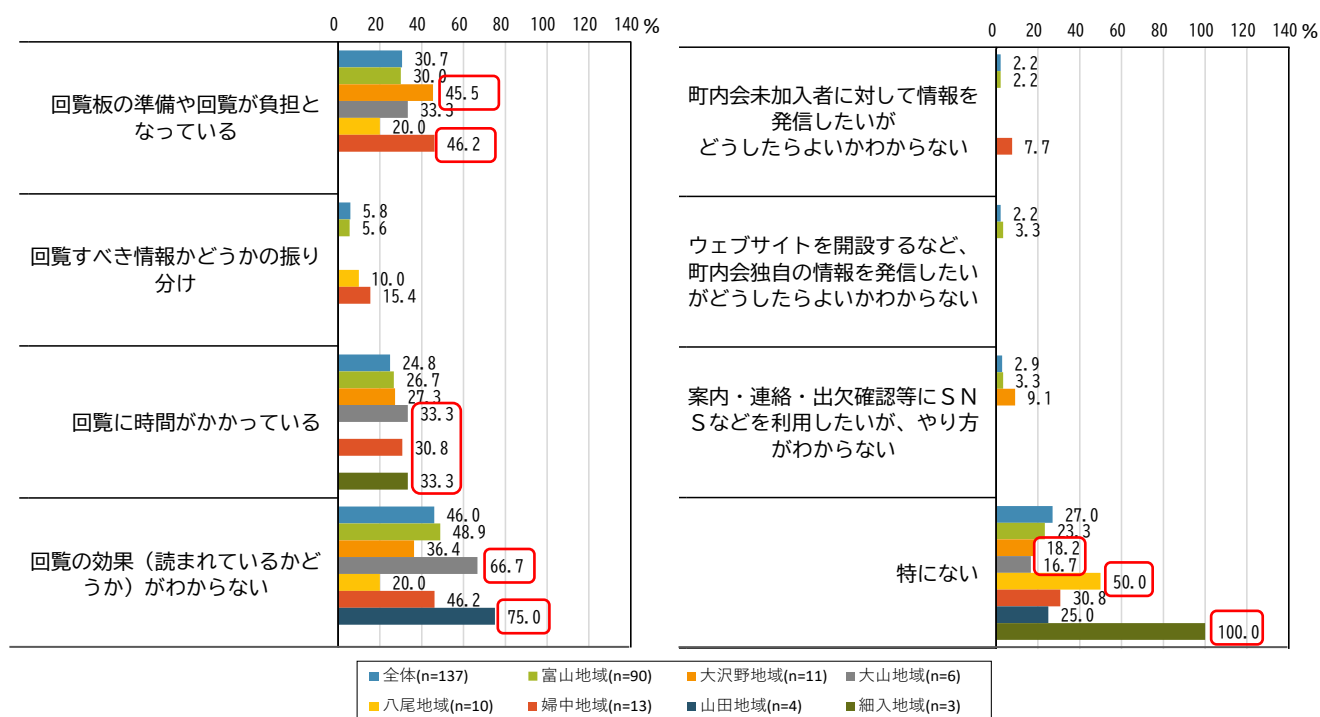


図 15-2 活動情報を発信する上で困ること（地域別）

## 4. 加入促進

### 問 16 町内会の加入率はおおよそどのくらいですか。

- ・町内会の加入率は、「全戸加入」が 61.3%であり、「90%以上」33.6%を含めると、94.9%である。
- ・地域別にみると、富山地域では「全戸加入」が 54.4%と全体と比べ 6.9 ポイント低く、全戸加入が低い。
- ・また、婦中地域においても「全戸加入」が 53.8%と低く、その分「70%以上 90%未満」が 7.7%（4.8 ポイント）高く、全体と比較して加入率が低い。
- ・市域全体としては、町内会の加入率が高いが、一部の地域でやや加入率が低いことがうかがえる。

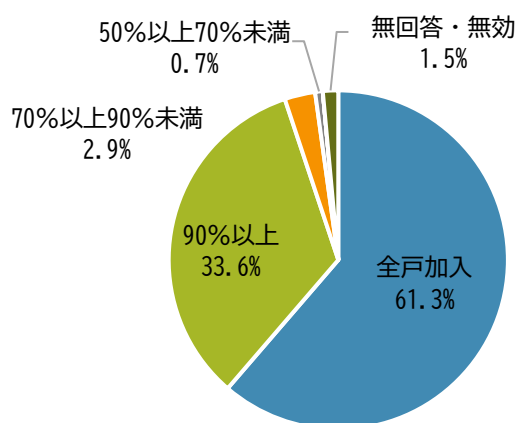


図 16-1 町内会の加入率（全体）

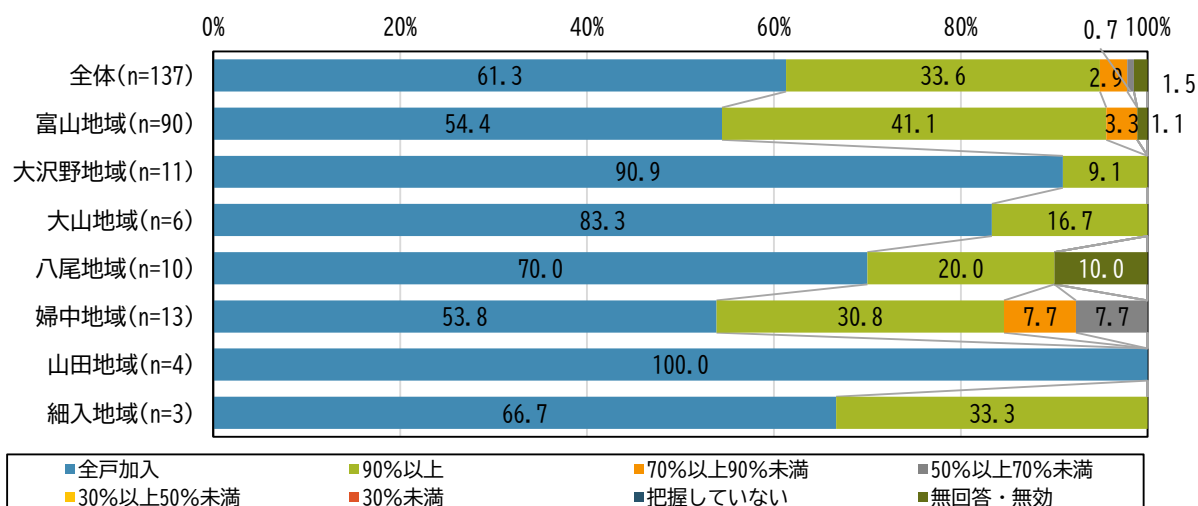


図 16-2 町内会の加入率（地域別）

問 17 未加入者が町内会へ加入しない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・町内会へ加入しない理由について回答が3割を超える理由についてみると、「加入しなくても困らない」(55.8%)、「加入するメリットがわからない」(46.2%)、「町内会活動に関心がない」(50.0%)などの利点や関心について回答や、「会費等の出費が負担」(48.1%)、「近所付き合いが面倒」(44.2%)、「役員になりたくない」(34.6%)などの費用負担や所属の煩わしさについての回答がある。

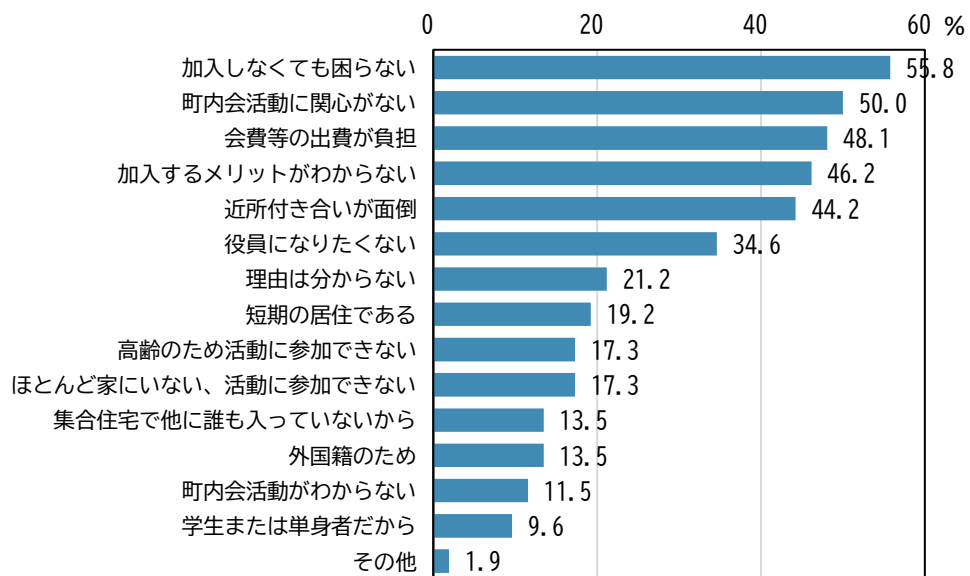


図 17-1 町内会へ加入しない理由（全体）複数回答 n=52

【その他内訳】  
・日中のみ店を開いている(1)



問 18 未加入世帯があることで困っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・未加入世帯があることで困っていることは、「どんな人が住んでいるか分からない」が40.0%と最も高く、他の項目に比べ16ポイント高くなっている。
- ・次いで「加入世帯の側で不公平感が生じている」(24.0%)、「地域のルールが守られていない」(22.0%)、「地域の連帯感が薄れる」(20.0%)の順に多くなっている。
- ・一方、「困っていることは特にない」は32.0%と3人に1人は特に問題として取り扱っていない。

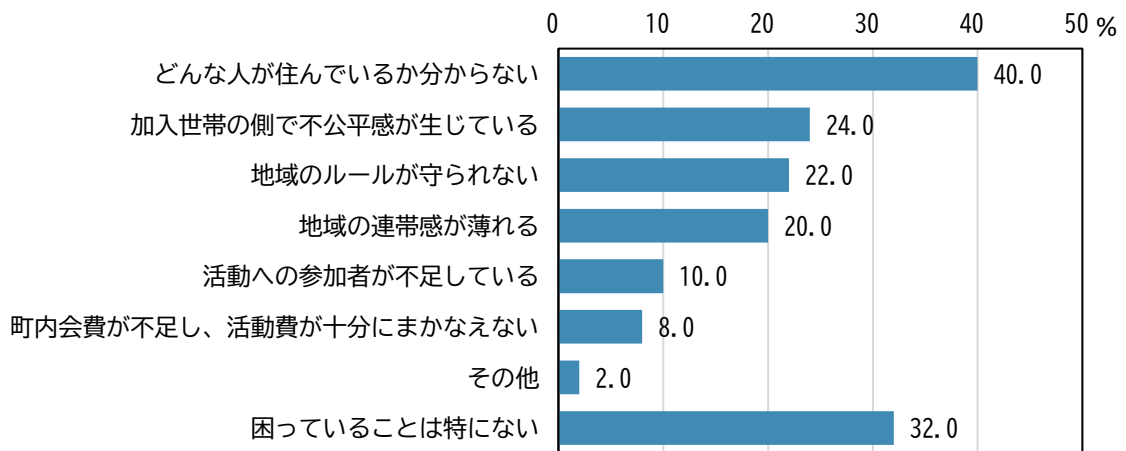


図 18 未加入世帯があることにより困っていること（全体）複数回答 n=50

【その他内訳】

・ゴミステーション使用に対していくらかいたくべきなのだが、幾らにすればよいかわからないので請求していない。ゴミステーション掃除当番はされている。(1)

問 19 未加入者に町内会への加入を働きかけたことがありますか。

問 20 どのような方法で加入を働きかけましたか。

- ・未加入者への加入の働きかけの有無については、「ある」が 35.8%、「ない」が 57.7%であり、4割程度の町内会で働きかけの経験がある。
- ・具体的な働きかけの方法については、「直接、住人に対し面談し、加入を勧めた」が 85.7%と最も多い方法となっている。
- ・地域別にみると、富山地域において「ある」が 45.6%であり、全体と比べ 9.8 ポイントも高く、未加入者への働きかけの経験がある。
- ・大沢野地域、八尾地域、山田地域においては、未加入者への働きかけが「ない」が 9割を超えており経験が少ない。いずれも、町内会の加入率が高い地域である。

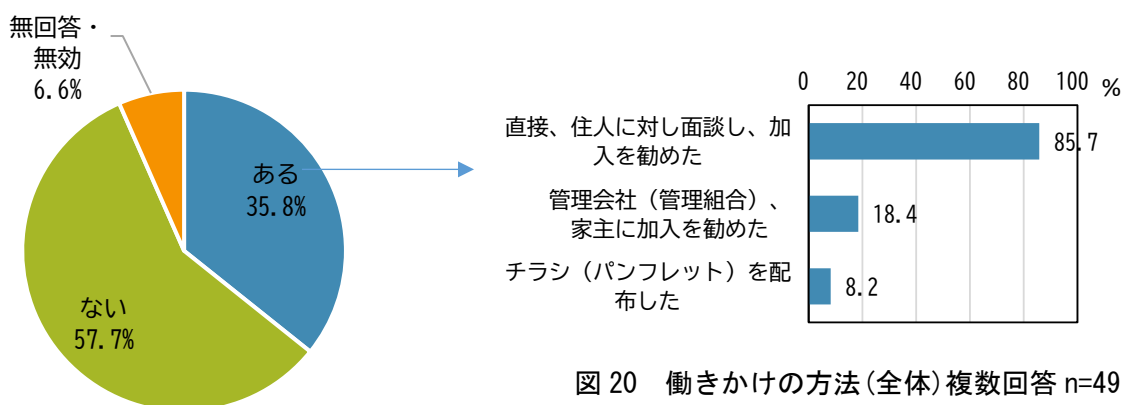


図 20 働きかけの方法 (全体) 複数回答 n=49

図 19-1 未加入者への加入の働きかけの有無 (全体)

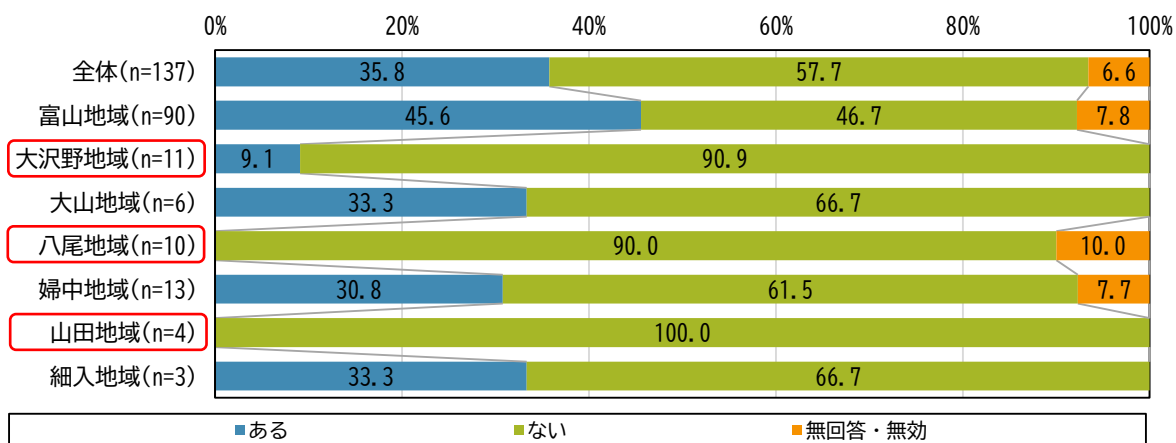


図 19-2 未加入者への加入の働きかけの有無 (地域別)

## 問 21 加入の決め手は何でしたか。

- ・ 加入の決め手については、「町内会長や役員の働きかけ」が 76.3%と最も高い。
- ・ 次いで、「環境整備の必要性への理解」 23.7%、「管理会社、家主の働きかけ」 21.1%の順に高くなっている。

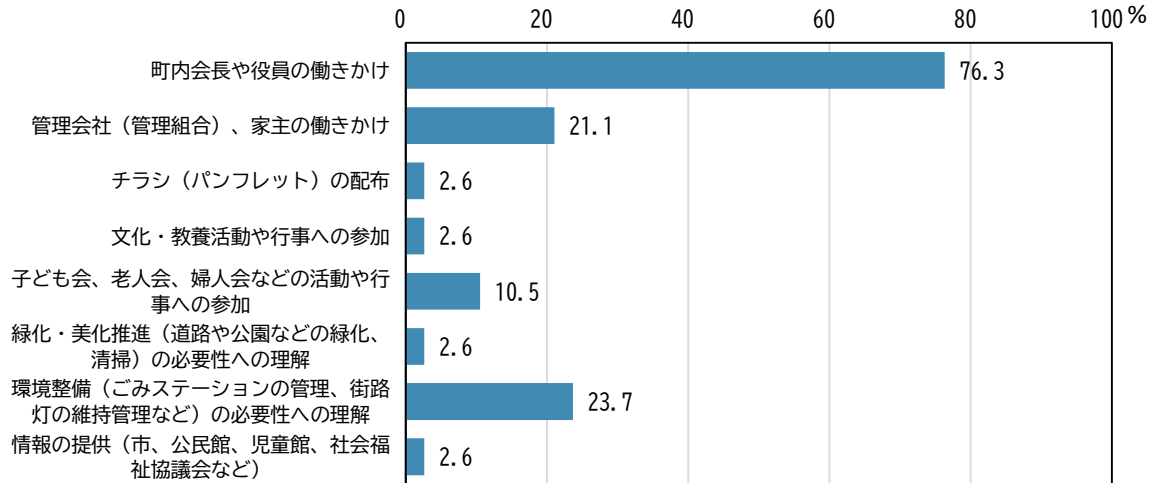


図 21 加入の決め手（全体） n=38 ※未加入者が加入に応じた例がある場合

## 問 22 町内会として会員名簿を作成していますか。

- ・会員名簿の作成については、「作成し、各世帯に配布している」32.1%、「作成しているが配布していない」が41.0%であり、7割程度が会員名簿を作成し、配布はしていない町内会がやや多い状況である。
- ・名簿の活用方法としては、通常と緊急時の連絡用に利用されている。(6～7割)
- ・名簿を作成しない理由としては、個人情報の取り扱い・漏洩が挙げられている(約6割)。

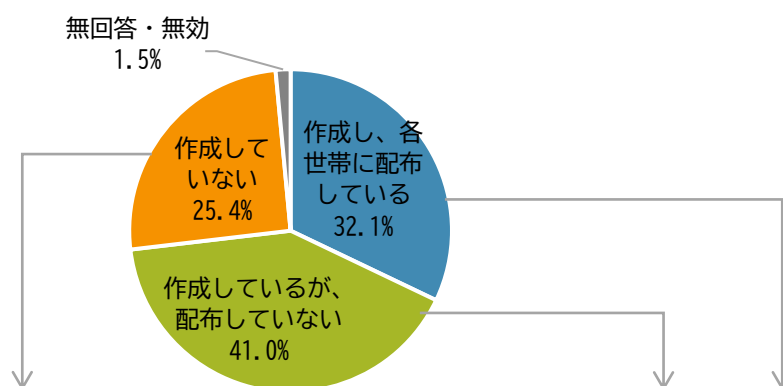


図 22-1 会員名簿の作成 (地域別)

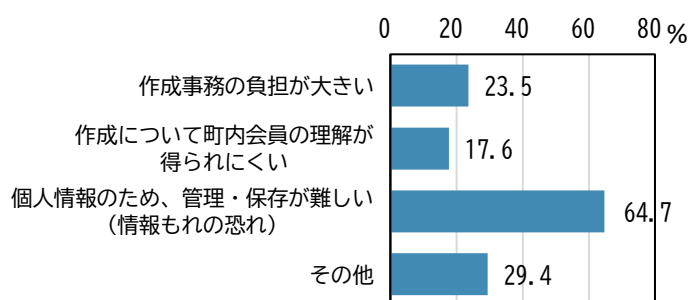


図 22-3 作成していない理由  
複数回答 n=34

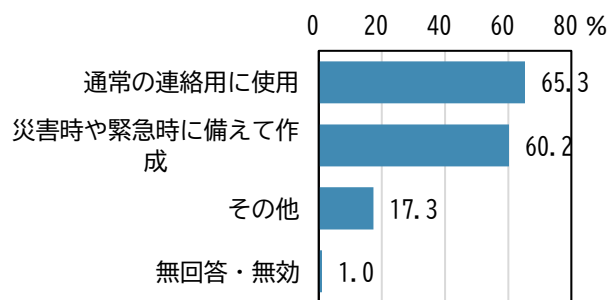


図 22-2 名簿の活用方法  
複数回答 n=98

### 【その他内訳】

- ・特に必要がない(2)
- ・昔からの住人・知り合いで、改めて作成する必要がない。(3)
- ・各戸の家族構成は概ね把握できているため。(1)
- ・各班単位で管理している(1)
- ・役員名簿のみある(1)
- ・全戸加入のため必要ない(1)
- ・自治振興会の名簿がある(1)

### 【その他内訳】

- ・町内会費の集金に使用(3)
- ・個人情報に配慮し、役員で保管・管理(2)
- ・地図上に名前のみ表示(1)
- ・年度初めに「住宅図」配布。世帯主のみ。(1)
- ・委員の選挙(1)
- ・総会資料に、班別に名前のみ記載(1)
- ・町内会役員のみ使用(1)
- ・総会名簿や出欠配布確認(1)
- ・世帯主の変更等の把握(1)
- ・世帯内容を把握、特に高齢者独居(1)
- ・世帯名簿を公民館に掲載(1)
- ・総会資料に添付(1)

- ・地域別にみると、大山地域、婦中地域においては、「作成し、各世帯に配布している」が高い傾向にある。
- ・大沢野地域、八尾地域、山田地域、細入地域においては、「作成しているが、配布していない」「作成していない」が高い傾向にある。
- ・大山地域、婦中地域では、名簿の作成・配布が多く行われているものの、そのほかの地域では作成していない、作成しても配布していない場合が多くなっている。

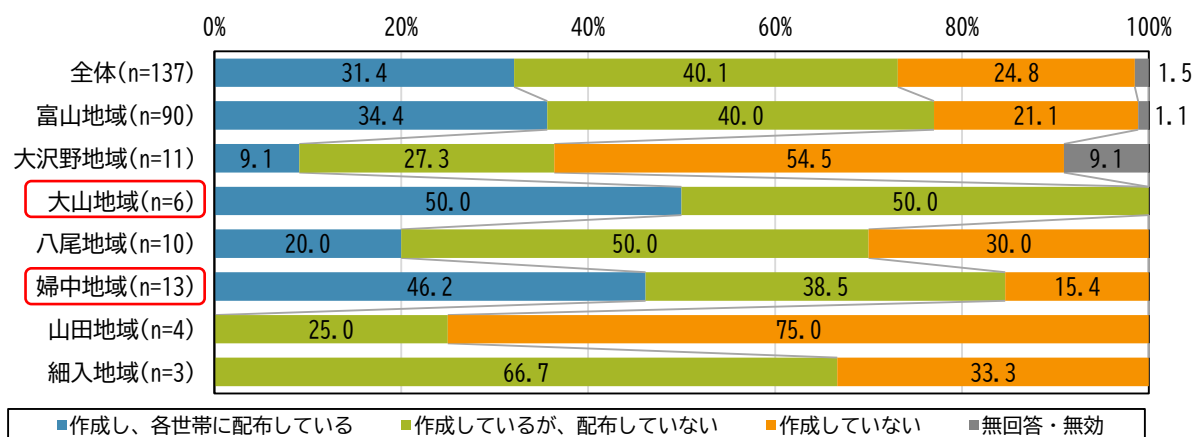


図 22-4 会員名簿の作成（地域別）

## 5. 運営における課題

### 問 23 町内会の活動を行っていく上での課題についてどのようにお考えですか。

- ・活動の課題については、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答が8割を超える項目は、「活動内容が慣例化している」(89.1%)「役員のなり手が不足している」(83.2%)、「役員が高齢化している」(81.0%)であり、人口減少や高齢化等の影響がうかがえる。
- ・次いで「特定の人しか参加しない」「活動の参加者が少ない」が7～8割と高く、活動の参加者についての課題があげられている。

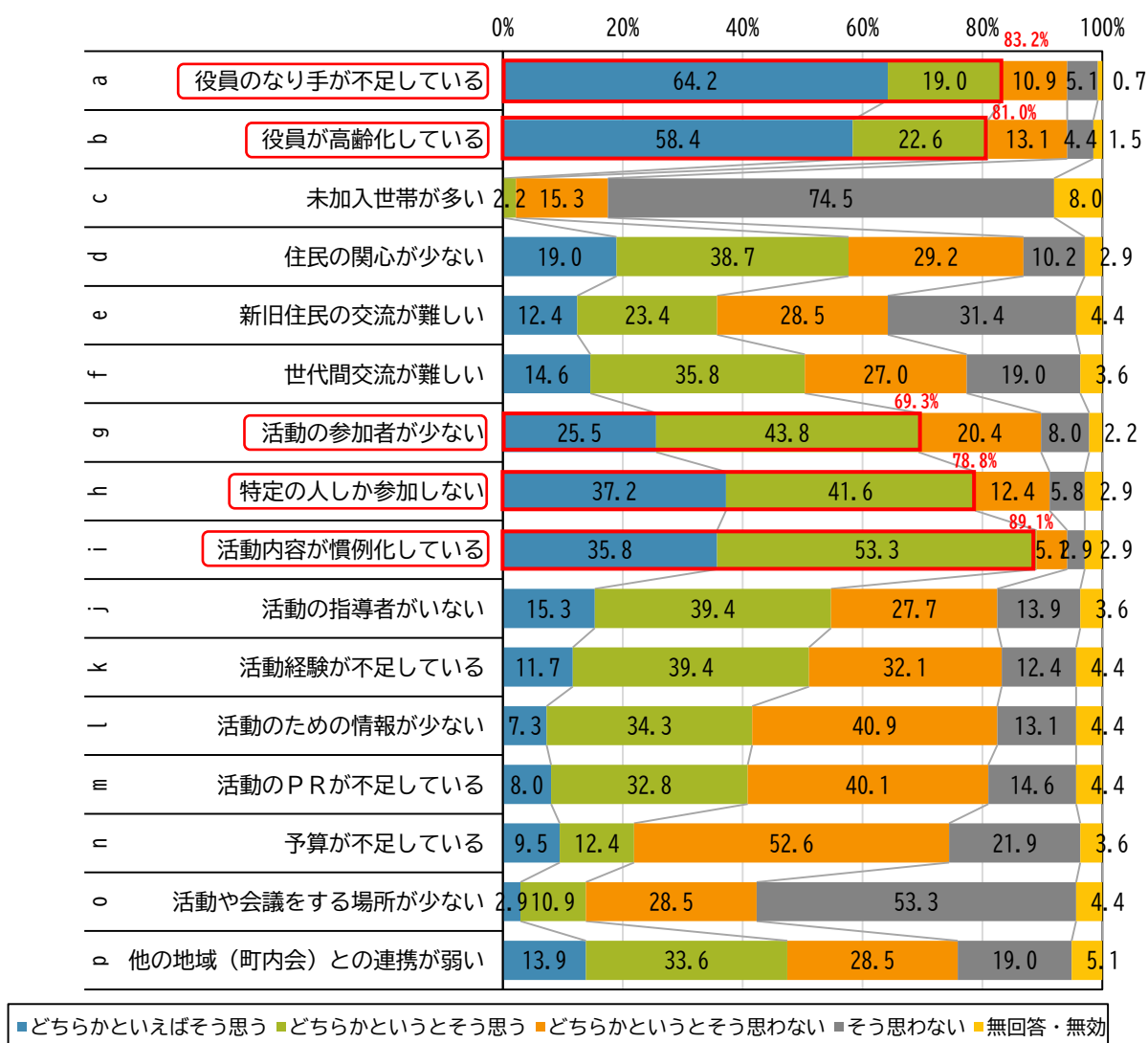


図 23-1 活動上の課題 (全体)

- ・活動の課題について、地域別に「そう思う、どちらかといえばそう思う」の回答合計について分析する。
- ・役員については「a. 役員のなり手不足」で大沢野地域が高く、「b. 役員の高齢化」で婦中地域、山田地域が高い。
- ・活動の参加については、「g. 参加者が少ない」で富山地域が高く、「h. 特定の人しか参加しない」は同じく富山地域、そのほか婦中地域で高い。

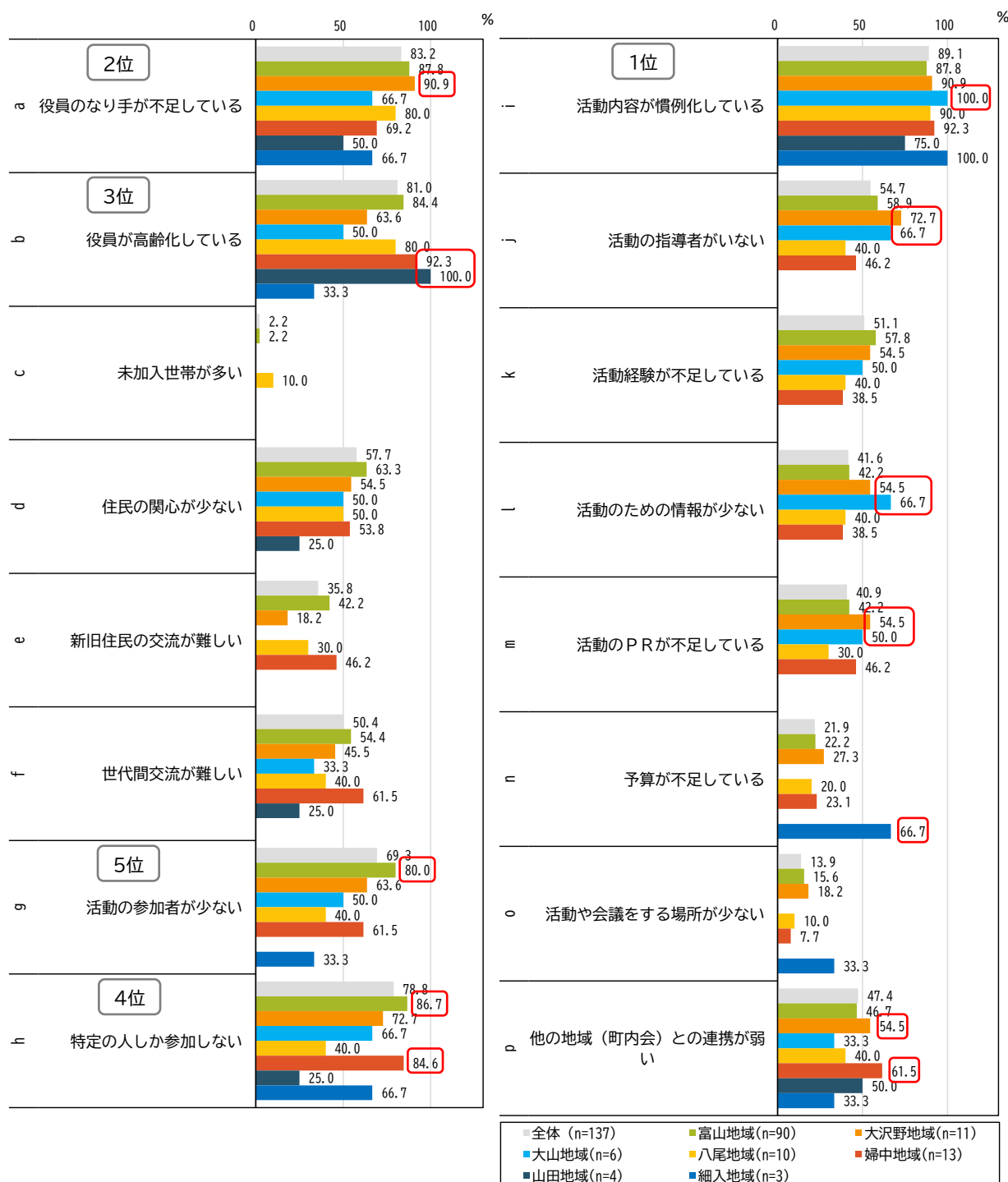


図 23-2 活動上の課題（地域別）（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答合計）

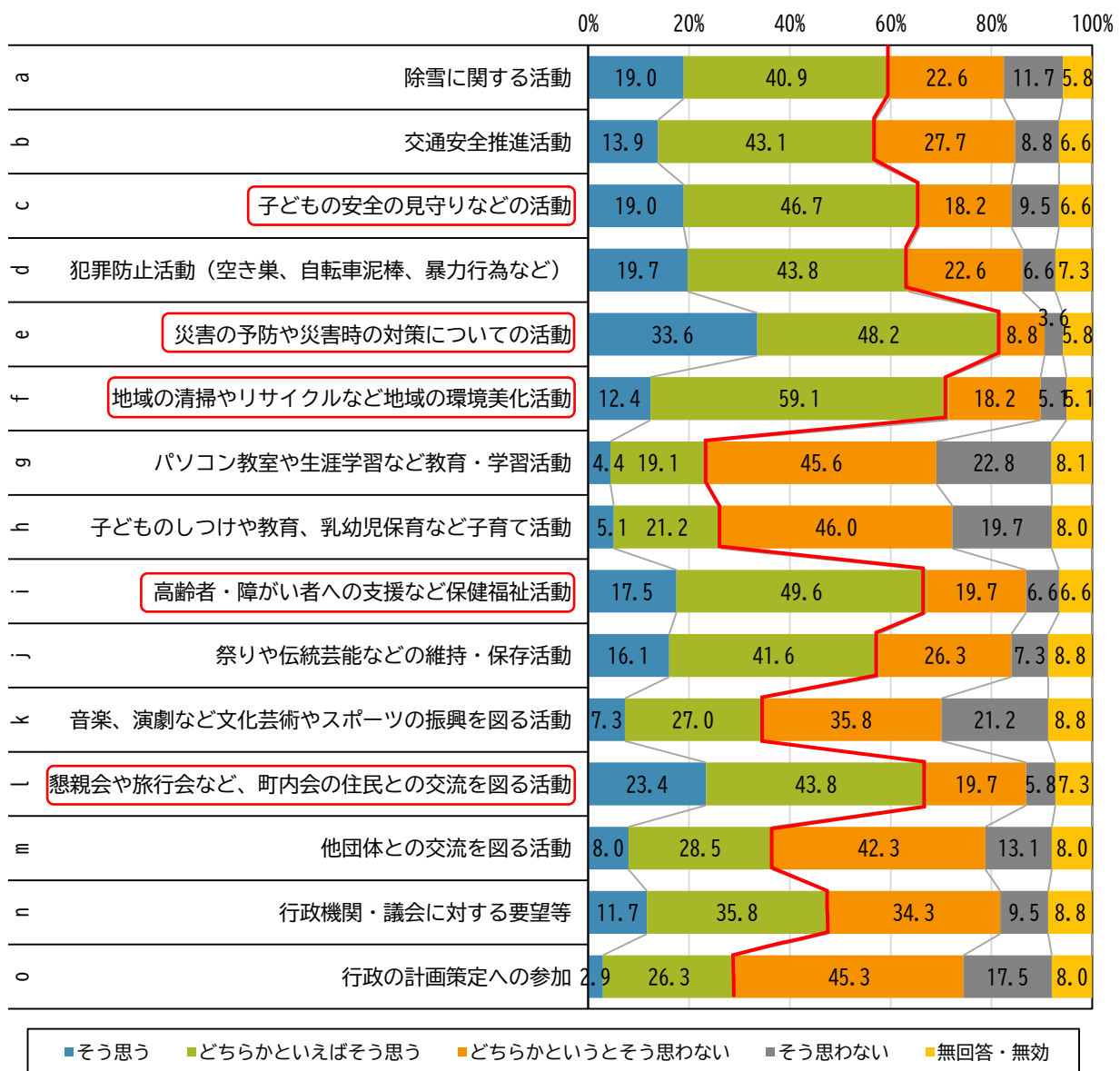
- 大山地域では、「i. 活動が慣例化」「j. 指導者がいない」「l. 情報がない」「m. PR不足」が全体よりも10ポイント程度高く、様々な問題を抱えている。
- 大沢野地域においても同傾向であり、「j. 指導者がいない」「l. 情報がない」「m. PR不足」「p. 地域連携が弱い」が高い。
- そのほか、細入地域では「n. 予算不足」(66.7%)、婦中地域では「p. 地域連携が弱い」(61.5%)が高い。



### 第3章 今後の町内会活動

問 24 今後の町内会活動についてお聞きします。次の各活動について今後新しく取り組みたい、または内容を充実させたいと思いますか。

- ・新たに取り組みたい、内容を充実させたいと思う町内会活動について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答合計について分析する。
- ・回答割合が高い項目（7～8割）は、「災害の予防や災害時の対策についての活動」81.8%、「地域の清掃やリサイクルなど地域の環境美化活動」71.5%、「高齢者・障がい者への支援など保健福祉活動」67.1%、「懇親会や旅行会など、町内会の住民との交流を図る活動」67.2%、「子どもの安全の見守りなどの活動」65.7%となっている。



【その他内訳】

・空地の草刈りが勝手にできず困っている。

図 24-1 今後新しく取り組みたい、内容を充実させたい（全体）

- ・新たに取り組みたい、内容を充実させたいと思う町内会活動について、地域別に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答合計について分析する。
- ・細入地域では、「環境美化活動」「教育・学習活動」「保健福祉活動」以外の12項目で高い割合であり、取り組みたい活動が多い。
- ・山田地域、婦中地域は、傾向が類似しており「子どもの見守り活動」「保健福祉活動」「町内会交流活動」「行政要望」が両地域ともに4項目で高い割合である。そのほか、山田地域では「犯罪防止活動」、婦中地域では「子どもの見守り活動」で割合が高い。
- ・そのほか、八尾地域では「除雪活動」「交通安全活動」「防災活動」、大山地域では「犯罪防止活動」「環境美化活動」で割合が高い。

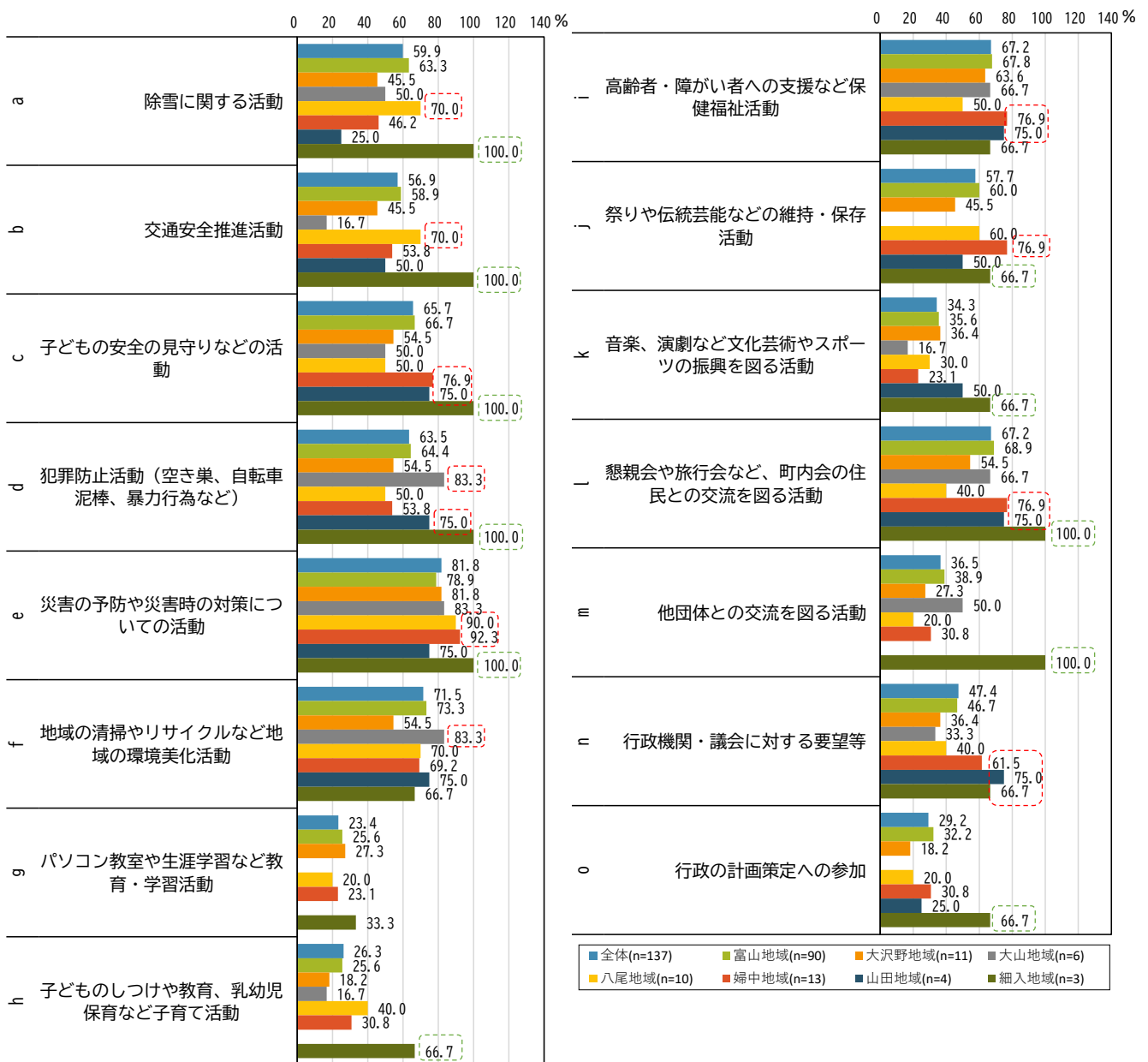


図 24-2 今後新しく取り組みたい、内容を充実させたい（地域別）  
（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答合計）

**問 25 今後の町内会活動に関して、今後、新しく連携したい、連携を強くしたいと考えている団体がありますか。**

- ・ a～o の各活動について、今後連携したい団体の合計をみると、最も多いのは「a. 除雪に関する活動」54 件であり、次いで「b. 交通安全推進活動」53 件、「d. 犯罪防止活動」「e. 災害の予防や災害時の対策についての活動」同 51 件である。
- ・ 各活動で連携希望数に大きな差はなく、いずれの活動においても連携希望がみられる。

※以降、今後新しく連携したい、連携を強くしたい団体数が、各活動で 10 を超えるものについて各活動を分析する。

**① a. 除雪活動～f. 環境美化活動**

- ・ いずれの活動においても、「町内会、連合町内会以外の住民組織」との連携希望が多い。
- ・ 「a. 除雪活動」については、「民間企業・事業所」との連携希望が多い。
- ・ 除雪活動以外（「b. 交通安全推進活動」～「f. 環境美化活動」）では、「協会・協議会」との連携希望が多く、特に「b. 交通安全推進活動」「d. 犯罪防止活動」では希望が 20 を超えている。

**② g. 教育学習活動～in. 健康福祉活動**

- ・ 「g. 教育学習活動」については、「サークル・同好会」との連携希望が多い。
- ・ 「h. 子育て活動」は、「ボランティア団体」「教育機関」との連携希望が多い。

**③ k. 文化・スポーツ活動**

- ・ 「サークル・同好会」との連携希望が多い。

**④ j. 維持・保存活動及び l. 住民交流活動**

- ・ 「j. 維持・保存活動」「l. 住民交流活動」は、連携したい団体が同傾向にあり、「町内会、連合町内会以外の住民組織」との連携希望が多い（順に 19 件、20 件）。

**⑤ m. 他団体交流活動～o. 行政の計画策定への参加**

- ・ 「町内会、連合町内会以外の住民組織」との連携希望が多い。
- ・ 「m. 他団体交流活動」は、「ほかの町内会」との連携希望が多い。

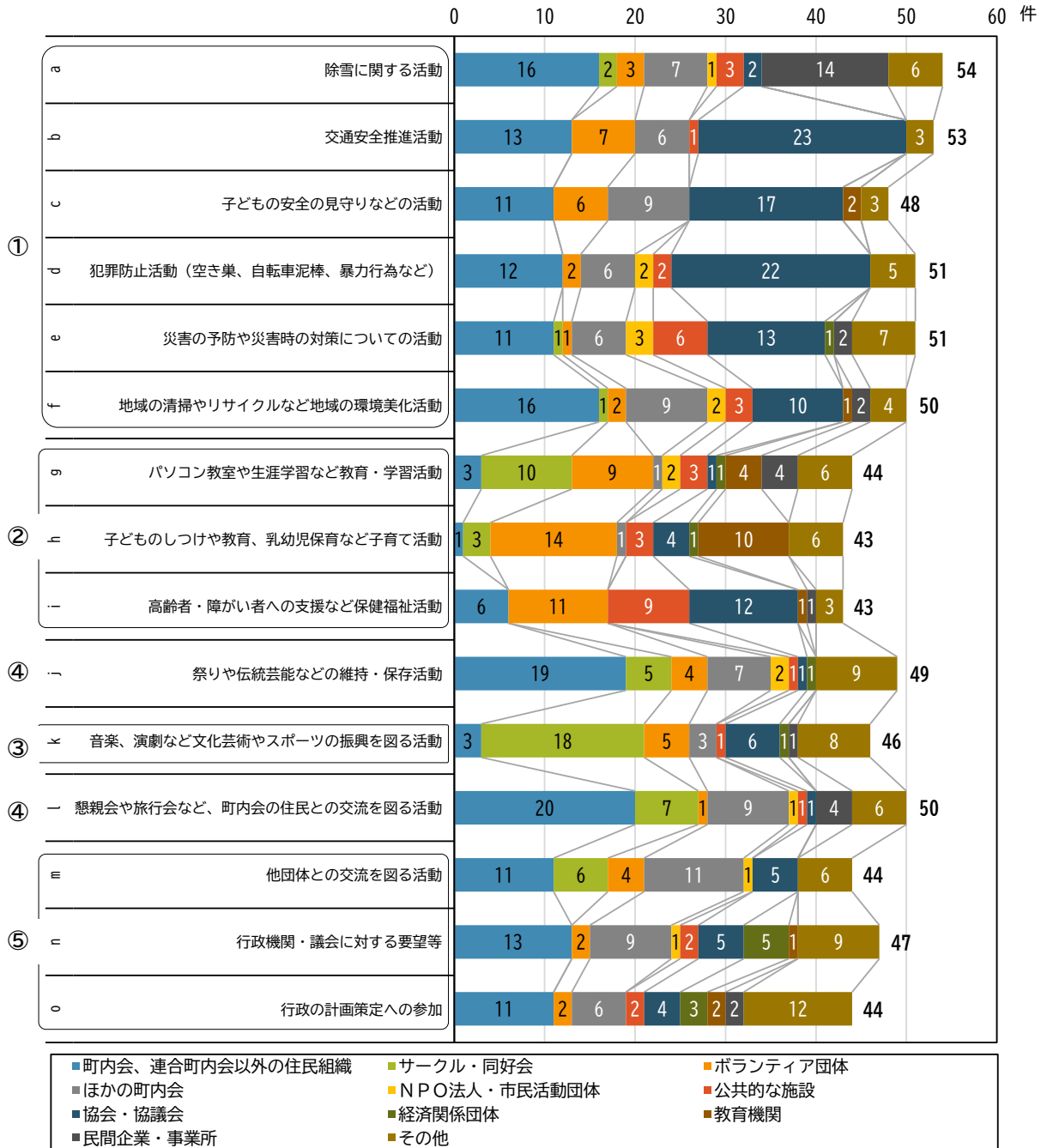


表 25 連携したい団体（全体）

問 26 市役所などから依頼される仕事の必要性や負担感について、どのように感じていますか。

- ・依頼される仕事の必要性について、「必要である」「どちらかといえば必要である」の合計をみると、「市広報の配布」「お知らせ等の回覧」は9割を超える。また、その他項目についても過半数を超えており、必要性を感じている方の割合が高い。
- ・負担の感じ方について、「負担を感じない」「どちらかといえば負担を感じない」の合計をみると、過半数を超えるものは、「市広報の配布」「お知らせ等の回覧」のみである。
- ・一方、「各種委員の推薦、就任」「会議、イベントへの出席、参加者のとりまとめ」「統計調査の調査員の推薦」は、「負担である」「どちらかといえば負担である」の合計が7割を超え負担感が高い。これらは、必要性を感じながらも、負担感が高い仕事である。
- ・また、「各種委員の推薦、就任」については、必要性を感じながらも、負担感が大きい仕事となっている。

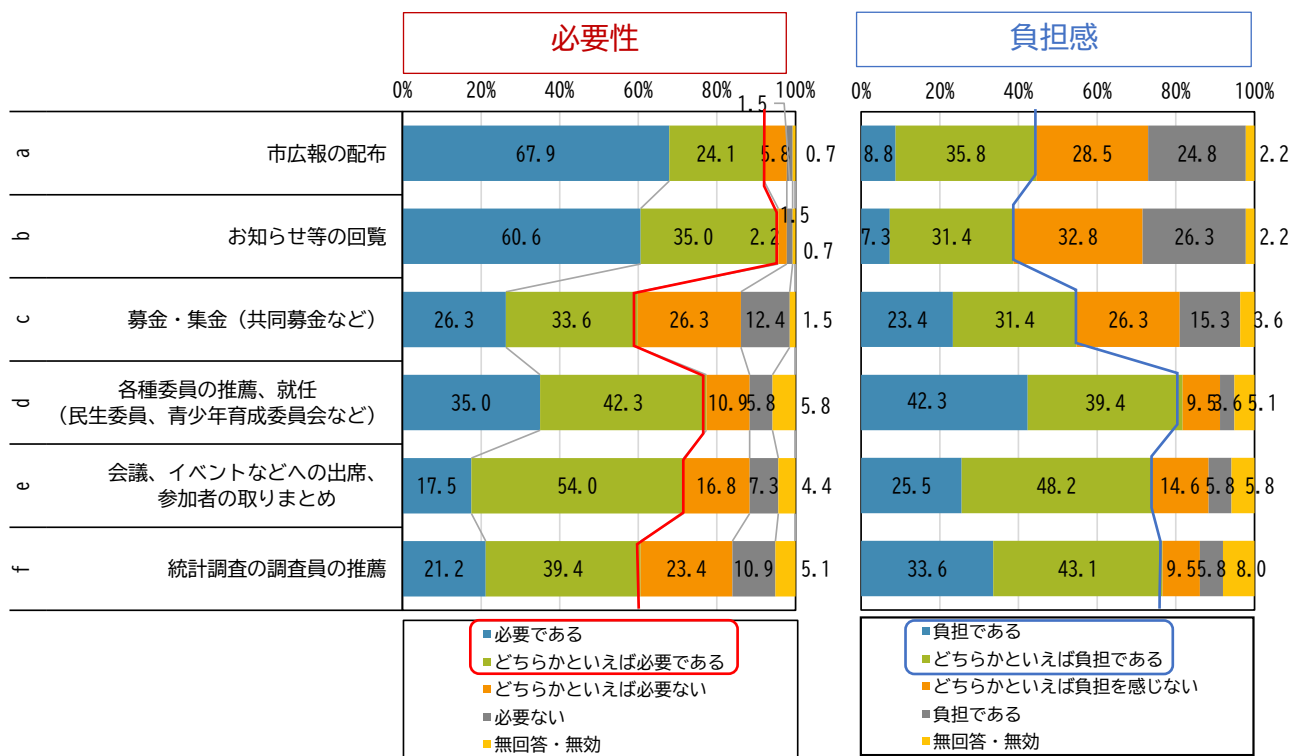


図 26-1 必要性、負担感の感じ方（全体）

- ・地域別に、必要性については「必要である」「どちらかといえば必要である」の回答合計、負担感については「負担である」「どちらかといえば負担である」の回答合計について分析する。
- ・「市広報の配布」では、大山地域、八尾地域、大沢野地域で負担感が高い。
- ・「お知らせ等の回覧」では、大山地域、八尾地域、山田地域で負担感が高い。
- ・「会議、イベントなどへの出席、参加者のとりまとめ」では、大山地域、八尾地域、婦中地域、細入地域で必要性が高い。
- ・細入地域では、「各種委員の推薦、就任」「会議、イベントなどへの出席、参加者のとりまとめ」の負担感が高い。
- ・また、婦中地域では必要性が高い項目が多い。

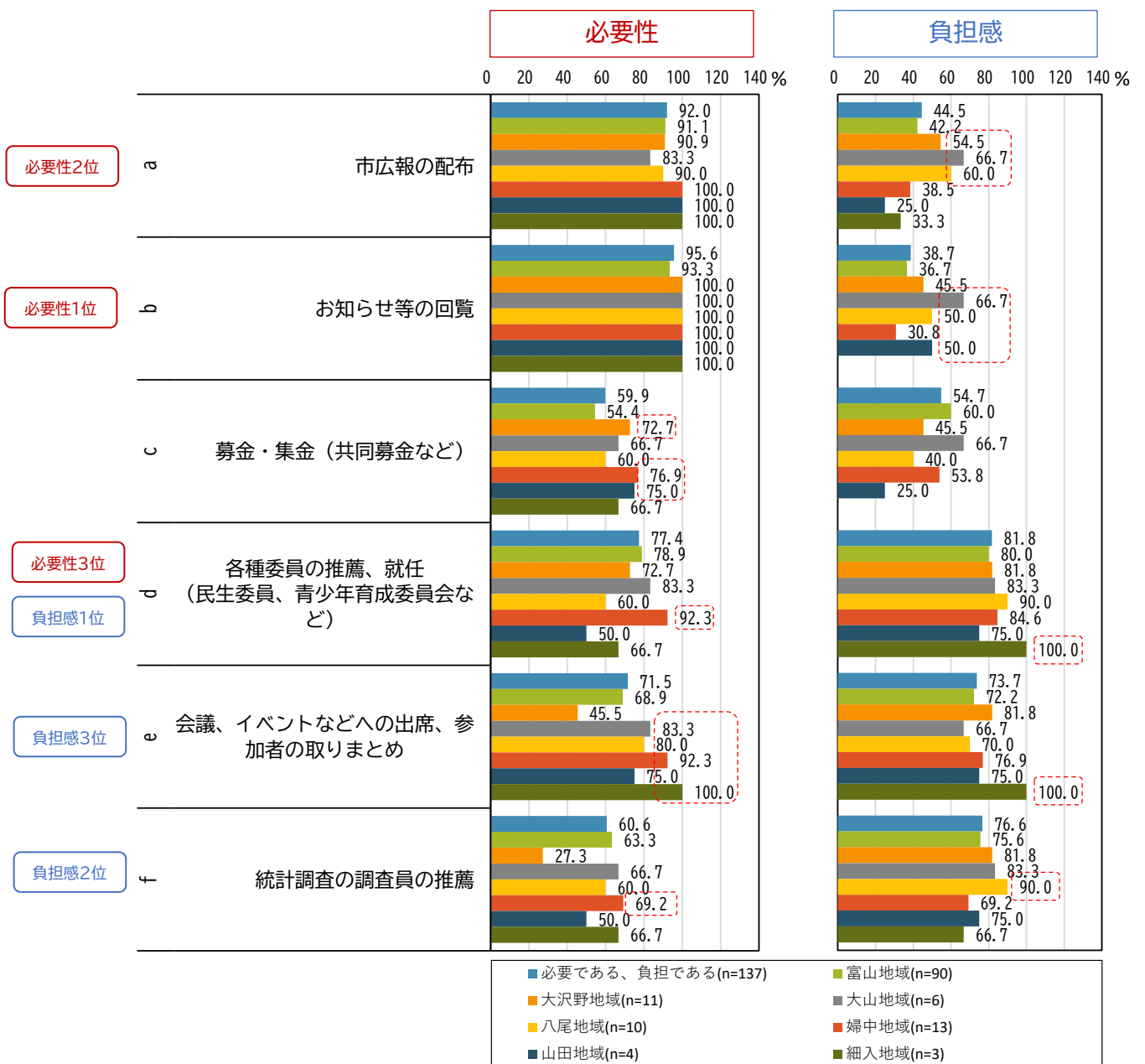


図 26-2 必要性、負担感の感じ方 (地域別)

## 問 27 町内会の活性化に必要なものは何だと思いますか。

- ・町内会の活性化に必要なものについてみると、全体では「地域のリーダーとなる人材」が 80.9%と最も高く、次いで「若い世代の地域への参画」77.9%、「地域住民の意識啓発」57.3%の順に高く、6～8割が活性化に必要と回答しており、今後町内会の中心となる若い世代への対応を求める声が大きい。
- ・そのほか、20%を超える回答は、「持続可能な運営体制の構築」「活動の財源の充実」「新たな活動の創出」「他地域の活動の情報の入手」となっており、活動の持続可能性のための財源や他地域を含む新たな活動へのニーズがうかがえる。

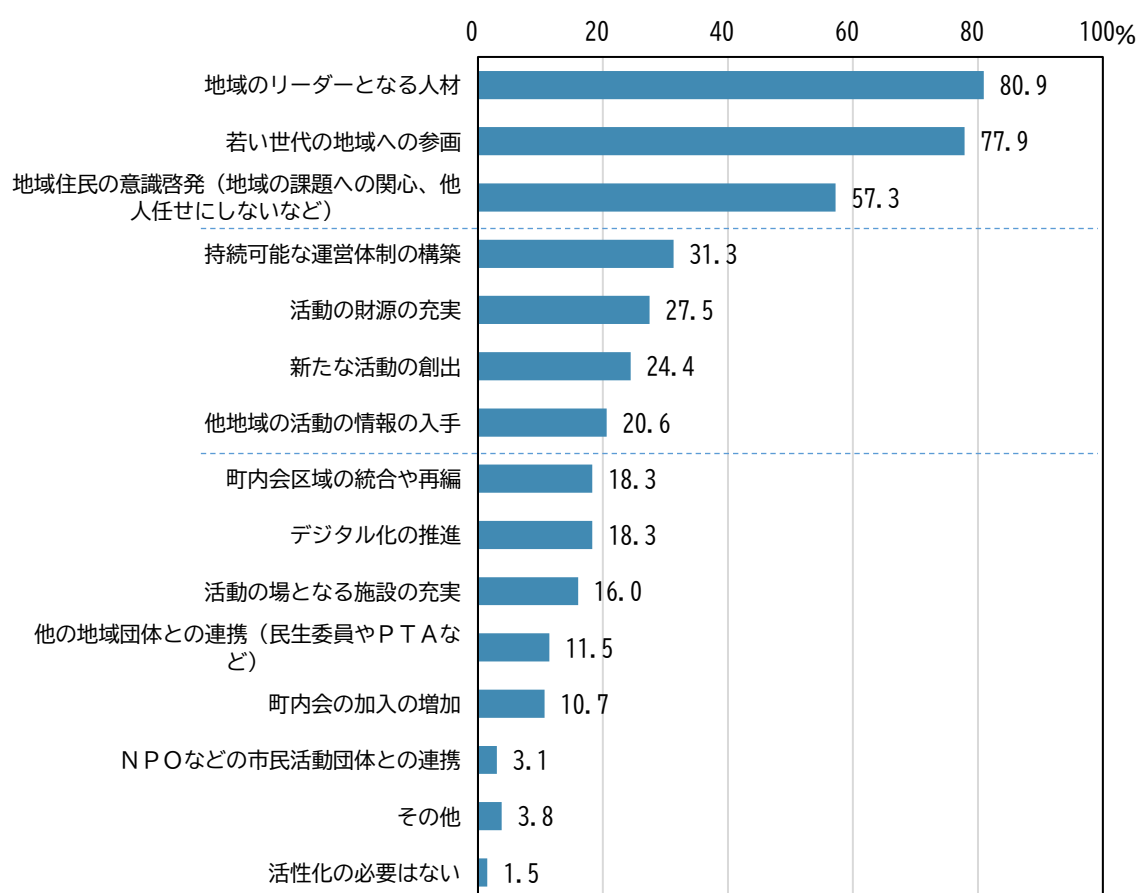


図 27-1 町内会の活性化に必要なもの (全体) 複数回答 n=131

### 【その他内訳】

- ・「社会貢献」「未来への投資」「教育への参画」等、発展的な意識の啓発(1)
- ・各人は自分のための時間はあるが、地域のための時間はない。各人の価値観は異なる。参加しなくても困らない社会である。参加しても大きなメリットがあるわけではない。デジタル化を地域に手取り足取りで浸透できる人がいない。そこまでして受ける人がいない(高齢、時間等)(1)
- ・市街化調整区域の撤廃(1)
- ・役員は現役世代でないこと(1)

- ・活性化に必要なものについて、地域別にみると「デジタル化の推進」については、「八尾地域」「婦中地域」「山田地域」では5割程度が活性化に必要と回答しており、全体と比べ20ポイント以上高くなっている。
- ・「若い世代の地域への参画」は、「八尾地域」「婦中地域」「細入地域」で低い傾向がみられる。
- ・「新たな活動の創出」では、「大山地域」「八尾地域」で高い傾向がみられる。
- ・「他地域の活動の情報入手」では、「八尾地域」「婦中地域」「細入地域」で高い傾向がみられる。
- ・「町内会区域の統合や再編」は、「八尾地域」で高い傾向がみられる。
- ・「活動の場となる施設の充実」では「婦中地域」「細入地域」で高い傾向がみられる。
- ・富山地域以外の郊外部の地域においては、他地域の情報を入手するなど、新たな活動に対するニーズやデジタル化の推進を望む傾向がある。一部の地区では統合や再編、施設の充実が必要との傾向が高い。

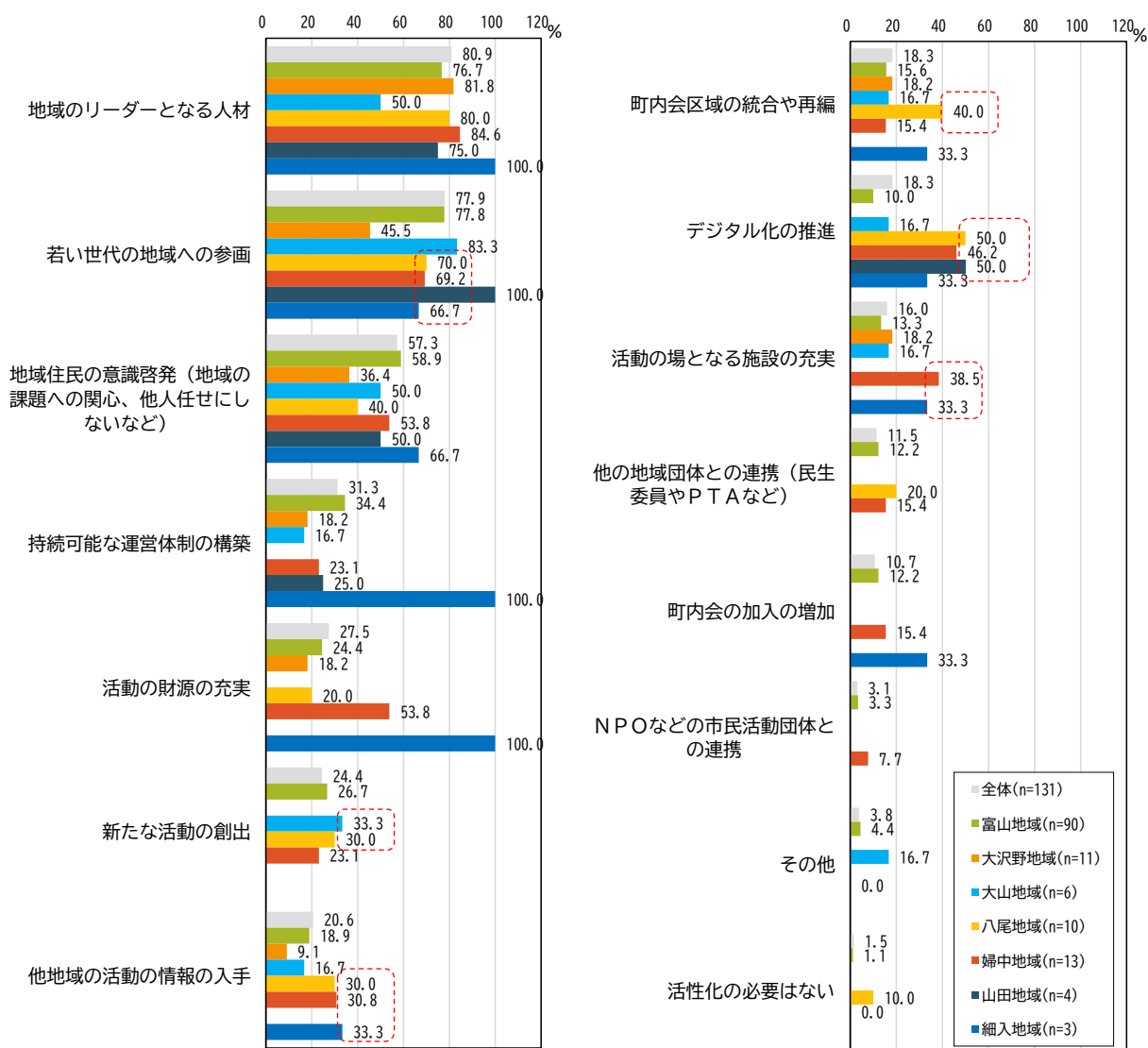


図 27-2 町内会の活性化に必要なもの (地域別)



**問 28 回答した取組を進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
自由にご記入ください。**

- ・活性化に必要な取組を進めるために必要なこと（自由記載）は、88 件の回答があった。
- ・上位の回答項目は「若い世代の地域への参画・交流」「地域住民の意識啓発・声掛け」「行事参加・交流」「地域のリーダーとなる人材、担い手確保」であり、声掛けや交流で町内会へ関心を持ってもらうこと、担い手が必要との回答が多い。
- ・問 27「活性化に必要なもの」と同項目が挙げられるケースが多いが、問 27 にはない項目として「行事参加、交流」「転入促進、住みやすさ」「手立てがない」「財源・予算」「報酬」などがある。

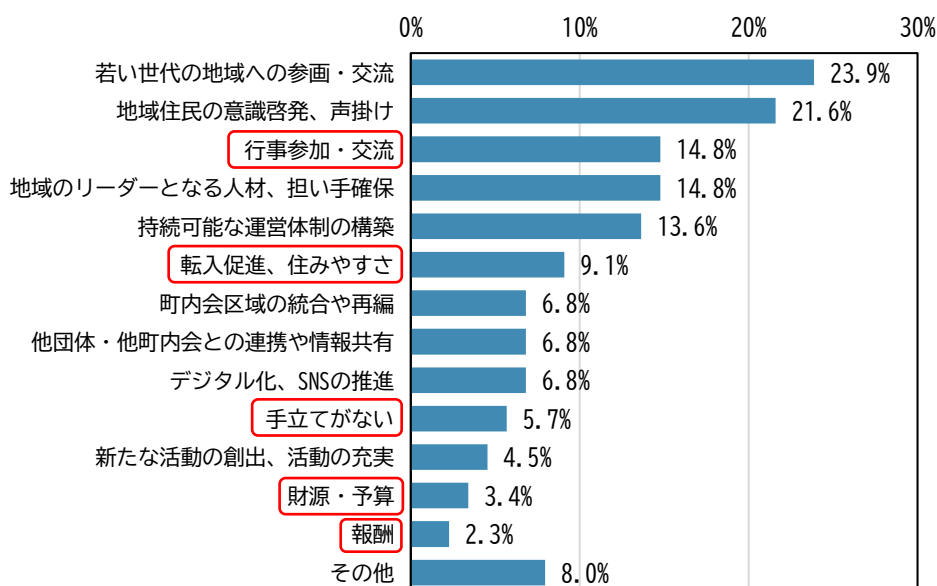


図 28 取組を進めるために必要なこと（全体）n=88

◎自由記載内容

【富山地域】

- ・若い人の参加を粘り強く働きかける。
- ・5. 活動の場となる施設の充実：公民館、避難場所などの確保は町内会単体では不可能。富山市からの全面的な援助が必要。6. 地域住民の意識啓発：町民が引き込まれる話術を身に着けた専門家による講演会。7. 若い世代の地域への参画：親子で参加可能で、親子が引き込まれる話術を身に着けた専門家による講演会。
- ・直接顔を合わせてコミュニケーションがとることのできる行事や多くの世代が参加できる行事などの企画運営。
- ・問 27 4：市リーダー教育を実施してもらいたい、7：40代、50代の他町内会、地区センターにて交流会。8；町内会にて開催する文化活動には助成金を出してもらいたい。9：核家族化にて親元から子供が独立して高齢化が進む。また、駐車場の増加にて住民の減少にて必要を感じています。13：町内に存在する企業には、町内活動に積極的に参

加してもらいたい。

- 世代交代が進まず、同じ人が会長、役員を続ける傾向がある。そのため若い人に積極的に町内活動に参加してもらって、その中で次世代のリーダー、役員となるべき人を模索している。町内の中で年齢的にいわゆる中間層といわれる人の中で若手育成部長を選出し、次世代の若者探しをやってもらっている。
- 若い世代の参画。町内会長職の成り手確保。
- 転入者の増加（特に若い人）
- 町内会活動が住民にとって、魅力に感じてもらえるようにしていく必要があると思う。また、高齢者や若者も楽しく参加してもらえるような工夫した活動が必要であると思う。（それには財源も必要となる）
- 若い世代の地域への参画については、なるべく行事に参加をお願いし、次回も参加を依頼する。また班長などの役職の時に参加をお願いしていくこと。
- 若い世代との交流がほとんどないため、もっと話し合いの場を持たなければと思っています。若い町内会長の時は皆で高齢者も参加し交流を深めたい。
- 若い人がまず参加して触れ合う。
- 役員を選出について、抽選や班による持ち回りも考える。宅地開発が進み、若い世代の方々への理解や町内活動の参加について、案内を強化することが必要と考える。大きな町内（軒数）となり、区割（東西南北）等考えている。
- 若い世代の町内行事への参加をすすめ、少しずつ経験していってもらおう。
- 町内会長としての責任や活動が大変である。上記に合わせ、仕事があるためなかなか若い人の活動に参加が難しい。
- 町内住民同士の交流
- 話し合う機会を増やすことが大事だと。しかしコロナの影響でそれが逆行してしまった。今後町内の集会を増やして行きたい。
- 対面の会議だけではなく、ラインや結ネットの電子アプリ等もフル活用して伝達情報の正確性・即時性・蓄積性の向上を目指し老若男女様々な住民の「幸せの最大公約数」を探すような地道な作業（やりぬく意思）が必要だと思う。
- 町内会の意味を伝える
- 声かけ
- 親世代から言って聞かせる。地道に頑張っている姿を見せる。
- ⑥地域住民の意識啓発について、活動に参加してもらおう事、役員の実験をしてもらうこと。
- なかなか難しい問題で、これに回答できるようであれば既に実施されているのではないのでしょうか。ただ、どれも自己犠牲を伴うものであると思われる。したがって、それでも何かを実施する精神・ところが持てる人材を育成するための、家庭内や学校での教育が重要になると思われる。また、すでに一部で行われ、時々話題にもなっていることですが、地域課題の発見、解決といった流れを持つ教育の実施・継続も、小・中・高・大の各学校において必要だと思われる。

- ・町内会に関心を持っていただくことが、第一だと思われます。諸行事を計画しても関心がなければ参加はありません。無関心な人は関係ない、どうでもよいこと、他人事のよように思われている気がいたします。無関心な方々には、まず一度参加して雰囲気を経験し興味を持っていただく事かと思えます。町内活動に一度参加していただくことが、最重要課題かと思えます。
- ・地域住民の意識啓発に尽きる
- ・日ごろから、町内会の人間関係を大事にし「おはよう、こんにちは、ご苦労様」など声掛けが大事だと思います。子供からお年寄りまで皆との声掛けが必要です。他の町内会の活動にも目を向け参考にする。
- ・自分が参加しなくても良いという考えを払拭させること。人それぞれの考え方があるので、1つのことですべての参加を望むのではなく、いろいろな行事を企画して参加を募り、自分の居場所、楽しさを感じてもらおう。何かあった時に、みんな一体になって協力できることが理想。
- ・住民、若い世代のコミュニティの必要性の理解。
- ・自治活動の必要性の認識を高める努力。コミュニティ情報の共有とデジタル化。
- ・若い世代に日ごろから町内会各種団体の活動に参加してもらい、地域の現状を認識してもらい必要があります。
- ・普段参加されていない方を、いかに呼び込めるかが課題であり、住民全員が魅力を持てる活動を充実させていく必要がある。
- ・このアンケートの内容を思うと、市（行政）が考える町内会活動と、自分たちが行っている町内会活動にギャップがあると思う。行政は町内会活動に何を期待しているのか理解せず、町内会長は受けているように思う。地区センター（公民館）を貸してもらえない（新年会、運動会、反省会等）内で、地域住民の交流の場をどこで用意できるのか、まずはその場所を提供することから始めてほしい。
- ・当番などで町内の役目を引き受けてくれた人が、任期を終えた後も経験を活かし、地域の一員としての意識を持ち続けてくれるよう、日常生活や行事での交流を続ける。
- ・各世代の交流、各世代間の交流、各位の意見の吸い上げ
- ・40～50代の現役世代と60代、70代のリタイヤ世代の交流の場を多くすること。⇒スポーツや趣味・文化サークル活動等に活動のための予算をしっかりとつけて、定期的な活動を行う。
- ・交流の場を多く作る。
- ・いろんな機会をとらえて、人間関係を深める。
- ・1：リーダーとなる人材の発掘、2：脇汗代の地域への導入、3：デジタル化。現在町内役員は各班順繰りで選出されております。理事については毎回くじ引き役員人事（役割）を決めているのが現状「やらされている」感が強い。会長、総務の両輪ぐらひは早い時期から将来の幹部候補生として自治振興会、町内会としてマネジメント力を持ったやる気のある人材育成を図るべき時にきている。地区自治振興会が中心になって、町内会長&総務担当者に対し、年初（4月中）半日 or 終日「求められるあるべき姿」デジタル化

を含む基本を学び、市職員から広報、市会だより等々、刊行物のポイントをレクチャーしていただき、「必要性、負担感」の払拭に繋がる研修カリキュラムの実施を提案したい。なお、デジタル化を推進し、現役でも可能な「仕事量、時間配分、会議 etc.」の配慮が必要です。

- ・ 1：繰越金が減少していて新しいことができない。区長一人を除いて全て 65 歳未満（働く世代）が担っていて、70 歳くらいの方がほしい。
- ・ 地域推進リーダーには時間に応じた報酬が必要だが、報酬を払ってまで進める段階まできていない。徐々にできる人、出来ることなら世代間交代に伴うスキル上昇を待ちながら進めていく。
- ・ 町内役員のなり手不足、年配の人も若い人も役員になろうと手を挙げられない。私自身も町内会長を受けたときに、町内の何人かの方に、なんで「ばばとり」の「ばば札」を挿んだといわれたのを思い出します。年配者で見ると、65～70 歳くらいまで仕事に出ている方が増え、役員を頼むと仕事だからと断られ、退職後は年だからと簡単に断られる。だからといって、老人クラブにも入ろうとされない。
- ・ 町内のリーダーを決め、若い役員を育てる。
- ・ ⑩レクリエーションを通じて、町内会の親睦を図る。その際に児童クラブとの連携が必要である。⑬町内を 3 ブロックに分けて町内会長を含めて主要な役員を持ち回りで選任しているが、その際に引継ぎがあまりいため、持続した運営ができていない場合が多い。
- ・ 地域の年齢構成は年々高齢化し、また一人暮らしの世帯が増加し、将来空き家世帯が増え、町内会の維持が難しい状況に陥る予想がされる。
- ・ 少子高齢化と、今後の IT の一層の推進を考えると、次の 3 点。少ない役員でも運営できるよう、①町内会組織のスリム化。②活動内容のスクラップ&ビルド。③市から依頼される委員の業務の見直し。（①、②は町内会でやるべきこと、③は市がやるべきこと。）  
※③の例、保健推進委員の制度の趣旨は理解できるが、制度発足時と同じ内容を同じように進めようとしている。なんの資格もない主婦が、突然訪問して、母子の様子を把握し、相談にのれるのか。個人情報重視し、犯罪者の自宅押しかけを心配する現状である。ボランティアとはいえ、責任が重すぎる。きちんとした資格を持った立場の方が、行政の立場でやるべきことであり、地域のおばさんが気軽に声をかける時代ではない。市役所本庁として、どう見直しを図っているのか、いないのかも伝わってこない。本庁担当者は、数年でポストが変わるので本腰を入れて改善を図ろうとしていないのではないか。地区センターを通じて町内に依頼すればメンバーが自動的に集まってくる時代ではないことを考慮して、委員の業務内容や取り組み内容を検討してほしい。選出に当たって町内は大変な苦勞をしていることを把握していただきたい。
- ・ デジタル化など、補助、支援も必要なのかもしれないが、活動の継続、安定化のための制度的支援に不可欠です。個人情報の保護は必要だが、活動の活発化、コミュニティの強化とは矛盾する側面があります。そのような部分は町内会としては対応できず、ぜひとも個人情報規約のモデル様式を提供していただける等、行政的サポートが必要です。また会員名簿をどうするのか、具体的指導も必要です。これらの制度は、体制的安定が

あつてはじめて次の世代の役員、リーダーも出やすくなるのです。持続可能な運営体制とは、そこから作られるのではないのでしょうか。

- ・活性化というより、持続できる体制が重要である。本町内は、高齢化と世帯減少が進んでおり、最低限の横のつながりを維持したい。
- ・意識改革。新しい運営方法。
- ・活性化は必要であるが、会員の高齢化が進み、新たな入居者がこの数年、全くないのが問題。市は今後、どのような計画を持っているのか、明確に示してほしい。
- ・人口減少対策
- ・若い人との同居者が少なくなっており、また独身者（高齢）が多くなっており、町内会の年齢が高齢化している。（減少）魅力⇒住みやすい、交通便利（通勤、買い物）などを考えていかなければいけない。
- ・町内の人口が増えれば、（今47戸で小学生は2人だけ）何事も明るくなる。少子高齢化が止まらないと無理。子供の高校生ままで育て、大学は県外、就職もほぼ県外で。給料が多少上がってもそれ以上に物価、税金等が上回り、収入減になっている現実では、結婚はできても子どもを産めない。富山県の人口を増やしてほしいと思っています。
- ・町内世帯の高齢化が進んでおり、若い世帯が町内に転入したくなるような生活環境を作ることが必要。
- ・人口減少により、町内会自体の活力低下が予想され、町内会の統合や再編。組織をコンパクトにして、多くの人に参加できる形にして、負担を減らした組織にする。2年間くらいの任期がないと新しいことができないので、最低2年の任期が必要。
- ・各町内会とも高齢化が進んでいるため、区域の統合や再編で活性化しなければならない。
- ・他町内会の特徴的な活動を、市広報などで発信してください。
- ・常日頃から自治会や体育協会等他団体の方々とのコミュニケーションを図る（世代間交流）。イベント等の後の懇親会等を通じても有益であると思われる。
- ・デジタル化が良いと思うが、どうしても高齢者には使用できる方が少なく、普及にはこれらの対策が必要。
- ・活性化するために何をすることが重要か、何をしなければならないのか。何をしたらよいかを見つけることがまず必要と思います。
- ・そこまで具体的に考えていない。
- ・相互扶助、公助、共助、自助
- ・30歳未満の住民が村外に出ていってしまうため、それらを生かして村に繋ぎとめられるか。

#### 【大沢野地域】

- ・人材の育成重要。しかし若手人材は日中仕事に出かけているため、重要なポストは頼みにくい。現在、当地域のことを考えれば、2～3集落を1つにすることも今後考えていかなければならない。
- ・若い時から町内会役員に携わってもらえるようにしていくことで、地域に関わる意識づ

けが必要ではないか。とにかく若者の流出を防ぐことが大切。実家に住み続けたくなる多方面の魅力的な環境整備が必要だと考えます。

- ・今の町内の活動を分かりやすく説明する。なぜ町内会の活動が必要か、日常の生活に負担にならないように考える。
- ・わからないので教えてください。
- ・町内会の高齢化が進んでおり、活性化とひとくくりに言われても実感が湧かない。町内会の実情に応じたプランがあればよいのだが、情報が少ない。高齢化世帯が増加していく中で、町内会の役員の担い手が少なく壮年世代（50～60代）の負担が大きくなり、仕事との兼合いで町内会業務に専念できないことも負担である。高齢化世帯率の高い町内会向けのモデルプランを、行政から提案していただけると助かります。
- ・行政の長期的な計画

#### 【大山地域】

- ・若い世代は子育てで町内会までタッチできないが、SNSなどをうまく利用できれば、時間の制約なく情報共有は少なくとも可能。
- ・町内会の高齢化が進む中、今後どのように町内会活動や役員選出を行うかについて、他町内会の情報や専門家のアドバイスがあれば良いと思う。

#### 【八尾地域】

- ・若い人が少なくなり、行事への参加者に年長者が多くなり、運営が難しくなってきました。若年世代が興味を持って参加できるような行事を考えていけばどうか。
- ・今後10～20年の間に世帯数は更に減ると思う。何とか今は町内会活動（清掃、草刈り等）を実施しているが、この先人が減ると負担が大きくなる。デジタル化できることは推進して簡素化できるようにして、町内会の統合や再編も考える必要があると思う。また外部からの協力してもらえる人や、団体も大事になってくると思う。
- ・現在の所、具体的な策がない状況です。コロナにより、地区の他町内会との交流もほぼなかったわけですが、今後はより情報交換の機会が増えていけばいいと考えています。
- ・高齢化と少子化が急速で、今となっては手だてが見つからない。なんとか今の状態を少しでも長く維持できればと、あきらめの感じである。
- ・行政からの補助
- ・今年度初めて「自治会だより」を発行してみたが、簡単には解決するとは思えない。

#### 【婦中地域】

- ・若い世代が少なくなりつつあり、若い人の参画が必要。そもそも若い世代を増やすことが必要。
- ・若い世代の方々との交流を活性化し、情報を共有したいと考える。
- ・町内会の活動が市広報の配布のみにならないよう、地域の課題に関心を持ってもらえよう、すべての世代の交流を深めることが大事だと思う。

- ・行政の負担を減じるための方向性を模索するのであれば、小学生時代からの、その必要性、課題等への啓蒙がいるのではないか。
- ・なぜ次世代の役員職、リーダーとなる人材が育たないのか。その原因の一つに現職と役員職の両立に時間的な余裕がないという問題点があります。自治会役員の活動は時間的な制約も多くあり、例えば自治会費集金、納金などに自治体活動団体は銀行のネットバンキングさえ申し込めないということに驚きました。現職の忙しい人たちに効率の悪い活動をお願いすることに無理が生じることは当たり前です。たまたま私達の自治会は銀行のご好意によりネットバンキング申し込みの確約が取れましたが、この問題は早急に解決されることを願います。しかし、現職を持ちながらの役員活動も偶然（必然？）で実現することもあります。新しく造成、宅地化された地域には（新規分譲マンションの町内会なども含め）開発者的精神で集まったかのような人たちの、自主的な地域の自治体活動が始まる例もありました。他に役員をやる人たちがいない、自分たちでやっているのが当たり前という主体性の表れと、反対意見や苦言が聞こえてこないこと、慣れないことや初めてのことだらけだと、人は寛大さが優先するのでしょうか。でも地域によってはそのような関わり方にならず、閉ざされた環境が蔓延しているかのようで、それは世代間のギャップによるコミュニケーションの在り方が大きく関わっていると考えられます。そこで思いつくことは、「まずは楽しいことから始まることで親睦が深まる町内会を目指したい」でしたが、楽しむことも世代によって人それぞれで、まとまらないのが現状でした。でも、少しのきっかけで、人の話す言葉にうなずき、ちょっとしたしぐさや気遣いで、お互いが少し近づいたような気持ちになれることもありました。そんな事の積み重ねが続くことで、否定的に話し合いが少なくなり、お互いの意見がいい形で出し合える新しい自治体に育っていけると思っています。
- ・若い人が参加しようにも、平日は仕事で身動きが取れない（私は40代ですが、有給をとって活動をしています。）年配の人は全て任せるのではなく、平日暇な分、その分働いてほしい。なんでも年のせいにはしないで。一人一人の負担を減らすため、役員を増やすことも必要。
- ・自治会戸数の調整が必要だと思う。
- ・人手がいっぱい必要。住民の高齢化により、町内会に加入していても、参加できないという方が多くて活動がうまくできない。かといって、若い世代がいるわけでもなく、町内に新しく入居するような人もいない。そうなってくると、外部からの人に頼らざるを得なくなってくるため、NPOなり他の活動団体などのつながりを仲介してくれるような支援が必要。

### 【山田地域】

- ・若い世代が中心となる体制作りを構築する。電子回覧板等を推進し導入する。
- ・ホームページやSNSなどを活用して、情報を分かりやすく発信する。
- ・①少子高齢化対策（若い世代が少＝子ども少＝高齢化）②地域市有施設のリニューアルと運営の活性化（地域流入人口の増による地区の活性化）③公共交通の見直し（中心市

街地への補助の見直し) (市中心部への流入人口増、市中心部から周辺部への流入人口増  
→②)

#### 【細入地域】

- ・高齢化が進み極小自治体にとって非常に運営体制の維持継続が困難な状況にあります。現在 50 人に満たない住民構成で一つの自治体を構成維持しておりますが、ほとんどが年金受給生活であり自治会費増等難しい現状があります。また新たな役員登用についても幾つもの役職兼務がついてくる状況です。私ども自治会含め近隣自治会も自主的な区域の統合や再編改革は各自治会内の住民同士のつながりが強く、統合や再編は難しいと思います。行政側からの統合や再編のご検討ご指導が必要かと考えます。
- ・高齢化や過疎化に伴う問題の対応をDXにより行っていきたいのだが、モデルとなる町内会や進め方を県や市と模索しながら進めていきたい。また、環境面の充実や美化を図るために予算の確保をお願いしたい。



問 29 町内会活動に、若い世代の参加を促すためには、何が必要だと思いますか。

- ・若い世代の参加を促すために必要なこととして、「「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計をみると、「町内会役員等への若手の積極的な登用」74.3%と最も多く、次いで「役員等の負担軽減」72.8%、「若い世代の関心が高いイベント等の開催」70.6%となっている。役員等の負担軽減や登用、イベント開催が必要との声が多い。
- ・また、「広報の充実」「デジタル技術の活用」でも半数以上が「「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しており、町内会のコミュニケーションや情報伝達に関する項目が高い。

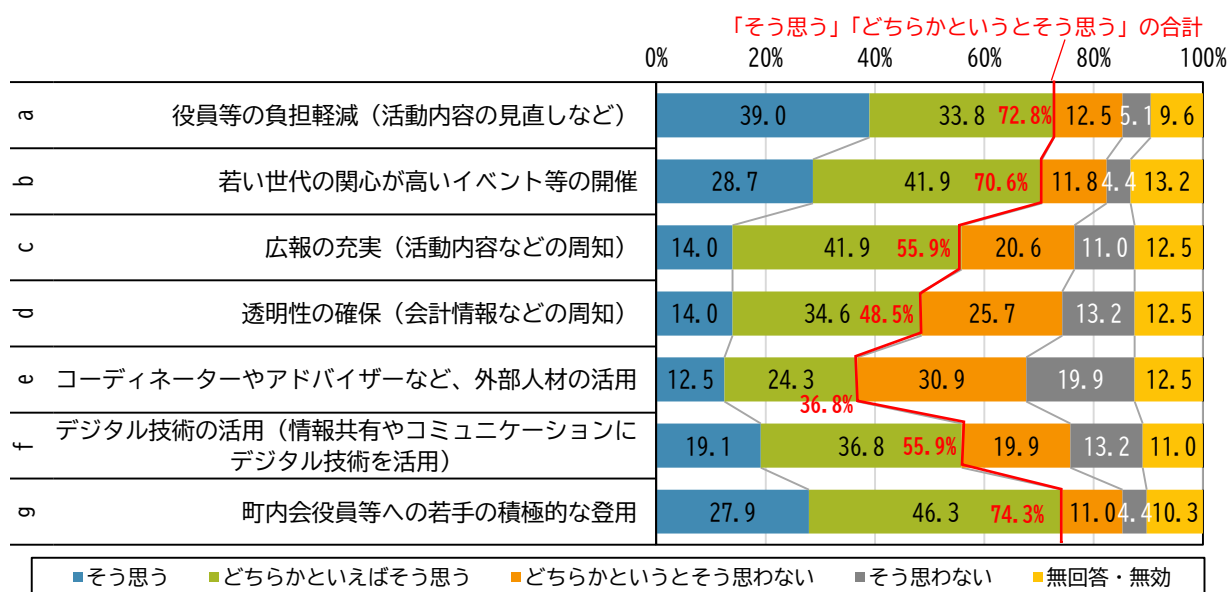


図 29-1 若い世代の参加に必要なもの（全体）

【その他内訳】

- ・役員手当（2）
- ・そもそも若い人がいない（1）
- ・市街化調整区域を撤廃。人口が増えるようにする。（1）
- ・仕事をしている（1）
- ・少年期からの啓蒙（1）
- ・楽しい活動（1）
- ・個人情報保護へのサポート（1）

- ・地域別に「そう思う、どちらかといえばそう思う」の回答合計について分析する。
- ・「a. 役員等の負担軽減（活動内容の見直しなど）」では、大沢野地域で 33.3%と全体に比べて 39.0 ポイント低い。
- ・「b. 若い世代の関心が高いイベント等の開催」は、八尾地域、婦中地域、細入地域で全体よりも 10 ポイント以上高い。
- ・「c. 広報の充実」では、婦中地域、細入地域で 10 ポイント以上高い。
- ・「d. 透明性の確保」では、大沢野地域、大山地区で全体に比べて 30 ポイント以上低い。
- ・「e. コーディネーターやアドバイザーなど、外部人材の活用」は、富山地域以外が全体に比べ、10～30 ポイント程度高い。
- ・「f. デジタル技術の活用」は、大沢野で 27.3%と全体に比べて 28.2 ポイント低く、婦中地域、山田地域、細入地域で全体に比べ高い。
- ・「g. 町内会役員等への若手の積極的な登用」では、富山地域、大沢野地域以外は、全体よりも低い傾向にある。

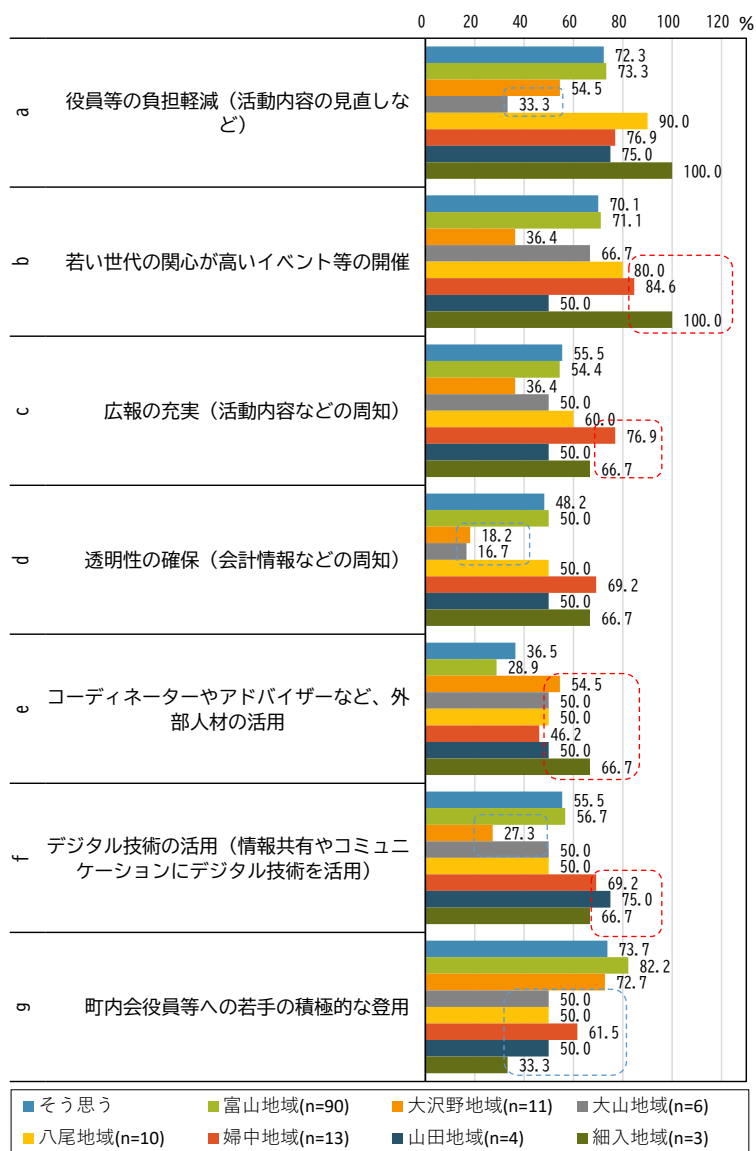


図 29-2 若い世代の参加に必要なもの（地域別）

問 30 町内会活動の課題やその解決に向けた取組、町内会運営の工夫など、自由にご記載ください。

- ・町内会活動の課題や解決にむけた取組（自由記載）については、75件（54.7%）の回答があった。
- ・最も記載が多かったのは、「担い手、役員等」（41.3%）であり、次いで「少子・高齢化問題」（21.3%）、「行事、交流（他組織含む）」（21.3%）である。

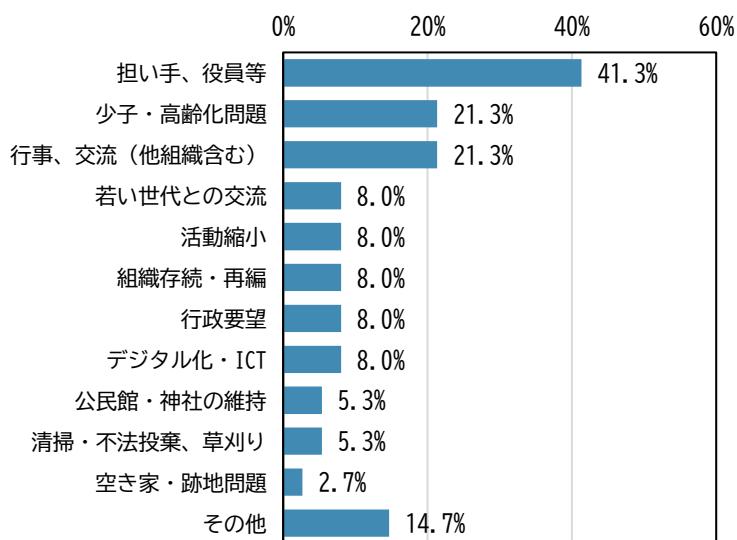


図 30 課題や解決に向けた取組（全体）n=75

◎自由記載

【富山地域】

- ・当町内会は、小学校校下にある17町内会のうちの1つで、それらの中では中規模の世帯数です。昭和50年代に造成された新興住宅地ですが、校下内からの移住者が大半ですが、あちこちの町内から移ってきているため親密度はさほど強くないので苦労しています。共同作業や行事の参加できずなが強まるよう、町内行事の案内は、全戸配布の案内書を独自で作成して周知しています。行事への参加率、役員のみならず手不足で苦労しています。単なる高齢化だけではなく、60歳を過ぎても就労する人がやたらと増えています。その人達が仕事を辞めるのを待っていると、70歳から75歳を超えてしまい、町内会の役をやらしてもらえない状態です。また、仕事の内容が、若い人も含めてですが、シフト制のために平日、土、日があまり休日として関係なくなり、時間帯も、夜間、日中の交替制につく人が増えていることが要因になっています。家庭収入を増やしたい。増加する支出をカバーしたいため、会社の就労環境の変化と思います。とりあえずの解決策を持ち合わせませんが、あしからず。
- ・町内会活動の課題は、高齢化と町内会メンバーの減少への対応である。今年度、4名の若手（50～60代）と交渉し、役員（執行部や各種委員）に参加してもらったが、若手以外の役員は、すでに10年を超えているし、若手も今後続けてもらうしか組織が成り立たない状態である。組織上、メンバー的にいっぱいいっぱいになっており、市などから新

しい役職の依頼がきても対応できない。実際、最近見守り隊のメンバーが病気で離脱したが、補充するメンバーはいない。解決へむけた取組、工夫としては、持続可能な町内活動のため、組織上必要最低限のメンバー構成にし、町内活動も負担にならないよう見直すしかない。

- ・高齢化が進み、役員になる人が少なくなっている。高齢化が進み、町内会の維持が難しくなっている。
- ・230戸程度の世帯のある農村、住宅地。H8.12に自営業開業。現在64歳。H9の町内会総会新年会に出席したところ、(当時38歳)、同世代は皆無。色々住民の意見を聞いて、2000年頃から地域の納涼祭を開催。当時の児童会の父親集団で、町内会に属さない形ではじめた。夏に納涼祭、冬に鍋(ふるまい鍋)を維持していた。一方、児童会は児童数が減るので、大イベント「みこし祭り」の神輿を新調して、お披露目をしたがコロナ禍でその後中止3年。結局現在メンバーでみこし祭りができなくなり、みこし祭り消失。70歳程度の方々が町内会を担ってほしいが、「私はしません」ということで、私が担うことになったが、引き継ぎの11月末から6月上旬までに196日間あったが、町内会関係は190の活動が必要になった。(注)元々ボランティアが好きで、PTA計7年、「地域を明るくする・・・」民間組織、防災関係等を行っているので、時間はないけれど別に苦痛ではない。
- ・アンケートを実施した。災害時の行動についての活動で評価しているのは、一人暮らし高齢者宅に火災報知器取付、防災マップ作成、公民館に防災用品の備蓄。町内会に力を入れて欲しい活動は、祭りや新年会、一人暮らしの高齢者対策。役員成り手不足に対し、どう見直していくべきかについては、SNSの活用をしていく。
- ・町内会の運営に関して、住民の皆さんに理解し参加していただくためにも、現在の町内行事、各種団体行事を継承しながら、住民同士のつながりを広げていきたい。行事を増やせば役員の負担が大きくなり、益々役員のなり手がなくなる可能性があり、大変難しいと感じる。
- ・昔から住んでおられる高齢者の方々と若者の考え方が違ってきており、特に行事等で集まって、お酒を飲もうと言う人は高齢者が大半で、特にこの3~4年、コロナ禍で行事実施も難しくなり、町内活動の実施に苦労している。また、現在60歳以下が役員のため今後の役員を引き受ける方がいなくなっている。
- ・3~4年間のコロナ禍のなか、町内会においても、人の集まる行事、会議等を中止せざるしかなく、現在に至っているが、その間何もせずとも町内会は回っているという現状が表れている。役員とすれば、その現状を非常に危惧している。今年5月から5類に移行し、各自治体、町内会においては、行事、会議を元に戻す体制を取り、行事等も再開しているが、ただ戻すのではなく、これを起点に今まで弱点であった、若者たちの参加、参加関心の低かった人たちの呼びかけ、新たな行事の発信等して、今まで以上の町内会に変えていきたいと思っている。
- ・現役世代の役員の登用および部制(事業の分担)をとっている。また昔の風習にとらわれることなく、若い人の意見を聞き、良いと思われるものを積極的に採用(今年度は環

境活動にスタンプラリーを実施)

- ・役員等の負担が年々大きくなっているように感じる。行政は、縦割りになっており、同じような組織が多く、重複している活動も多いと思う。現実には役員として活動できる時間的余裕があるのは、70歳以上であるが、体力、気力、能力に限界が見えている。若い人は能力があっても、生活がかかっており、時間がない。コロナ対策の影響から、やらなくても問題がないとか、縮小してもかわらないという気持ちがでてきて、これからは行事等において、参加は少なくなりそうである。
- ・町内の会員の高齢化が進んでおり、町内役員（交通安全、防犯）の引き受け手がなくなっている。町内活動も準備の簡素化や取りやめ等、人員をかけず行う方法に切り替えているがコロナにより活動停止期間が4年間あった影響が大きく思い切った活動がまだできない状況にある。市には町内の要望として1. ガードレールの改修（安全対策）2. 側溝の修理、除草をお願いしているがどのような対応になるのか連絡がなくどのような対応になるのか連絡が欲しい。
- ・(1)町内活動の課題として、まずは、土砂災害（特別）警戒区域の指定及び急傾斜地崩壊対策事業（擁壁工事）の進め方がある。当町内には山の麓に面した土地・家屋が多数あり、それらがこの施行により土砂災害（特別）警戒区域に指定されることが知らされている。この指定を受け入れると、ハザードマップに記載され、不動産売時に重要事項説明の義務を負い、不動産価値の低下は免れない。一方で、土砂災害から人命や家屋を守るための擁壁工事が急務であるが、そのためには土砂災害（特別）警戒区域の指定を受け入れることが条件として求められている。このようなことから、この問題の解決方法が長年議論されてきたが、解決には至っていない。現在は、区域指定される当該者の方々や、行政担当者の方々との話し合いを継続し、解決の糸口を求めている。(2)当町内の役員の大きな負担として、行政や様々な団体からの広報などの配布物を各世帯へ配ることが挙げられる。また、町内行事の伝達や参加者の把握なども負担となっている。そこで、富山市が推進しようとしている電子回覧板（結ネット）を今年度導入し、役員を中心とした試行を始めた。今のところ、連絡事項を一斉に伝達できることや、伝達内容の確認状況の把握、会議への出欠確認などで有用性を感じている。今後は、この試行を役員以外の住民の方々に広げていき、電子回覧板の本格的運用の可否に向けて問題点を探っていく予定である。
- ・1：町内会活動以外の会議、行事等の負担。町内会長及び役員は現在、仕事をもって活動しているため、活動できる時間の制限、土日ではできない活動制限されている中での行事について負担⇒役員のなり手不足、昔のようなボランティア意識が少ない（住民）。2：住民からの苦情の増加（どこへ言ってもいいかわからない）。3：団体数が多く、兼任の負担（・・・協議会等）。4：デジタル普及が困難。住民の年齢問題、機器の問題、操作。5：人材確保。
- ・現在、住民の高年齢化、住民の減少のため、町内会活動が十分にできない状態です。他の町内も同様と思いますが、特に当町内は住民世帯が少なく、役員も不足状態です。どう取組をしたらいいか教えてもらいたいです。

- ・町内の班体制や役員の選出方法についてルール化し、町内運営をスムーズに進めた。
- ・現役世代が町内会役員を務める場合は、待遇面上にて配慮をお願いしたい。まずは公務員から30歳代、40歳代の職員に役員就任を奨励する。役員手当、労働時間の配慮等。
- ・出来る人ができるときに出来ることをとお願いして、町内会活動の存続に努めています。
- ・設問にある役員や委員のなり手が不足ではなく、積極的もしくは依頼をしても参加、引き受けてくれる人がいないと言えます。町内会運営には町民の意識改革が必要だが、近い将来には輪番制導入も考えられる。
- ・町内会活動については、役員等の選出や民生委員等の選出に苦慮している。町内会運営については、多様な意見を聞きながら、執行部主導で運営に当たることを心がけたい。コロナ禍にあって、4年ぶり開催という事業が多々あるが、こまめな事前準備が必要であると感ずる。
- ・役員の手不足。町内会での協調性。
- ・町内会員の高齢化が進んでおり、役員の手不足している。町内会への若い世代の参加率が低い。取組みとして、納涼祭を開催し町内会員の交流の場を設け、町内会の活性化を図っている。予算が不足しているため、市などからの補助があれば良いと思います。
- ・町内会長の任期が1年という事もあり、大半の人は期間が過ぎればと思っている方が多いよう思える。解決に向けた取組になっていないのが現状です。
- ・各町内会とも高齢化が進んでいるため、区域の統合や再編で活性化しなければならない。
- ・町内会活動に積極的に参加する人がいない。役員の手が無く、輪番制で運用している。会社の退職年齢が70歳（努力義務）となり、退職後町内会活動に参加することが多く、高齢化が課題である。町内会役員になると、当町内会では年間30回以上の会合があり、現役時代に役員を引き受けることができないのが現状である。
- ・【町内会の現況】連合町内会費を徴収している世帯の内、集合住宅（＝単身世帯向け4戸）を除いた80世帯で、①後期高齢者（ご夫婦または単身、非婚の子同居）世帯が47世帯②前期高齢者（ご夫婦または単身）世帯が13世帯③前期・後期高齢者で子夫婦と同居している世帯（二世帯同居）が6世帯と、高齢者世帯が82.5%を占めている。（以上の状況は独自にヒアリングした内容から推定）このような世帯構成のため、問26にある各種委員の推薦の依頼については簡単に対応できない状況にある。加えて当町内会内の空家は12戸。その他に解体後駐車場になった空家は2戸あり、今後も増加（単身の後期高齢者が施設に入居し空家となる）することが容易に推測できる。また、当町内会には小規模な借家（推定2Kの平屋）で構成されている班（15世帯）があり、班の構成世帯は町内への帰属意識が薄い世帯が多く、班長を担う意思のある世帯が半数を割っている。
- ・【今後の対応について】当町内会は、限界集落ならぬ限界町内会として、町内会区域の統合や再編は避けて通れないと認識している。70歳までの企業の雇用義務により、町内活動の依頼時に「働いている」ことを理由とした断りが増加している。アンケートご担当においては、「行政が町内会に色々な業務を下請けさせる構造は変わらない」が、「行政が雇用延長の施策により町内会の担い手を減少させている現状」を強く認識して頂き、

今後の人口オーナス時代にそった「持続可能な町内会の在り方」を検討・実行して頂きたい。「町内会区域の統合や再編」について相談できるなら、可及的速やかに進めたいと思料する。以上

- 仕方のない事ではあるが、小学校、中学校が遠くなってしまふ。転入者は伸びそうにない。若い人は仕事第一、家庭第一で町内会運営には積極的ではなく、高齢者中心の現実是不変わらない。小・中学校の跡地がどうなるのか。それが、将来に大きく影響すると思われる。
- 高齢化に伴う、若年層の流出をいかにして止めるかという根本的な問題がすべてである。
- 見返りがなく人知れず地域のために奮闘していただいた方々が、高齢あるいはお亡くなりになっていく現状。人材がとにかく不足で、やっている者に次から次へと仕事が集中している。街の中のマンションも次々とできて、町内に加入し始めています。ここの連携を少しずつ持っていきたい。ただ個人情報保護のため、児童の有無さえ管理組合から教えてもらえず、お知らせプリントでしか住民運動会の参加など呼びかけできず、心もとない。今後少しずつ歩み寄り、協力的な方を見つけられたらと思います。隣の町内と納涼祭を企画し、賑やかに運営していたが、コロナ時代となり、ストップがかかってしまっている。復活には若い世代が運営に関わってほしいが、今のところ復活できない。あの規模をする踏ん張りも現メンバーにはなくなっている。ただ小規模な交流会ならどうだろうかと思っている。ちょっとした茶話会、外で既製の総菜での簡単な飲み会、ボーリング大会、パークゴルフ大会、現地集合解散のハイキングなど。準備に負担のかからない集いを年何回かできればと思う。
- 少子高齢化が一段と進み、町内（特にこの町内）に住んでいる人たちだけでは、なかなか町内活動が前に進められない。従って町内企業にも積極的に働きかけを行い、町内企業の若者にも各種イベント（観音堂祭り、年末夜警、年2回の側溝清掃、側溝への薬剤散布等）に参加してもらって町内全体のコミュニケーションの向上にも力を入れている。
- 町内会の住人の中に色々趣味、特技がある方、公民館でミニ文化祭をしてみてもは。以前当町内公民館で、写真、版画、編み物、パッチワーク等行いました。来場者に無料で抹茶のサービス。
- 前回、校下全体（自治振興会）での、サマーフェスティバルを8月に実施していたが、小学校創立記念に合わせて花火を打ち上げ、各町内会でそれぞれの模擬店を開き、また、青年団の獅子舞・保育所の子もたちの遊戯、小学生（1、2年生）による踊り、和太鼓などを行い、大変多くの住民が集まり、楽しく盛大に盛り上がり、成功裏に終了した。このように、若者も、高齢者も含め、みんなが楽しく参加できるイベントは必ず成功すると思う（そのためにはみんなで工夫が必要である）
- 近隣同士の話し合いや交流が少なくなっている。何とか機会を増やしたいが、方法はないですか。
- 「3世代が集う」心地よい空間の場を目指して！コミュニティとして本来活用されるべき「文化会館」今開かずの扉（従来はマージャン大会と獅子舞練習に使用されている。）をいつでもだれでも利用できるコミュニティの場「図書コーナー」を今年開設。コミック

マンガ、元気が出る本、推進小説（現代、時代劇）伝記本、ビジネス本、介護、小学館の図鑑等々、住民の方々から寄付 600 冊以上を誇る貴重な図書コーナーです。入館はいたってシンプル、暗証番号 3 桁併せ鍵を開け、名前を書きコーナーで読書や会話を楽しんでもらえる空間です。入館トレンドです。5 月 70 名、6 月 52 名、7 月 56 名、8 月 24 日現在 16 名（酷暑、クーラー設備なしの影響か）9 月に期待したい。なお、長寿会がボッチャサークル（第 2、第 4 木曜日 9:30~11:00 自由参加）開催して、ワイワイ会話もかしましく、笑顔が絶えません。床にボッチャや競技可能なラインがあり、いつでもだれでも自由に遊び（練習）ができる環境になっています。認知症対策として、引きこもり、孤独感からの脱出する 1 つの試みとして継続していきたいと思っています。今年 11 月 26 日（日）文化祭を 4 年ぶりに開催いたします。従来の作品展示コーナーに加え、「児童クラブ、成年会、長寿会、書道、囲碁、写真」など、趣味コーナーを設け、心地よい空間の場を目指します。あせらず、あわてず、目標 2024 年 4 月 1 日までに 100 名/月達成したい！

- ・各世代の交流、世代毎の行事の策定、世代間交流の促進
- ・分からない。2022 年 8 月 13 日夕方、大雨被害（道路冠水、床下浸水等）あり、記憶の新しいうちにと今年は大勢の方の参加型の防災行事を企画したところ、これまであまり参加されていなかった人も、多く参加してもらい、水路清掃や土嚢づくりに汗を流してもらいました。少しでも関心のある行事を企画し、多くの方々の参加を期待し、壁を取り除きたいと思います。
- ・町内行事に参加する人が、いつも同じ人が多い。住民運動会や、スポーツ祭の後の懇親会を必ず行うようにして、世代間の交流を行うようにしている。
- ・これまでの活動の継続に精いっぱい現状である。新たな取組は難しいと思う。参加者も毎年同一で、年々高齢化している。若者が参加できる行事も心がけているが、場所の確保に問題がある。行事の際、町内住民が助け合う体制が必要であるが、そのための日ごろの顔合わせの場が必要である。そのための行政側の場所の提供くらい考えてほしい。市—地域自治振興会—町内会、それぞれの役割認識が統一されていないと思う。（自分が知らない）。市の町内会に対する期待値と、実務を行う町内会長との間に、意識のギャップがあると思う。まずは、そこから始めなければ、アンケートも意味がないと思う。
- ・若い世代（勤労現役）が参加しやすいように、行事、活動を工夫しないといけない。単発参加でも愉しんでやれること。モノ・体験で発見が期待できる活動。運営側になる（ならざるを得ない）機会を作る。「輪番」（半強制）的なものをきっかけにする。町内での仲間/同士〜グループ、人間関係をつくる。町内会運営は分業化を進める必要がある。小参加の継続からつながりの発見から全体への見直しの拡張〜主体的な参加意識・意欲〜自己発見
- ・子どもが少なく、児童会の活動が難しくなっている（例：夏休みのラジオ体操ができない）。他の町内会と話し合い、いくつかの町内と一緒に行動する人が決まっている。日ごろから、もっと声掛けが必要。今まで単独で行ってきた活動を複数の町内会と行う。（例：研修旅行、新年会など）



- ・今後、高齢化が進み、ひとり暮らし世帯、空き家が増加し、世帯数・人口の減少が想定される。そのような中で、町内会活動は必要最低限のものだけが行われているようになると思う。老朽化している公民館、神社などの施設を維持していくことが難しくなる恐れもある。
- ・日本の社会に町内会の働きがどうしても必要だとしたら、無理なく存続できるよう、活動を縮小するのも良いのではないか。
- ・少子高齢化に伴い、町内単独の活動に限界を感じる。そのためには、地域合同または、校下単位の活動に変化せざるをえない気がする。また、活動内容も時代に合った形にする必要がある。
- ・今年度はそこまでやれません。
- ・デジタル化を進めるには、現 70 代は難しい人が多い（スマホが使えない。パソコンが使えない）、もう少し時間がかかる。行政のやるべきこと（川の清掃、高速道路清掃、カーブミラー修繕・新設等）と区分してきている人もおり、高齢福祉、安全等、行政と地域の役割分担を明確にし、（誰が分担をどういう理由で区分したか）住民に PR し、理解を得た上で、住民が地域に関わる活動をしていく必要がある。
- ・問題点：ゴミステーションの出し、道路の側溝の清掃（土あげ）高齢化、空き家対策等問題が多く、これを解決するには、住人一人一人の協力が必要であります。各種会合等を通じ、訴えていきます。
- ・ごみの不法投棄について、集合住宅が多く、また交通の要所に位置するため、インバウンドの方や遠方の地域の方の不法投棄が絶えない。⇒町内の集合住宅へのチラシの投函、ゴミステーションでの注意喚起の掲示、防災カメラ設置の検討。⇒不法投棄ゴミは町内会で処理
- ・現在、会員の高齢化、町内会自体の無関心化、魅力がない等、諸問題が町内会活動に重くのしかかってきています。役職の世代交代、若い世代からの奇抜なアイデアの提案等検討等していますが、思うようにはいきません。とりあえず持論ではありますが、「小さいことからコツコツと」「あなたの行動は誰かがみている」を信念に、活動を行っています。時間がかかっても、協力者が増えることを信じています。まずは興味を抱いていただく事、関心をもって頂く事が最重要課題です。対策として広報の発行回数の増刊、町内役員による一言声かけ運動等、まだ結果は見えませんがさらなる提案をしてみたいです。
- ・やる気
- ・町内会活性化というより、地域コミュニティの活性化を考えていきたい。
- ・風通りのよい運営に心がけ、たくさんの意見を反映するようにする。
- ・町内会の運営は、コロナ禍を経て、町内会行事の全面復活を目指して今取り組んでいる。2～3年行事をやらないと、そのノウハウが、次の年代に継承されにくくなっている。この機会を、青年部層の活性化につなげ、うまく刺激して行事の工夫、改善を青年部とともにやりつつある。（行事にかかる経費が、最近の物価高できついことも実感中です。）国は 70 歳まで働く整備を進めている現状から、役員のなり手不足になるのは当然なこ

と。国全体の動向を踏まえて、地域の活動組織や内容を考え直さないと、住民はついていけなくなる。地区センターの所長さん、自治振興会の事務局の方が町内会長等を大変良くフォローしてくださっている。感謝しています。市側のこうした体制や地区センター内の雰囲気づくりが、任期が1～2年の町内会長には大変ありがたい。現場の最前線でがんばっている方々へ、市当局としての支援等も検討していただけるとありがたい。

#### 【大沢野地域】

- ・どの町内会も同じ共通点を持っておられると思いますが、労働力不足（高齢化）の解消をどうすればよいか考えてください。休日をうまく運用していけばよいか悩んでいます。年代観の考え方を1つにまとめていくのは大変難しいと考えます。1つの行事をこなしていくのには、若手人材はどうしても必要です。30代、40代の力が必要なのですが、不足しているのが現状。当町内は協力的ですが、若い人材もしっかりしていますが、絶対数が不足しています。
- ・高齢化世帯率の高い町内会が抱える課題は特有のものがあり、解決するための取組に行き詰まりを感じています。一定の年齢層への負担が集中し、進んで役員になろうとするものはいない状況です。
- ・班長、会計の負担軽減のため、町内会費等の一括納付を推進した。
- ・限界集落化が確実に進展している中、集落の行事を行う場合、不足する人員は他集落等からの応援を求めている。
- ・世帯数が急増し、公民館が手狭になっているが、増築や建て替えに対して、会員の理解が困難。
- ・世帯数の割に町内が広いと、各班の繋がりできにくい。役員会を開き、町内での出来事、問題点など話し合い、共通の意識を持ってもらうようにしている。

#### 【大山地域】

- ・公民館の維持管理は、今はできているが将来のことを考えた場合、町内会ごとに本当に必要なかと思う。ケーブルテレビなど通信会社がもっと技術が進み、各家庭をつなぐICTの発展を望む（NTTや富士通など大手ではなく、小回りの利く技術であるべき）

#### 【八尾地域】

- ・町内の高齢化とともに、若年層が減少しており、町内会の運営は今後ますます厳しくなっていくことが予想されています。役員構成の見直しを今後取り組んでいく予定です。
- ・定年の延長により、役員就任をお願いしても仕事を断られることが多々ある。
- ・人口減少の時代、従来通りの活動は無理と考える。限界集落となっており、どのような形で地域を作っていくかを考える必要がある。
- ・公民館の老朽化、設備の更新、修理が年々多くなっている。住民の高齢化によりトイレの洋式化が必要。県道、指導以外の農道、町道の管理が大変。草刈り、側道清掃に人員が充てられない。保育所、小学校が無くなるため、若者の市中心部への流出が加速する

と思う。

- ・高齢化と少子化。空き家問題。誰もが移住したがる魅力ある街づくりの実現。
- ・若年世代が興味を持って参加できる行事、新しい活動を考える。自治会内の山を昔のようにしようと今年度から新たに里山をきれいにしようという会をつくりました。若い世代の方も入会して30名くらいで、年2回活動する予定です。活動後に全員で飲食をしながら楽しく色々な話をして若い世代を巻き込んで活動しています。
- ・行政の対応が遅い⇒災害対応安心して暮らせる山間地区を守ってほしい。
- ・ふるさと美化活動の時期について。7月に各地区が環境整備として除草等を行っているため、時期を早め7月中に変更願いたい。おわらのため、おもてなしの目的であれば、この時期が必要なかもしれませんが。

#### 【婦中地域】

- ・自治会長を輪番制にして、地域の取りまとめを行おうという考えは現実的とは言えず、自治会の運営にとっても決して望ましいとはいえないと思う。輪番に当たってしまった班は、当人にとっては、負担が大きすぎて、必要な運営を実施することは困難である。行政については、それらを加味されて各自治会へ指導されるべきと考えている。
- ・〇町内会活動の課題、具体的事例：不定期の回覧配布物対応が負担。班長の高齢化もあり、配布負担有り。ペーパーレス化進まず、コスト高（人的コスト含む）、空家の状況確認、市所有物件の管理、統廃合となった保育所跡地はどうなるのか（活用方法を早急に決めてもらいたい。かなり以前から統廃合は決まっていたはず）、今年の水害時、避難所開設を誰も知らない。ゴミ収集車の遅延を自治会長に知らせるだけ。住民に知らせるべきがない。〇解決策：デジタル（具体的には「結ネット」）を早急にすすめることが不可欠。デジタルにおいて誰も取り残さない（高齢者）ことも重要であるが、次世代が参画することの方が重要である。現在自治会が「結ネット」導入時、初期費用を補助することとなっている。まずは富山市が導入すべき。高岡市、滑川市を参考に、自治会任せにせず、上部組織からデジタル化を進めるべき。
- ・そもそも若い世代がいない。年々高齢化で世帯数も減っていく中で、活性化ができるとは思えない。現状の活動を何とか維持していくので手一杯な状況である。人が足りない以上、今後は外部の人の力を借りるしかなくなっていくか、そういったNPOなりボランティアなり、または民間企業などとのつながりを作るための仲介を手伝ってくれるような支援が必要ではないかと思います。また外部から人を手配する上でも補助金などの助成があると予算規模の小さい町内会としては非常に助かる。また、すでにそのような支援をしているのであれば、情報発信をより積極的に行ってほしい。
- ・「自治会加入、自治会費納入の強制力がないことの不思議」自治会への加入、脱退が個人の自由であることがどうしても納得がいかず、とても不自然で不平等に思います。それに起因して自治会費納入に強制力はなく、「個人的に気が進まないから」の理由で自治体へ加入せず、自治会費未納が普通に行われている。しかし、ごみ収集場所の清掃、近所の道路の補修、用水路の清掃、地域の安全補充など、地域住民として関わらなければならない事はたくさんあります。行政が行う修理や整備は税金で補われていますが、地域

町内のちょっとした整備や補修は住民の自治会費から補填されていることを、自治会未加入の人は気がついていないのでしょうか。自治会活動の必要性は、住んでいる地域住民同士なら大切なことと知っているのに、なぜ自治会加入や活動費納入に強制力がないのでしょうか。この事は、自治体活動に関わった人達はなら必ず不思議に思うことの一つではないでしょうか。

#### 【山田地域】

- ・課題としては、各行事の参加者の減少、地域の少子高齢化が挙げられる。対策としては、住民の家族構成やニーズを把握し、それに応じた行事の工夫や精選を行う。各種団体と連携し、デジタル化を進め、情報を分かりやすく発信する。
- ・中山間地域のため、若い世代が市街地に流出し、高齢者世帯が増加している。このため、市道や農道等の清掃、草刈り等の負担増が近い将来予想される。
- ・町内（地域内）の活動は十分活発である。世帯数もほぼ変化はないが、若い世代（世帯）が少子化により増えない現状である。したがって、地域が衰退し限界である。

#### 【細入地域】

- ・毎年の役員を選出においては、非常に苦勞しておりますが、過去の総代時代の責任等を考えると改革の結果、現自治会は精神的な面で比較すると楽な構成に成って居ると感じます。過去の総代の仕事と云えば、部落の行事一切、八幡宮における神事全てを取り仕切る役目でした。例えば総代が毎月開催する定期総会において集金する諸費用の水道料金・国民年金保険・国民健康保険・保育料等々の金額が家庭の事情で揃わない時など、わざわざ理由を付けて定期総会を欠席する家庭も実際有りました。この様な場合は総代が立て替えて行政へ納金をし、後日個人から集金をするという事もあり、ある程度金銭的に余裕のある家系でないとい総代役をお願い出来ないという制約がありました。また神事をとり行う場合は、まず総代が神主を自宅に招いての食事の接待をし、後に、神主が総代家において神職の装束に着替え、総代が八幡宮まで送迎して神事を行うと言う状況でした。この場合も若輩者は非常に緊張を強いられ、総代への成り手のいない状況がありました。この様な経緯を経て現在の自治会は、宮総代を3名置き神事毎に担当者を交代し、神主のお世話、会長宅での食事や送迎は、金銭での支払いに変更し、自治会長の負担を軽減しております。また自治会長になるための一年目は、副自治会長兼会計担当として地区の各行事の経費の把握や詳細な段取り等の勉強をし、更に年間の収支決算報告の作業を行って頂いて居ります。また自治会長は会計と情報を出来るだけ共有し、二年目の自治会長を担った時の負担を出来るだけ感じないようにしております。二年目の自治会長は、前年の自治会の運営状況を踏まえ、更に独自の考えを取り入れた方法で行事を実行しています。三年目は役員の理事として勤め、二年目の詳細な事柄のアドバイスや相談役として残ります。このように自治会長を前後から支え補佐する形のシステムを取っており精神的な負担の軽減に繋がっていると思います。自治会役員として通算三年間拘束されますが、極小自治会ゆえの二回目・三回目・四回目の役員が回ってきま

すが住民の協力の下、和気あいあいで仲良く運用をしております。

- 町内会役員等への若干の登用については、各町内会での運用マニュアルを整備し、行事、総代さん、人の対応を明確化することにより、役員が毎回考え、準備するのではなく、組織として毎年行い、負担を減らしながら各々の考えを取り入れて行けばよいのではないか。そのためにはDXを組織から各家庭に取り入れネットワークの構築が必要と思う。

## IV 町内会の課題

### 1. 地区別現況と課題

#### (1) 富山地域 (n=90)

##### ① 町内会の特徴

###### ●町内会長は無職が多く業務の負担は少ない。選出方法は様々である

- ・富山地域は、結成時期は昭和20年代以前や不明が多く、世帯数にばらつきがある。
- ・町内会長は、60～70歳代が中心で無職が4割を占める。会長の選出方法にはばらつきがあり、在職年数は「5～10年未満」を中心として複数年が多い。
- ・町内会長の業務については、町内会長としての責任、負担が大きいと感じているものの、他地域に比べると低く、他地域で回覧物等の負担感が高い一方で、富山地域は負担が少ない傾向がある。役員への報酬は、他地域と比較して「ない」の割合が高い。
- ・総会の参加率、町内会への加入は最も低い地域のひとつである。

##### ② 町内会の活動

###### ●各活動の実施、参加者ともに少ない

- ・環境美化活動を実施する町内会は多いものの、そのほかの防災活動、祭り等の維持・保存活動、住民交流活動は実施、参加者数ともに他地域に比べて低い。

##### ③ 活動課題

###### ●活動の慣例化と担い手不足が課題

- ・活動課題として半数以上が回答する項目が多い地域であり、複数の課題がある。
- ・大きな課題は2つあり、ひとつは高齢化による担い手不足である。
- ・もうひとつは、活動内容の慣例化から住民の参加や関心が低く、活動が特定の参加となり情報やPR、経験・指導者不足を感じている点である。町内会活動の実施そのもの、参加者数も低く世代間交流も課題となり対応が求められる。

表 活動課題と活性化等に関する回答項目上位（半数以上が回答した項目）

■活動課題			■取り組みたい活動			■活性化に必要なもの		
順位	項目	割合%	順位	項目	割合%	順位	項目	割合%
1位	担い手不足	87.8	1位	防災活動	78.9	1位	若い世代の地域への参画	77.8
1位	活動内容の慣例化	87.8	2位	環境美化活動	73.3	2位	地域のリーダーとなる人材	76.7
3位	特定の参加	86.7	3位	町内会交流活動	68.9	3位	地域住民の意識啓発	58.9
4位	役員の高齢化	84.4	4位	保健福祉活動	67.8			
5位	活動の参加者	80.0	5位	子ども見守り活動	66.7			
6位	住民の関心	63.3	6位	犯罪防止活動	64.4			
7位	活動の指導者なし	58.9	7位	除雪活動	63.3			
8位	活動経験の不足	57.8	8位	維持・保存活動	60.0			
9位	世代間交流	54.4	9位	交通安全推進活動	58.9			

## (2) 大沢野地域 (n=11)

### ① 町内会の特徴

#### ●会長の7割働いており、業務負担が大きい

- ・50世帯以下の小規模町内会を中心とする地域であり、結成時期が不明の町内会が多い。
- ・町内会長は、50歳代、70歳代が中心であるが、20歳代と若年層がみられる。半数が会社員であり、選出方法は輪番制や推薦が多い。
- ・町内会長の業務については、負担感が高い、高い報酬あるべき（班長手当なし）、あて職が負担など業務負担の大きさがうかがえる地域である。町内会費の現金の取り扱いにも負担がある。

### ② 町内会の活動

#### ●住民交流活動が少ない

- ・防災活動の実施が多いが参加者は少ない、祭り等の維持・保存活動や住民交流活動がない町内会が多いなど、町内会活動が少ない傾向にある。他地域との連携も少ない。

### ③ 活動課題

#### ●活動の慣例化と担い手不足が課題

- ・活動課題として半数以上が回答する項目が最も多い地域であり、複数の課題がある。
- ・大きな課題は2つあり、ひとつは高齢化による担い手不足である。「当町内は協力的で若い人材もしっかりしているが、絶対数が不足する」との声があり人口減少の問題も含んでいる。
- ・もうひとつは、活動内容の慣例化から住民の参加や関心が低く、活動が特定の参加となりおり情報やPR、経験・指導者不足を感じている点である。「実情に応じたプランがほしい」などの声がある。
- ・活動に必要なものは、次世代を担う若い世代への参画への要望が高い。必要なものとしてあがる項目が少なく「わからないので教えてほしい」「活性化のイメージが湧かない」「解決するための取組に行き詰まりを感じている」など課題解決の糸口が見つからない様子があり、個々の町内会の特性に応じた解決策が望まれている。

表 活動課題と活性化等に関する回答項目上位（半数以上が回答した項目）

順位	項目	割合%
1位	担い手不足	90.9
1位	活動内容の慣例化	90.9
3位	特定の参加	72.7
3位	活動の指導者なし	72.7
5位	役員の高齢化	63.6
5位	活動の参加者	63.6
7位	住民の関心	54.5
7位	活動経験の不足	54.5
7位	活動情報の不足	54.5
7位	活動PR不足	54.5
7位	他の地域との連携	54.5

順位	項目	割合%
1位	防災活動	81.8
2位	保健福祉活動	63.6
3位	子ども見守り活動	54.5
3位	犯罪防止活動	54.5
3位	環境美化活動	54.5
3位	町内会交流活動	54.5

順位	項目	割合%
1位	地域のリーダーとなる人材	81.8
2位	若い世代の地域への参画	45.5

### (3) 大山地域 (n=6)

#### ① 町内会の特徴

##### ●会長の8割働いており、業務負担が最も大きい

- ・結成時期が不明の町内会が多い。
- ・町内会規模はすべて100世帯以下、10班以下の構成である。
- ・町内会長は50～60歳代で8割が会社員等として働きながら町内会業務を行っている。町内会の他の職務との兼任も多い。町内会長の選出は、輪番制で1年交代がほとんどである。
- ・町内会長の業務については、町内会長をつとめることは名誉なことと思う一方で、市内で最も責任、負担が大きいと感じている地域である。負担を感じる具体的な業務は、地域要望のとりまとめ(市内トップ)、地域の苦情処理、募金活動、割り当てられるあて職である。

#### ② 町内会活動

##### ●参加者が市内でも最も少ない。祭り等の地域に根差した活動が少ない

- ・防災活動は、比較的实施が多く参加者も多い。
- ・懇親会は比較的实施されているものの、参加者が市内で最も少ない。
- ・祭り等の維持・保存活動は実施がない町内会が多く、懇親会等と同様に参加者が最も少ない。

#### ③ 活動課題

##### ●活動の慣例化と担い手不足が課題

- ・活動課題の回答項目が多い地域のひとつであり、複数の課題がある。
- ・大きな課題は2つあり、ひとつは活動内容の慣例化である。住民の参加や関心が低く、活動が特定の参加となっており情報やPR、経験・指導者不足を感じている点である。「町内会の情報や専門家のアドバイスがほしい」との声がある。
- ・もうひとつは高齢化による担い手不足である。次世代を担う若者の参画、意識啓発が求められている。「若い世代は子育てで忙しいが、SNSなどをうまく利用できれば、時間の制約なく情報共有可能」との声があり、若者を町内会活動に巻き込む手立てが求められている。

表 活動課題と活性化等に関する回答項目上位(半数以上が回答した項目)

■活動課題			■取り組みたい活動			■活性化に必要なもの		
順位	項目	割合%	順位	項目	割合%	順位	項目	割合%
1位	活動内容の慣例化	100.0	1位	犯罪防止活動	83.3	1位	若い世代の地域への参画	83.3
2位	担い手不足	66.7	1位	防災活動	83.3	2位	地域のリーダーとなる人材	50.0
2位	特定の参加	66.7	1位	環境美化活動	83.3	2位	地域住民の意識啓発	50.0
2位	活動の指導者なし	66.7	4位	保健福祉活動	66.7			
2位	活動情報の不足	66.7	4位	町内会交流活動	66.7			
6位	役員の高齢化	50.0	6位	除雪活動	50.0			
6位	住民の関心	50.0	6位	子ども見守り活動	50.0			
6位	活動の参加者	50.0	6位	他団体交流活動	50.0			
6位	活動経験の不足	50.0						
6位	活動PR不足	50.0						



## (4) 八尾地域 (n=10)

### ① 町内会の特徴

#### ●会長の8割が働いており、責任の重さや負担を感じている

- ・八尾地域は、町内会結成時期は昭和 20 年代以前との回答が最も多く、町内会の歴史が深い地域である。町内会規模は 100 世帯以下が 8 割であり、大規模な町内会が少ないことも特徴である。
- ・会長は 60 歳代が中心であり、会社員比率が 7 割を超える。町内会長の業務については、責任は重い、負担が大きすぎると感じる方が多く、具体的には地域苦情処理（市内トップ）や要望とりまとめ、祭り等の行事がある。業務負担を大きく感じているが、役員手当がない町内会も一定数みられている。

### ② 町内会活動

#### ●住民交流活動が、市内で最も少ない

- ・防災活動が比較的少ない地域であるが、参加率は高く住民の防災意識は高い。環境美化活動や総会の参加率も比較的高い。
- ・一方、300 年以上受け継ぐおわら風の盆を維持する地域であるが、活動参加者数は低い地域である。懇親会などの住民交流活動の実施は市内で最も少なく、また参加率も比較的低い。

### ③ 活動課題と活動の方向性

#### ●担い手不足、活動の慣例化等から町内交流活動が低下

- ・役員の高齢化が進み、担い手不足が深刻である。「若い人が少なく、年長者が多く運営が難しい」「対応が急務」「高齢化と少子化が急速」「手だてが見つからない」などの声があり、町内会活動の運営維持に苦慮している。活動内容の慣例化による住民の関心の低下がみられており、懇親会など町内会で楽しむ催しが少なく、町内交流活動の顕著な希薄化がみられ、対応が求められる。
- ・取り組みたい活動として、防災活動が最上位にあがっており、「安心して暮らせる山間地区を守ってほしい」などの声もみられ、若い人が関心の高い防災を切り口とした新たな活動などの可能性がある。

表 活動課題と活性化等に関する回答項目上位（半数以上が回答した項目）

#### ■活動課題

順位	項目	割合%
1位	活動内容の慣例化	90.0
2位	担い手不足	80.0
2位	役員の高齢化	80.0
4位	住民の関心	50.0

#### ■取り組みたい活動

順位	項目	割合%
1位	防災活動	90.0
2位	除雪活動	70.0
2位	交通安全推進活動	70.0
2位	環境美化活動	70.0
5位	維持・保存活動	60.0
6位	子ども見守り活動	50.0
6位	犯罪防止活動	50.0
6位	保健福祉活動	50.0

#### ■活性化に必要なもの

順位	項目	割合%
1位	地域のリーダーとなる人材	80.0
2位	若い世代の地域への参画	70.0
3位	デジタル化の推進	50.0

## (5) 婦中地域 (n=13)

### ① 町内会の特徴

#### ●会長の7割が働いており、やりがいがあるが責任が重く感じている

- ・町内会世帯数は、すべて100世帯以上が過半数を超えている。また、加入率が市内で最も低い。
- ・会長は60代を中心とするが40～50代の比較的若い世代もみられており、会社員など7割が働いている。町内会長の業務については、やりがいがあると思う一方で、責任は重い（市内トップ）、仕事の負担が大きすぎる、報酬があるべきとの意見が多く、また町内会長に割り当てられるあて職への負担、祭り・運動会等の行事への負担が大きい。
- ・町内会費の徴収は負担が大きく、加入率が最も低い地域である。

### ② 町内会活動

#### ●住民交流活動等の実施は多いが、参加者や連携する団体が少ない

- ・防災活動を行う町内会が最も少ない地域（3割）であるが、参加率は高く住民の意識は高い。
- ・祭り等の維持・保存活動や住民交流活動は実施が最も多い一方で、参加率は低い。
- ・子どもの見守り活動で連携団体が最も多い（6割）ものの、そのほかの活動では連携が少ない状況である。

### ③ 活動課題と活動の方向性

#### ●担い手不足への対応、次世代の若手参加のための活動強化、町内会規模への対応が課題

- ・婦中地域では、役員の高齢化による担い手不足、活動の定例化による活動参加者の減少や特定の方の参加や世代間交流の不足が課題である。
- ・活性化のためには、若い世代の活動の参加を促し、次世代のリーダーを育成、意識を啓発する町内会活動の強化が必要であり、自由記載には「まずは楽しいことから始まることで親睦が深まる町内会を目指したい」との意見があり、様々な世代で楽しめる活動への転換が求められる。また、規模の大きさが活動負担になるケースもあり、戸数調整や他団体との連携等、加入不足（財源不足）を含め検討が必要である。

表 活動課題と活性化等に関する回答項目上位（半数以上が回答した項目）

#### ■活動課題

順位	項目	割合%
1位	役員の高齢化	92.3
1位	活動内容の慣例化	92.3
3位	特定の参加	84.6
4位	担い手不足	69.2
5位	世代間交流	61.5
5位	活動の参加者	61.5
5位	他の地域との連携	61.5
8位	住民の関心	53.8

#### ■取り組みたい活動

順位	項目	割合%
1位	防災活動	92.3
2位	子ども見守り活動	76.9
2位	保健福祉活動	76.9
2位	維持・保存活動	76.9
2位	町内会交流活動	76.9
6位	環境美化活動	69.2
7位	行政要望等	61.5
8位	交通安全推進活動	53.8
8位	犯罪防止活動	53.8

#### ■活性化に必要なもの

順位	項目	割合%
1位	地域のリーダーとなる人材	84.6
2位	若い世代の地域への参画	69.2
3位	活動の財源の充実	53.8
3位	地域住民の意識啓発	53.8

## (6) 山田地域 (n=4)

### ① 町内会の特徴

#### ●町内会長は、行事運営などに業務負担があるが大きくはない

- ・回答した町内会4件の世帯数は、すべて50世帯以下と小規模であった。
- ・会長は40、50、70歳代であり、選出方法は輪番制（任期1年）である。
- ・町内会長を名誉に思っていない一方で、会長業務の負担は大きくはない。
- ・負担に思う業務は、市以外からの回覧・配布物、祭り・運動会等の行事、施設の管理である。
- ・町内会費は2万円以上で、徴収は集金以外の方法が多く比較的負担が少ない。
- ・総会参加率が高い地域のひとつである。

### ② 町内会活動

#### ●市内で最も活動が活発な地域のひとつであるが、行事参加や連携する団体が少ない

- ・防災活動や環境美化活動の実施率が高く、祭りや交流活動においても半数以上が参加しており、「町内の活動は十分活発」との声もある。祭りを誇りに思っている様子もうかがえる。
- ・交通安全推進活動で連携団体が多いものの、そのほかは連携団体が少ない。

### ③ 活動課題と活動の方向性

#### ●役員の高齢化が課題であり、若手を中心とした町内会づくりが必要

- ・高齢化による担い手不足が大きな課題である。「少子高齢化により若者が増えない」との声があるように、市中心部流出等も含め減少しつつある若い世代の参画や意識啓発が必要であり、慣例化している活動に対して「若い世代が中心となる体制作り」が求められている。
- ・活性化に必要なものとして「デジタル化の推進」も挙げられており、電子回覧板やSNS等の対策についても検討の余地がある。

表 活動課題と活性化等に関する回答項目上位（半数以上が回答した項目）

#### ■活動課題

順位	項目	割合%
1位	役員の高齢化	100.0
2位	活動内容の慣例化	75.0
3位	担い手不足	50.0
3位	他の地域との連携	50.0

#### ■取り組みたい活動

順位	項目	割合%
1位	子ども見守り活動	75.0
1位	犯罪防止活動	75.0
1位	防災活動	75.0
1位	環境美化活動	75.0
1位	保健福祉活動	75.0
1位	町内会交流活動	75.0
1位	行政要望等	75.0
8位	交通安全推進活動	50.0
8位	維持・保存活動	50.0
8位	文化芸術・スポーツ活動	50.0

#### ■活性化に必要なもの

順位	項目	割合%
1位	若い世代の地域への参画	100.0
2位	地域のリーダーとなる人材	75.0
3位	地域住民の意識啓発	50.0
3位	デジタル化の推進	50.0

## (7) 細入地域 (n=3)

### ① 町内会の特徴

#### ●町内会長は、市内で最もやりがいがあり業務負担が少ないと感じている

- ・回答した町内会3件は、結成時期や世帯規模に傾向はなくばらつきがみられた。
- ・会長は60、70歳代の自営業であり、任期は2年でルート型が多い。
- ・町内会長の業務については、市内で最もやりがいや名誉を感じている地域であり、負担が少ない業務が14項目中9であり、あまり負担を感じていない地域といえる。
- ・総会参加率はすべて5割以上と最も参加率が高い地域である。

### ② 町内会活動

#### ●市内で最も活動が活発な地域のひとつで、連携する団体も多い

- ・防災活動や環境美化活動、祭り等の維持・保存活動、住民交流活動の4つすべてにおいて活動が活発に実施されており、また市内で最も他団体との連携している地域である。
- ・防災活動や住民交流活動は、それほど参加は多くないものの、環境美化活動や祭り等の維持・保存活動の参加が多い状況である。

### ③ 活動課題と活動の方向性

#### ●過疎化が進む地域であり、若い世代の参画とともに活動財源への対応が求められる

- ・高齢化や過疎化が進む地域であり、特定の参加者による活動内容の慣例化、担い手不足、予算不足が課題である。
- ・他地域と同様に次世代を担う若い世代に対する取組が望まれている一方、活動財源や持続可能な運営体制が活性化に必要なものとして1位にあがっており、人口減少が進む地域での町内会の運営方法が問われている。

表 活動課題と活性化等に関する回答項目上位（半数以上が回答した項目）

■活動課題			■取り組みたい活動			■活性化に必要なもの		
順位	項目	割合%	順位	項目	割合%	順位	項目	割合%
1位	活動内容の慣例化	100.0	1位	除雪活動	100.0	1位	活動の財源の充実	100.0
2位	予算不足	66.7	1位	交通安全推進活動	100.0	1位	地域のリーダーとなる人材	100.0
2位	特定の参加	66.7	1位	子ども見守り活動	100.0	1位	持続可能な運営体制の構築	100.0
2位	担い手不足	66.7	1位	犯罪防止活動	100.0	4位	地域住民の意識啓発	66.7
			1位	防災活動	100.0	4位	若い世代の地域への参画	66.7
			1位	町内会交流活動	100.0			
			1位	他団体交流活動	100.0			
			8位	環境美化活動	66.7			
			8位	子育て活動	66.7			
			8位	保健福祉活動	66.7			
			8位	維持・保存活動	66.7			
			8位	文化芸術・スポーツ活動	66.7			
			8位	行政要望等	66.7			
			8位	行政計画策定への参加	66.7			

## (8) 富山市における課題の全体像

富山市町内会における主な課題は以下のとおりである。

### ① 高齢化による担い手不足の課題

- ・担い手不足は、市域全体の課題であり、特に高齢化は婦中地域、山田地域、役員のみ手不足は富山地域、大沢野地域で顕著に高い割合である。

### ② 活動内容の慣例化とそれに伴う課題

- ・活動内容の慣例化は、担い手不足に並び、市内全体の課題である。また、富山地域、大沢野地域、大山地域では、活動慣例化や運営に伴う課題として、指導者・経験・情報不足が課題としてあげられている。

### ③ 参加者に関する課題

- ・活動の慣例化に伴い、参加者の固定化等に関する課題があげられている。

### ④ 住民の関心不足、PR不足

- ・活動の参加者が少ない地域の一部で、住民の関心不足やPR不足の課題があげられている。

### ⑤ 他の地域との連携の課題

- ・高齢化による担い手不足の課題がある地域の一部で、連携が弱い地域がある。

表 地域別町内会活動を行っていく上での課題（半数以上が回答した項目割合%）

	全体	富山地域 (n=90)	大沢野地域 (n=11)	大山地域 (n=6)	八尾地域 (n=10)	婦中地域 (n=13)	山田地域 (n=4)	細入地域 (n=3)	
a. 役員のみ手不足している	83	88	91	67	80	69	50	67	① 高齢化による担い手不足
b. 役員が高齢化している	81	84	64	50	80	92	100		
c. 未加入世帯が多い									④ 住民の関心不足・PR不足
d. 住民の関心が少ない	58	63	55	50	50	54			
e. 新旧住民の交流が難しい									③ 参加者に関する課題
f. 世代間交流が難しい	50	54				62			
g. 活動の参加者が少ない	69	80	64	50		62			② 活動内容の慣例化とそれに伴う課題
h. 特定の人しか参加しない	79	87	73	67		85		67	
i. 活動内容が慣例化している	89	88	91	100	90	92	75	100	④ 住民の関心不足・PR不足
j. 活動の指導者がいない	55	59	73	67					
k. 活動経験が不足している	51	58	55	50					④ 住民の関心不足・PR不足
l. 活動のための情報が少ない			55	67					
m. 活動のPRが不足している			55	50					⑤ 他地域との連携の課題
n. 予算が不足している								67	
o. 活動や会議をする場所が少ない									
p. 他の地域との連携が弱い			55			62	50		




## 2. 課題解決のための事例調査

前項の各地域別の課題から、解決に向けた他都市の取組を整理する。以下に一覧を示す。

表 町内会 他都市事例一覧

活性化に必要なもの	事例
1 地域のリーダーとなる人材	1-1 青年部の設置と活動協力員（札幌市）
	1-2 若い世代からの役員経験（あま市）
	1-3 私の村の自慢マップを通じた人材発掘と育成（加東市）
2 若い世代の地域への参画	2-1 ちとせの輪（千歳市）
	2-2 敷居を低くちょっとしたことから（品川区）
	2-3 多様な世代が活躍できるまちづくり（広島市）
	2-4 子育て世帯が活躍できるまちづくり（広島市）
	2-5 まちづくり協議会による結婚サポート連絡会（東近江市）
3 地域住民の意識啓発	3-1 郷土愛を育む（いわき市）
	3-2 町文化祭と誌上発表会（横浜市）
4 持続可能な運営体制の構築	4-1 サポーター制度（札幌市）
	4-2 会長職を廃止しサークル型で業務分担（横浜市）
	4-3 役員のみならず手不足に対応した町内会の改革（宇治市）
	4-5 農業・生活文化・まち歩きなど体験交流からの繋がりづくり（村上市）
	4-6 関係人口を拡大するローカルコミュニケーション広報（泰阜村）
5 活動の財源の充実	5-1 バザーでお年寄り支援の資金づくり（いわき市）
6 新たな活動の創出	6-1 大規模町内会の三世代交流事業（土浦市）
	6-2 交流イベントをきっかけとした現役世代の担い手の確保（広島市）
7 町内会区域の統合や再編	7-1 町内会合併で増える人材・減る負担（仙台市）
8 デジタル化の推進	8-1 メールやLINE（ライン）の活用（郡山市）
	8-2 自治会費決済にスマートフォン決済サービスを導入（南城市）
	8-3 町内会費のオンライン徴収（鹿児島市）



1-1 青年部の設置と活動協力員（札幌市）	
町内会概要	北海道札幌市白石区共栄第3町内会 住環境の整備・地域の安全確保・住民の交流深化・子どもの見守りなどを主要テーマにして活動している。
取組概要	将来は町内会役員として活動してもらうことを前提とした「活動協力員」を募集。若い世代も参加しやすい組織になっている。
取組内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>★「仕事と家庭が第一」と割り切る ★将来は、会長及び役員の担い手として活動してもらう ★若い人の意見を尊重する（イベントを任せるなど） ★会議出席は代理でも可。子連れでの参加も可</p> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>参加しやすい組織づくりにより約30名が協力員に！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>初年度に、会場設営や調理等に積極的に参加し、これを機に、12月の「餅つき大会」「クリスマスお楽しみ会」にも協力いただいた。</p> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>■参加のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とにかく、現役世代の若手に参加してもらい知恵を貸してもらいたい！</li> <li>・若い人の考えや意見を取り入れて活性化を図りたい！</li> <li>・活動のできる範囲で参加してもらう。強制しない。</li> </ul> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div>

（仙台市 HP 資料 若い世代と取り組む町内会に向けて、白石区共栄第三町内会 Facebook）

1-2 若い世代からの役員経験（あま市）	
町内会概要	<p>愛知県あま市下萱津</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象エリア：大字 下萱津（人口 4,430 人）</li> <li>・構成員：下萱津地区に居住する住民</li> <li>・役員構成：域内の2つの区の区長がそれぞれ大字の区長、コミュニティの会長を務める仕組み（任期1年）</li> <li>・基本事業：盆踊り大会、親子・友人卓球大会、公園等清掃活動、映画会、コミュニティ防災センターの指定管理</li> </ul>
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員の効率的な世代交代</li> </ul> <p>役員を1年間の輪番制として若者世代にも早くから経験させている。役員経験者が新役員へ助言することが慣習化し、円滑な事業実施が可能</p>

（愛知県地域コミュニティ活性化方策調査報告書）

### 1-3 私の村の自慢マップを通じた人材発掘と育成（加東市）

**町内会概要** 兵庫県加東市上福田地区

**取組概要** 地域に残る史跡、武家屋敷、自然環境など村自慢を記載したマップづくりのスタッフを、住民の中から募り、交流を図るとともに併せて地域に愛着を持った人を発掘する。さらに、マップを活用した事業のための新たなスタッフを募集し、マップづくりスタッフとともに、住民自らが企画するワークショップを開催することにより、地域づくりの人材を発掘・養成する。

**取組内容**

- ・集落ごとにマップづくりに必要な情報を収集するスタッフを募集し、9名が集った。区長、自治会長の協力のもとに、資料の収集、検討会、研修会を通じて、地域資源の再発見による驚きや地域に対する愛着が生まれた。スタッフの熱意とパソコン作業に詳しい人材等も加わったことにより、手作りによるマップが12月に完成した。
- ・マップを活用した「ワクワク探検」に集まったスタッフ15名のほか、役員、マップづくりスタッフ等合計30数名によるワークショップを2回開催し、参加者自らが企画することによって、地域に対する関心や住民意識が高まり、効果的な人材発掘・養成が図られ、住民の企画力も高められた。



マップ編集研修会



ワクワク探検企画ワークショップ

(兵庫県地域コミュニティ活性化のための取組事例集)

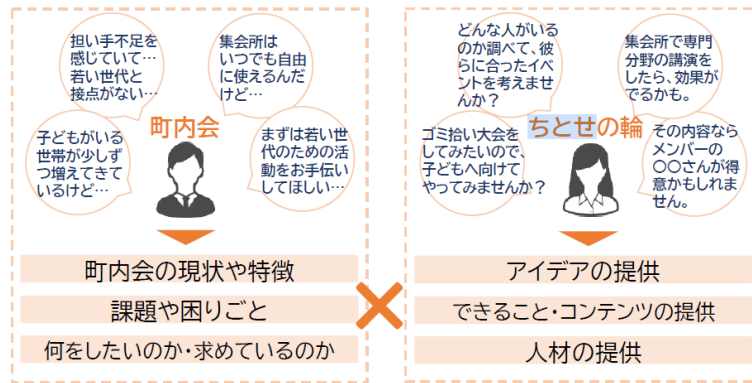


## 2-1 ちとせの輪（千歳市）

町内会概要 北海道千歳市 千歳市町内会連合会

取組概要 「ちとせの輪」は、若い世代同士のつながりをつくり、地域活動への若い世代の参加・参画の機会をつくっていくために発足したネットワーク・千歳市のまちづくりや地域活性化などに興味がある20～40代のメンバーが参加中である。それぞれの職業・趣味、特技などを活かして、できること、やりたいことをベースに地域と連携し、様々な活動や取り組みを行っている。

### 取組内容



#### ■ちとせの輪メンバー・高校生と企画するゴミ拾いビンゴ大会

地域に居住する環境問題に関心の高い「ちとせの輪」メンバーが企画し、清掃活動とビンゴを合わせ、コロナ禍でも子供たちが楽しく参加できる行事を実施した。地元高校生も連携し、環境保全の紙芝居を見せるなど、環境を学びながら、町内会活動に楽しく参加できる機会となった。



環境問題を学ぶ紙芝居を  
発表する高校




ゴミ拾いを楽しむ参加



段ボールで簡易に作ったビンゴ  
台紙（ゴミとして落ちていそうなものを描いてもらう）


（仙台市 HP 資料 若い世代と取り組む町内会に向けて）

## 2-2 敷居を低くちょっとしたことから（品川区）

町内会概要	<p>東京都品川区旗の台南町会</p> <p>約 1,270 世帯、東急大井町線「旗の台」最寄り駅</p> <p>町会、稲荷神社、商店街、白寿会（老人会）が協力して、様々なイベントや活動を実施している。特に町会には役員が約 100 名在籍しており、地域の人々がそれぞれできる範囲で役割を担いながらアイデアを出し合い、活発な地域活動を展開する原動力となっている。</p>
取組概要	<p>町会を中心に、子どもたちを対象としたたくさんのイベントを行っている。イベントでは子どもたちと一緒に来る親御さんたちに、町会活動に参加するきっかけとなるような、簡単なお手伝いなどをお願いしている。</p>
取組内容	<p><b>■経緯</b></p> <p>地子育て世代の新規住民が増えている地域のため、子どもたちを対象としたイベント（流しそうめん大会、子ども手話クイズなど）を企画して、親御さんたちが町会活動に参加するきっかけを作っています。</p> <p><b>■効果</b></p> <p>子どもを経由しながら町会活動に携わり、役員になってくれる人が出てきて、好循環を生み出しています。100 名近くいる役員の数も減ることなく、町会員の加入者数も増加を続けています。</p> <p><b>■呼びかけ方法</b></p> <p>町会の役員や商店街等の団体を通して、町会に住んでいる子どもにできるだけ情報が届くよう、丁寧に働きかけています。また、親御さんたちには企画や準備段階から関わってもらうのは負担が大きいため、当日の簡単なお手伝いなど、町会活動への参加の敷居を低くお願いしています。</p> <p><b>■活動のポイント</b></p> <p>イベントなどの運営は役員だけでは行わず、参加する子どもたちの親たちに簡単なお手伝いなどをお願いするなど、敷居を低く、多くの人達が関わることができるように活動の中に町会との「接点づくり」をしています。</p> 

（品川区町会自治会活動好事例集 R4.3）

### 2-3 多様な世代が活躍できるまちづくり（広島市）

<p><b>町内会概要</b></p>	<p>広島市内町内会</p> <p>少子高齢化や人口減少社会の中でも、将来にわたって暮らしやすく、多様な世代が共感できる地域をつくるため、世代間の交流が必要と考えている。地域の中学校では、生徒たちが将来のまちを考え、課題解決に向けた行動力を養う学習を進めている。</p>
<p><b>取組概要</b></p>	<p>中学生が中心となって、利用者が減少している街区公園でイベントを企画・実施し、子どもだけでなく大人、高齢者も楽しめる遊び場をつくるアイデアをまとめた。公民館で活動する住民グループや地域団体の大人が中学生の思いに共感し、アイデア実現のサポートを行った。イベントでは、中学生は、保護者や親子連れがくつろげるよう、飲み物やおやつを提供するカフェを運営したり、小学生などの遊び相手になる。シニア世代は、手芸や紙芝居を披露したり、皿回しなどの遊びや工作の指導者となり活躍している。</p>
<p><b>取組内容</b></p>	<p><b>■これまでの成果</b></p> <p>地年4回開催されるこのイベントは、参加者が毎回300人を超えるなど地域に浸透し、高校生になったOB・OGも手伝うなど、多世代参加の地域づくりが進んでいる。中学生が地域団体の主催行事を手伝うなど、イベント以外でも連携が広がっている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>イベントの打合せの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>イベントの様子</p> </div> </div>

(広島市 HP 資料 地域コミュニティにおける活動事例)

## 2-4 子育て世代が活躍できるまちづくり（広島市）

町内会概要	<p>広島市内町内会</p> <p>ある地域では、無理なく町内会を運営するため、既に町内会で活躍されている高齢の方に加え、活動の担い手を子育て世代まで拡大したいと考えている。</p>
取組概要	<p>子育て世代に、町内会イベントは楽しいという体験をしてもらうため、記念品贈呈やゲームなど楽しみ満載の新1年生を祝う会や、手軽な飲み会・育児相談を含む子育て女子会を開催するなど、活動仲間の拡大を図っている。</p> <p>子どものためならがんばれるという親の目線から、子どもが喜ぶ企画（夏祭りにダンスを導入、クリスマス会の開催など）に注力するとともに、下校の早い木曜日午後や夏休みに、民生委員児童委員と連携し、集会所を開放するなど、子育て世代を助ける企画にも取り組んでいる。</p>
取組内容	<p><b>■これまでの成果</b></p> <p>子育て世代の活動仲間が増えたことで、地域猫活動や多世代交流ものづくり楽校の開催といった新しい取組が生まれています。まちの活性化によって、若い子育て世代の居住者も増加しています。</p> <div data-bbox="454 880 1233 1223" style="text-align: center;"> </div>

（広島市 HP 資料 地域コミュニティにおける活動事例）

## 2-5 まちづくり協議会による結婚サポート連絡会（東近江市）

**町内会概要** 東近江市結婚サポート連絡会（14のまちづくり協議会で構成）  
※自治会連合会単位で「まちづくり協議会」を結成

**取組概要** 平成29年3月に、市内において、非営利で結婚支援に取り組む団体が参加する東近江市結婚サポート連絡会を設立し、独身男女の出会いをサポートしている。

**取組内容**



東近江市結婚サポート連絡会の活動（2023.2）  
YouTube 東近江市公式 YouTube チャンネル

**■主な支援・サービス内容**

- (1) 異性の登録シートの閲覧
- (2) 異性との対面  
(マッチング、結婚サポート連絡会の担当者が同席)
- (3) 市内の婚活イベント情報の案内
- (4) 結婚に関する相談など

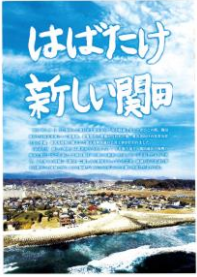


**■「婚活応援セミナー」の開催（蒲生地区まちづくり協議会）**  
平成22年11月に、婚活応援セミナーVOL.1「お節おじさんおばさんの勉強会」を開催。その後、独身の男女とその両親を対象に、お節おじさんおばさんによる「婚活応援セミナー」を開催。地域の課題解決を通して、団塊世代の男女の仲間づくりや生きがいがいづくりの場となっている。

（宇治市地域コミュニティ、町内会・自治会の先進事例調査、東近江市 HP 及び公式 YouTube チャンネル）



### 3-1 郷土愛を育む（いわき市）




町内会概要	いわき市神田連合自治会、関田総合自主防災会	
取組概要	<p>「関田地区を愛してほしい」と、冊子「はばたけ新しい関田」を発行した。関田の海や街並みをとらえた迫力ある空撮や児童の郷土愛をつづった作文が編集され、住民に地区の魅力を伝えている。</p> <p>完成した冊子は、1,600部印刷し学区内全戸に配布した。</p>	
取組内容	<p>■お金をかけない工夫 なるべくお金はかけないようにと考える会長は、地区内で土木工事に当たる業者に、地域貢献活動として印刷に係る経費を協力してもらい、表紙に使用した迫力ある地区の空撮は人脈を駆使して市内の工業校に協力を依頼し、ドローンでの撮影を実現した。</p> <p>■掲載した作文 作文については、地元の小学校に依頼し、生徒たちに関田地区への思いや夢をつづってもらった。</p>	 <p>児童の郷土愛がつづられた冊子</p>

(いわき市はつらつ自治会・町内会活動事例集 H31.3)


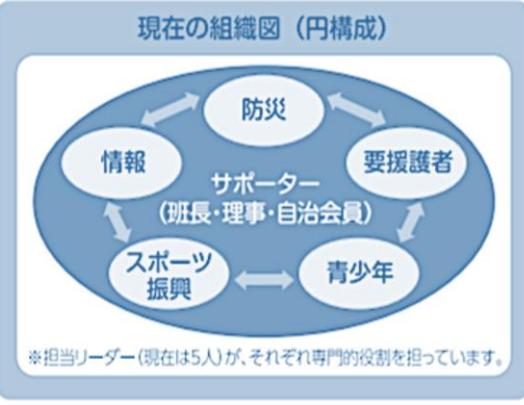
### 3-2 町文化祭と誌上发表会（横浜市）

町内会概要	<p>横浜市戸塚地区 柏尾町内会</p> <p>柏尾町内会は柏尾川の流域にあり、東海道に面した沿道に居住する約 1,000 世帯の住民で構成される町内会で、昭和 14 年に 1 町 7 か村が横浜市に編入された際に結成された、戸塚区の中でも最も古い町内会の一つである。</p>	
取組概要	<p>スポーツ系の行事はたくさんあるが、文化面での活動に少し足りないものがあると感じ「体を動かすのはあまり得意でないが隠れた技や趣味を持っている人」を対象とした「文化祭」を企画した。</p> <p>コロナ禍のため紙面での開催に切り替え「紙面発表会」を実施した。</p>	
取組内容	<p>■コロナ禍の工夫 文化祭の実施した反響は大きく、作品の展示会だけでなく、参加した方へのおもてなしとしての喫茶室や和菓子も好評で、新しい方たちとの連携も生まれることになった。ところがコロナの感染が拡大した第 5 回文化祭では対面の開催が難しく一時は中止も考えましたが、一旦中止すると再立ち上げが難しいとの判断で「紙面での開催」に切り替え、を実施する事になった。</p> <p>■まとめ 「誌上发表会」出来上がった冊子を全戸に配布した反響は大きく、また担当した実行委員自身にも大きな自信となった。</p> <p>6 回の「文化祭」の開催を通して、この催しが地域に定着してきたことが実感できるようになり、また新たな連携が生まれたことも大きな成果だと考えている。</p>	 <p>誌上发表会冊子</p>  <p>文化祭の様子</p>

(横浜市自治会町内会活動事例集 R5.3)

<b>4-1 サポーター制度（札幌市）</b>	
町内会概要	札幌市中央区旭山町内会
取組概要	役員が固定化し、新たな役員やサポートしてくれる人材を発掘するために、町内会活動のお手伝いを行う、住民による「活動サポーター制度」を立ち上げた。その際、アンケートにて「サポーターとして手伝いが可能である」と回答した住民に向けて、サポーター候補者との顔合わせ会や次年度以降に仕組みがスムーズに動くよう検討などを行った。
取組内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">サポーター募集チラシ</p> 

(函館市 HP 資料 これからの町会の活動のヒント)

<b>4-2 会長職を廃止しサークル型で業務分担（横浜市）</b>	
町内会概要	神奈川県横浜市港北区網島西広町自治会
取組概要	一度会長職に就くと業務負担が多く、後任が見つからないことから、自治会組織を見直し会長職を無くし業務分担
取組内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">組織の変更イメージ</p> <p>■ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務を縦割りではなく、サークル型に変更</li> <li>・みんなで少しずつ責任を負い、困りごと相談し合う</li> </ul>

(函館市 HP 資料 これからの町会の活動のヒント)

### 4-3 役員のなり手不足に対応した町内会の改革（宇治市）

町内会概要	<p>宇治市緑ヶ原自治町内会</p> <p>緑ヶ原自治町内会は、近鉄大久保駅の西側に位置し、約 430 世帯で構成される自治組織で「高齢化」「役員のなり手不足」に直面されながらも、問題解決に向けた町内会の改革に取り組んでいる。</p>
取組概要	<p>高齢化や役務負担感から、執行部員の選任には苦慮しており、町内会活動を維持するために役員の確保が必要だと考え、役員の負担軽減に取り組んだ。</p>
取組内容	<p>■成果</p> <p>令和元年度の大きな決断として「恒例行事のカット」や「会議回数の削減と会議時間の短縮」などの思い切った役務削減を講じるとともに、組長に就任する周期を均等化するため「組編成の見直し」を行いました。「役員の負担軽減」や「組編成の見直し」を行った結果、役員の負担は大幅に削減され、仕事の有無や年齢に関わりなく、また体調が万全でなくてもほとんど負担感なく、多くの人が務められるものとなった。積極的な改革に取り組む、緑ヶ原自治町内会では、「高齢化社会は高齢者自身が支えていくものだ」と強く感じる」というような意見も聞こえている。</p> <div data-bbox="999 636 1390 869" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1129 875 1259 898">文化祭の様子</p>

（令和 5 年度宇治市町内会・自治会の手引き）



#### 4-5 農業・生活文化・まち歩きなど体験交流からの繋がりづくり（村上市）

<p><b>町内会概要</b></p>	<p>新潟県村上市（自治振興課及び各支所自治振興室）</p> <p><b>連携協力団体：各地域まちづくり協議会</b></p> <p>山北地区まちづくり協議会</p> <p>神林地区まちづくり協議会連絡会議（神納、神納東、平林、砂山、西神納地域）</p> <p>上海府地区町づくり推進委員会</p> <p>特定非営利法人 都岐沙羅パートナーズセンター</p> <p>村上地域グリーンツーリズム協議会</p> <p>公益社団法人 中越防災安全推進機構</p> <p>中継ふるさとづくり推進委員会</p> <p>神林地域活性化協議会</p> <p>道の駅神林「穂波の里」とれたて野菜市かみはやし株式会社</p>
<p><b>取組概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村上市では各地域住民の皆さんが、それぞれの地域の特色を活かした地域づくりに励んでいる。</li> <li>・ルーツがある等ゆかりのある方や、各地域の自然や生活文化に触れてみたいという方へ、体験交流する機会を提供している。</li> <li>・村上市のことをより知っていただき、そして地域と人との繋がりから、応援して下さる方々を増やしていく取組を進めている。</li> </ul>
<p><b>取組内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■受入れ体制づくり             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 市内全地域住民組織等を対象に、関係人口の概念や関係人口による地域づくりを学ぶ研修会を開催する。</li> <li>(2) 関係人口の組織化を図る「むらかみファン倶楽部」を立上げ、定期的に各地域でのイベント、ボランティア募集等の情報を発信していく。</li> </ol> </li> <li>■「百姓やってみ隊」（外部人材の発掘の実施：山北地域で受入れ）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「さんぼく暮らし半農半X（エックス）」をコンセプトに、農業体験の他、伝統文化、人や風土・自然に触れる体験交流型の活動を、毎月1回（2日間）実施する。</li> <li>・併せて、地域行事への参画・運営協力もお願いし、地域との関わりが深まる機会を提供する。</li> </ul> </li> <li>■インターンの受入れ（山北地域、神林地域で受入れ）             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 山北地域の中継集落で大学生3人を夏休み期間の1か月受入れ、集落の伝統行事「風神祭」に向け、準備から開催まで集落の皆さんと一緒に行動する。</li> <li>(2) 神林地域の道の駅「とれたて野菜市」に出荷している生産者（地元のお母さん方）と、農作業手伝いや郷土料理づくり等を体験して交流を深めていく。</li> </ol> </li> <li>■まち歩きとフォトブック作成（上海府地域で受入れ）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内の大月集落で地元の皆さんと共にインスタントカメラを片手にまち歩きを実施、集落の風景をフォトブックに共同作業でまとめ、地域の魅力を再発見する。</li> </ul> </li> <li>■関係人口の取組を通じた地域づくりの促進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・神林、山北地域では、継続できる関係人口受入れの仕組みづくりや地域活性化等を、ワークショップやシンポジウム開催を通して考えていく。</li> </ul> </li> </ul>



（総務省関係人口ポータルサイト）

#### 4-6 関係人口を拡大するローカルコミュニケーション広報（泰阜村）

**主体概要** 泰阜村役場（村づくり振興室）  
協力団体：NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター

**取組概要** 泰阜村では「関係人口」の創出・拡大のため、村人会会員や、山村留学「いだらぼっち」（NPO 法人グリーンウッド自然体験教育センター主催）の卒業生と保護者、緑のふるさと協力隊（NPO 法人地球環境緑化センター主催）のOBOG、ふるさと思いやり基金（ふるさと納税）の寄付者等村外に住みながらも泰阜村に関心を寄せていただく方々を、「関係人口」集団「泰阜 COHOs（コーホーズ）」という仕組みを作り、村の情報発信や地域活動のお手伝いをお願いしている。

**取組内容** 「COHOs」は「the Community Of Home village Organizers」の略で、日本語では「ふるさと世話人会」を意味するとともに、村の“広報”活動や、村の“後方”支援といった意味合いを持ち、泰阜村の強力な応援団になる。「泰阜 COHOs」は村から送られる情報をもとに、さらに自分の言葉で発信したり、実際に村内において地域活動を実践してもらう。



泰阜村の応援団になる「泰阜 COHOs」イメージ

**離れていてもお互いの「今」がわかるLINE**

泰阜村には、村外に住みつつ村に関わりたいたいと思っている人たちがいます。具体的には村の出身者やいだらぼっちの関係者、元協力隊など。村ではこうした方々を「泰阜COHOs」（裏面参照）としてつながりを持っています。このたび、そんな方々と泰阜村をつなぐ「オープンチャット」を開設しました。

**オープンチャットの特長**

- 誰でも参加OK!**  
LINEのアカウントさえあれば誰でも無料で参加できます。
- 情報をすぐに交換**  
人手が必要な行事やイベントの情報から村の天気までいつでも情報交換ができます。
- 匿名でもできます**  
匿名でも参加でき、個人LINEへの個別連絡はできないのでプライバシーが守られます。

**参加はこちらから**  
<http://bit.ly/3LM7qFP>

**村民の皆様へ**  
地域の人手が減って困っていませんか？みなさんにとって大変な作業でも、実は一緒にやりたい人がいます。地域の困りごとや行事の情報をぜひ気軽にオープンチャットから教えてください。

**村に関わりたいたい皆様へ**  
泰阜村に来たいのにきっかけがなくて困っていませんか？ふだんは気軽にLINEから、オープンチャットで情報を集めて来村のきっかけにしてください。おもてなしはできませんが、一緒に汗をかきましょう。

村民と村外者を繋ぐ泰阜村 LINE オープンチャット

(泰阜村 HP)

5-1 バザーでお年寄り支援の資金づくり（いわき市）	
町内会概要	いわき市 多摩川町西区会
取組概要	独自に活動資金をつくり、お年寄りを支援する「お助け隊」活動を展開している。「お助け隊」は、住民有志のサポーターがゴミ出し、見守り、買い物代行、庭木の手入れなどをして生活を支援している。秋の文化祭でバザーを開いて資金作りにも取り組んでいる。
取組内容	<p>活動資金となるバザーの売上は、消耗の激しい草刈りの機材や油代に充てている。バザーを通して住民のいらなくなった品々をリサイクルできる上、そこで得た収入は音城地支援の資金確保にもつながり一石二鳥となっている。</p> <p>活動資金は市社会福祉協議会から一部補助を受けている。</p>



資金づくりにもつながる文化祭のバザー

（いわき市はつらつ自治会・町内会活動事例集 H31.3）

6-1 大規模町内会の三世代交流事業（土浦市）	
町内会概要	土浦市小松 1・2・3 丁目町内会
取組概要	公民館を拠点にし、小松公民館まつりや餅つき大会などを通して、三世代交流や小松公民館の有効利用を図り、地域福祉や青少年の健全育成を推進する。
取組内容	<p><b>①小松公民館まつり</b> 毎日のように利用されている小松公民館を有効利用し、町内全体の老若男女の三世代交流を目的に、小松公民館まつりを開催し、毎年 250 名以上の参加がある。</p> <p><b>②餅つき大会</b> 毎年 12 月の第 2 日曜日に、三世代交流を目的に公民館及び千鳥ヶ池公園広場を活用し、200 名の参加により餅つき大会を実施。</p> <p><b>③一人暮らしの高齢者へのクリスマスプレゼント</b> 安否の確認と、新年を明るく迎えてもらうため、毎年 12 月 23 日に 70 歳以上の高齢者と重度の障害者の方へ、クリスマスケーキと子どもたちと育成会の母親が、手作りのクリスマスカードを配布。</p> <p><b>④町内の清掃</b> 千鳥ヶ池公園・小松公民館など町内全体清掃を実施。</p> <p><b>■活動の成果</b></p> <p>①公民館まつりを通して、住民や各種団体との横のつながりがよくなり、住民同士の交流も以前にも増して盛んになった。</p> <p>②公民館へ集まる高齢者が増えており、子どもと母親も公民館まつりに向けた活動などを通して、三世代交流がうまく行われている。市内で 3 番目の大規模町内会にもかかわらず、高齢者と次世代の交流により、まとまりのある町内会に発展している。</p> <p>③一人暮らしの高齢者の安否確認ができるようになり、大規模町内会にもかかわらず、顔が見える住みやすい安心安全のまちとなっている。</p> <p>④公民館を利用している住民が進んで町内の清掃活動に参加し、防犯パトロールの役割も果たしている。</p>



公民館を会場とした三世代交流の様子

（土浦市わがまち活性化推進事業活動事例集）

## 6-2 交流イベントをきっかけとした現役世代の担い手の確保（広島市）

町内会概要	<p>広島市内町内会 現役世代の担い手の確保が課題となっている。</p>
取組概要	<p>毎年1回、地域の全団体が協力して、地域の伝統、文化、行事などを披露し、遊びの中で子どもたちに伝承するイベントを開催している。子どもが参加すれば親世代も参加する、遊びを通して子どもと高齢者のつながりが生まれる、といった思いから、ふれあいをメインテーマとしている。</p> <p>町内会、地区社協、PTA、子ども会、女性会、老人クラブ、体育協会、商店街などで実行委員会を立ち上げ、各種団体等の特性を生かしたアイデアを出し合い、イベントを企画している。</p>
取組内容	<p><b>■成果</b></p> <p>地域を挙げて実施するこのイベントは30年近く続いており、地域内の多世代の住民が交流できる機会となっている。イベントの実施メンバーが固定化しないよう、後継者の確保・育成を意識していますが、まずは行事の参加者に積極的に声をかけ、顔見知りになることから始めている。また、イベントの準備を手伝ってくれる人には、買出しなど簡単なことから依頼している。イベントの準備を手伝ってくれた人がその友人にも声を掛けてくれるなど、地域活動の担い手の輪が徐々に広がっている。</p> <div data-bbox="472 920 1174 1144" data-label="Image"> </div>

(広島市 HP 資料 地域コミュニティにおける活動事例)



## 7-1 町内会合併で増える人材・減る負担（仙台市）

町内会概要	<p>中山東第二町内会</p> <p>平成 24 年 4 月に中山東第二町内会（336 世帯）と川平スカイタウン町内会（35 世帯）が合併</p>
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合併は会員の減少や役員の高齢化に悩んでいた川平スカイタウン町内会が中山東第二町内会に合併を依頼し、約半年間にわたる協議を重ねた。川平スカイタウン町内会からの合併依頼を受けた中山東第二町内会は役員会で合併受け入れを承認し、合併に向けた両町内会での調整が始まった。</li> <li>・ 合同の役員会は 3 回開催され、役員会での協議内容や課題はチラシなどで全会員に情報提供された。</li> <li>・ どんな内容も決定前に情報提供することを基本とし、会員の意見を取り込みながら一つずつ決めていくことで決定事項に対する苦情は一切無かった。また、中山東第二町内会では当時の総務部が「合併後のイメージ」を作成し、会員に説明。この説明の効果もあり平成 24 年 3 月の臨時総会で合併が承認された。</li> </ul>
取組内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>賑やかになった夏祭り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>会員減少や高齢化で負担が大きかった公園清掃も、合併により参加者が増加</p> </div> </div> <p>■合併後の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨時総会后、合併合意書が取り交わされ、新しい中山東第二町内会が誕生。合併により旧川平スカイタウン町内会の皆さんにとって新たな楽しみができた。町内会単独での夏祭りや敬老のお祝い会などのイベントが増え、地域での交流機会が多くなった。また、合併前は 10 名ほどしかいなかった公園清掃の参加者が増え、会員の負担が減り、楽しく参加できるようになった。</li> <li>・ 一方の旧中山東第二町内会にとっては町内会運営を担う人材が増え、適材適所に役員を配置できるようになった。回覧板の軒数増加や子ども会の変更など、旧川平スカイタウン町内会にとっても様々な変化はあったが、前もっての情報提供や役員の気配りもあって大きな混乱はなかった。「旧川平スカイタウン町内会にとって合併は万々歳でした！」岡元さんの笑顔が合併の成功を物語っていた。</li> </ul>

（仙台市町内会・運営事例集 H28.3）

## 8-1 メールやLINE（ライン）の活用（郡山市）

町内会概要	区 域：横塚五丁目、六丁目の一部（R4.1.1 現在） 世帯数：320 世帯 班 数：22 班 役員数：8 名
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員間の連絡・情報共有について、LINE や電子メールを活用して実施している。</li> <li>・ 各班の会員の増減の連絡や町内会に関する情報の共有などを行っているほか、軽微な事項についてはLINE 上で協議するなどの活用を行っている。</li> <li>・ 区域内で発見した道路や防犯灯の異常などについて、LINE を使って情報共有し、市へ相談状況や「コナビこおりやま」への投稿状況などについても情報共有を図っている。</li> </ul>
取組内容	<p>■メールや LINE 導入のメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同時に複数の方へ連絡することができるため、迅速な情報共有を図ることができる。</li> <li>・ 配信した内容や返信のあった内容が記録として残る。</li> <li>・ 文字だけでなく写真の送信も行うことができる。</li> <li>・ LINE の場合、チャット機能のように同じグループ内であれば、他の参加者の発言内容を確認できる。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-right: 10px;">                  町内会活動に LINE を活用するようになって、情報共有が早く、濃くなったように感じます。             </div> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> <p>新型コロナウイルスの感染拡大のため、明日の会議は書面表決へ変更したいのですが、よろしいでしょうか</p> <p>いいと思います</p> <p>賛成です</p> <p>賛成</p> <p>賛成します</p> <p>賛成多数のため、明日の会議は書面表決へと変更します。ご協力ありがとうございました。</p> </div> <div style="margin-left: 20px; text-align: center;"> <p>LINE を活用した協議の様子（イメージ）</p> <p>（郡山市町内会における ICT 活用事例集 R4.3）</p> </div>

## 8-2 自治会費決済にスマートフォン決済サービスを導入（南城市）

町内会概要	沖縄県南城市の津波古自治会 ※市内で最も人口が多い地域
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沖縄県南城市の津波古自治会では 2019 年 4 月から、全国で初めて自治会費の決済にスマートフォン決済サービス「ペイペイ」と「LINE ペイ」を導入した。</li> </ul>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治会だより等に掲載した二次元コードをスマートフォンで読み込み、金額を入力すれば自宅にいながら自治会費を支払うことができる。区民に配布される自治会だよりに、ペイペイ等の QR コードを掲載する予定。</li> </ul> <p>■T ポイントサービスの導入（7 月～）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2019 年 7 月からは、こちらも全国で初めて T ポイントサービスを導入し、自宅などで T カードを使って自治会費を支払うと、T ポイントが 200 円につき 1 ポイント貯まり、貯まったポイントは提携先で利用できる。</li> </ul>

（郡山市町内会における ICT 活用事例集 R4.3）

### 8-3 町内会費のオンライン徴収（鹿児島市）

**町内会概要**  
 実施団体：鹿児島市内 A 町内会  
 会員数：78 世帯  
 問合せ窓口：地域づくり推進課

**取組概要**

- ・現在、町内会費の支払いは戸別訪問による集金が一般的で、訪問や不在者への対応等が町内会の役員にとって大きな負担となっている。
- ・令和 4 年度、鹿児島市と協定を結んでいる GMO ペパボ株式会社から提案を受け、下記のとおり、町内会費のオンライン徴収について実証実験を行った。
- ・実施方法：会費の集金を案内する際、クレジットカード払いができる Web サービス「GMO レンシュ」とインターネットバンキングによる振込を同時に会員に案内した。
- ・費用負担：0 円。Web サービス「GMO レンシュ」は有償サービスだが、実証実験中は GMO ペパボ株式会社が同サービスを無償で提供。インターネットバンキングの振込手数料は会員負担とした。

注）説明会等は実施せず、会員には回覧板（案内文書）で周知

**取組内容**

町内会費集金について（案内）

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
 さて、令和 3 年度及び 4 年度の町内会活動につきましては、先般、皆さまの賛同をいただき、原案どおり承認いただきましたことをご報告申し上げます。  
 つきましては、会費の集金のため、下記の日時で各家庭を訪問いたしますが、本年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、試験的に Web サービスによる会費納入とインターネットバンキングによる会費納入について案内させていただきます。  
 なお、当日、予定があり不在とされる場合は、ぜひ、Web サービス又はインターネットバンキングによる会費納入をご検討いただきますようお願いいたします。

1 訪問日時  
 ○月○日（○）午前○時～○時

2 会費  
 ○, ○○○円（年額）

3 納入方法  
 (1) 役員訪問  
 (2) Web サービス（クレジットカードのみ）  
 ①右の二次元コードをスマートフォンで読み取る  
 ②会員登録画面に切り替わるので必要な情報を入力し登録を完了する  
 ③登録が完了すると会費納入画面に自動的に切り替わるので、クレジットカード情報入力し、確認 ※以上のながれで納入終了（詳しくは添付資料をご参照ください）  
 (3) インターネットバンキング  
 【振込口座に関する情報】  
 ○○銀行○○支店 普通預金  
 口座番号：■■■■■■■■■■ 口座名義：◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆  
 【振込にあたってのお願い】  
 振込依頼人名の氏名のあとに丁目を除く番地をご入力ください。  
 (例) ヤマダタロウ 2-1  
 ※振込先と同じ○○銀行の場合、手数料は発生しません。

会計：○○ ○○  
 住所：○○町○丁目○○ ☎XXX-XXXX

実証実験結果：会費の支払い方法  
 会員の 5 割がオンラインで支払い

支払い方法	割合
訪問による集金	50%
振込	30%
クレジットカード	20%

（鹿児島市 HP）





## 【参考資料】



# 1. クロス集計（町内会長の業務への考え及び負担）

## （1）町内会長の業務への考え（問3）

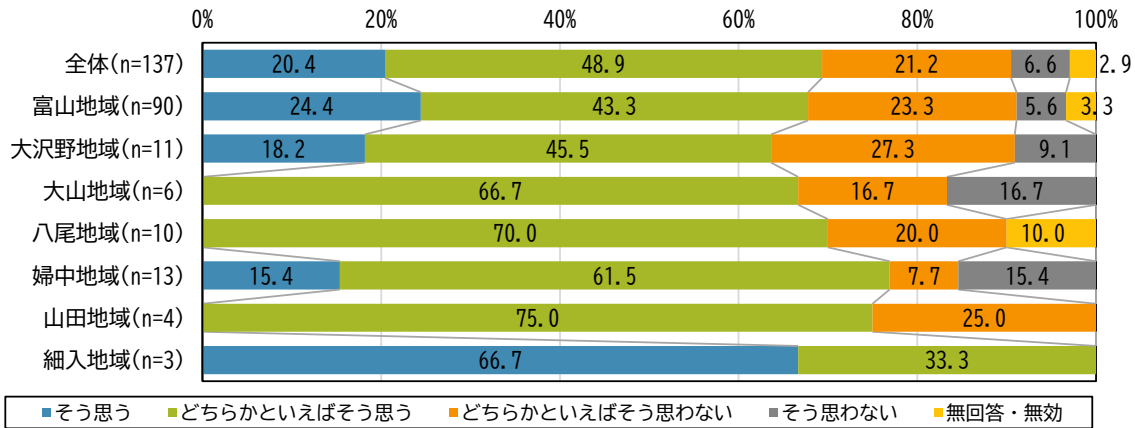


図 a. 地域の人々に頼りにされ、やりがいがある仕事である（地域別）

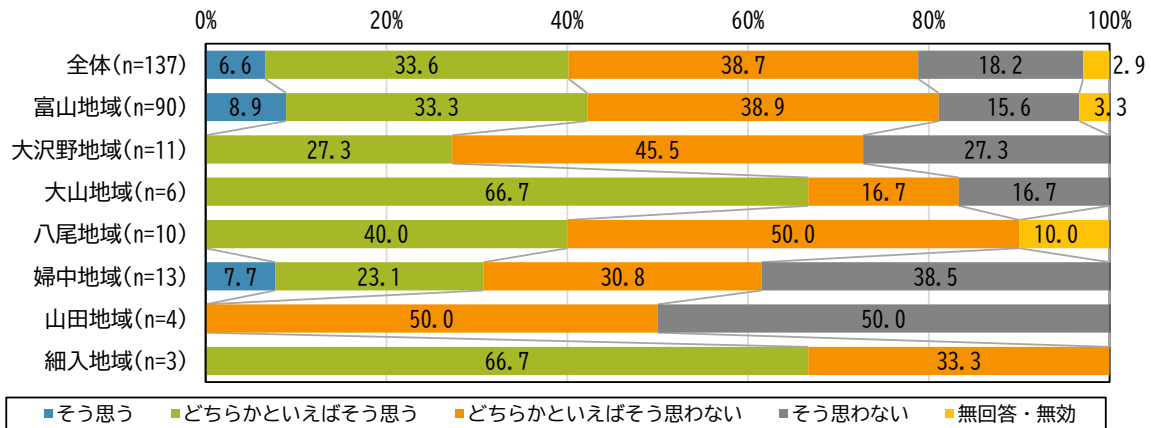


図 b. 町内会長をつとめることは名誉なことだ（地域別）

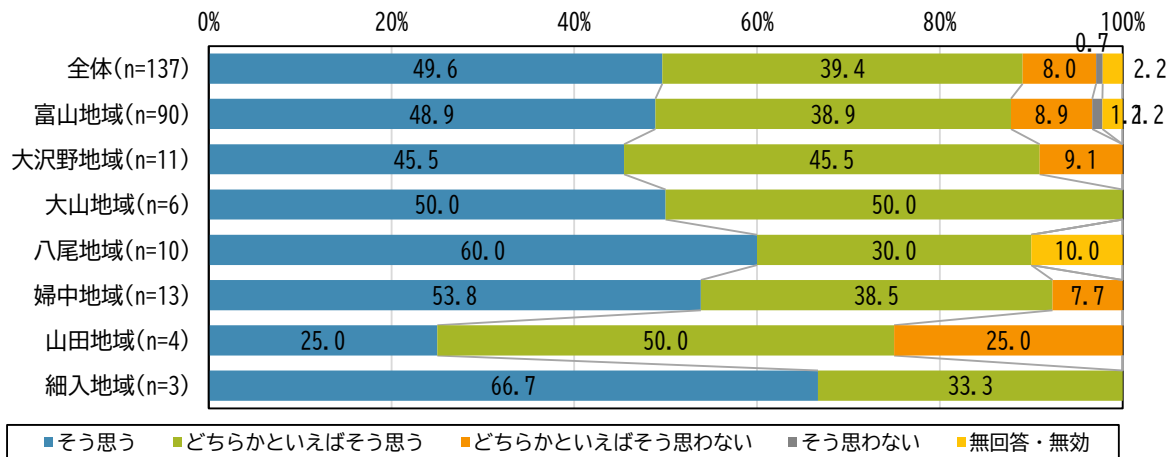


図 c. 町内会長としての責任は重い（地域別）

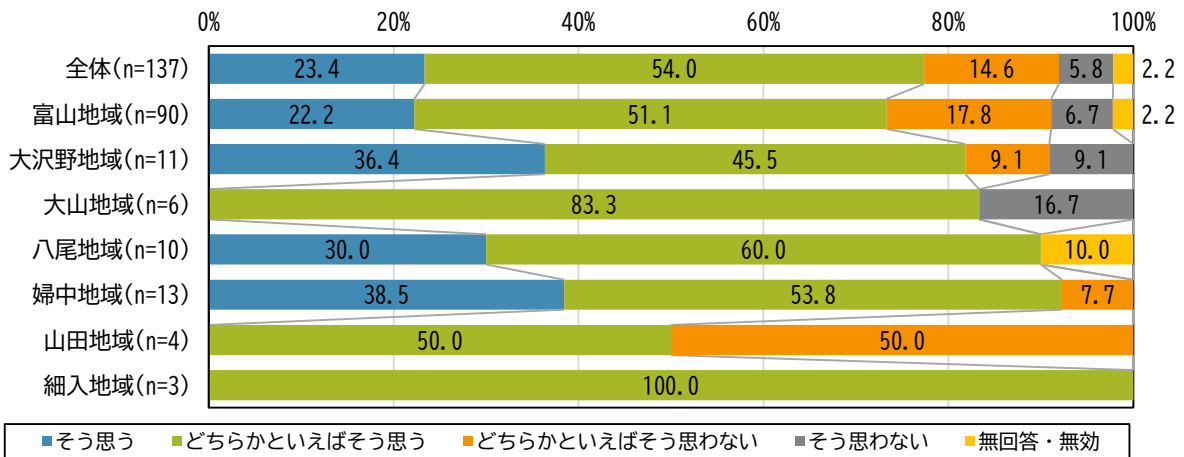


図 d. 町内会長の仕事の負担が大きすぎる（地域別）

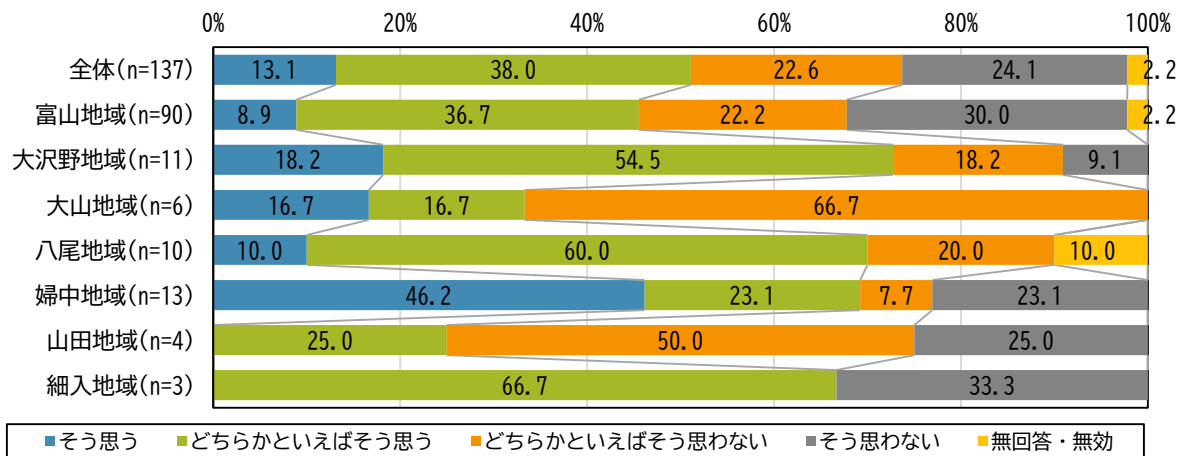


図 e. 負担に見合うだけの、報酬があるべきだ（地域別）

## (2) 町内会長業務の負担 (問4)

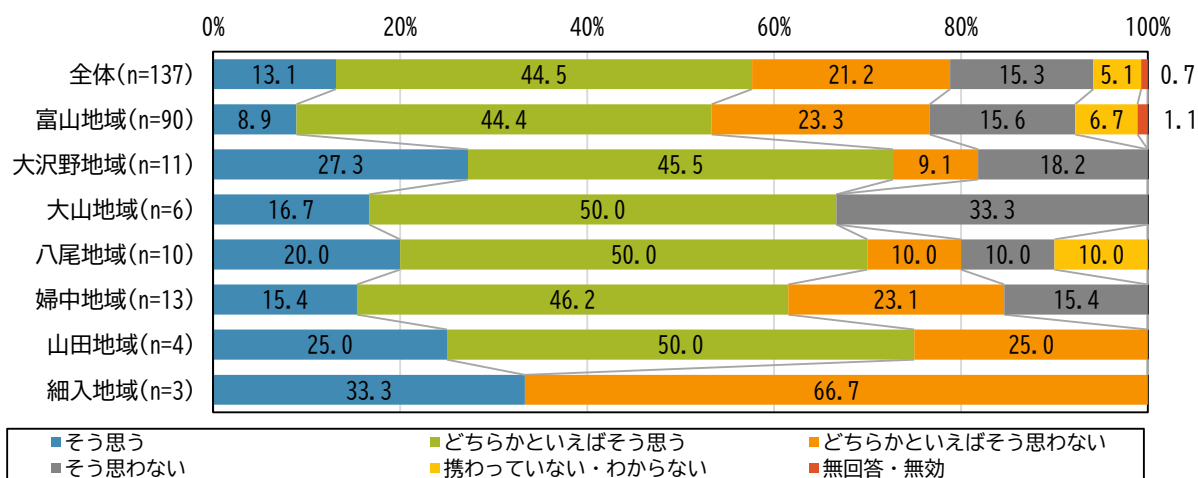


図 a. 市からの回覧・配布物 (地域別)

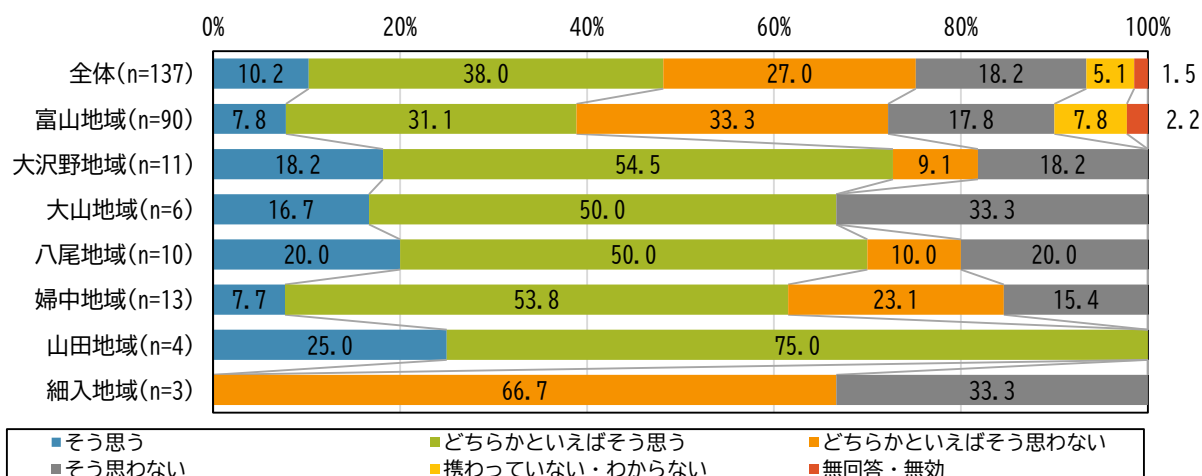


図 b. 市以外からの回覧・配布物 (地域別)

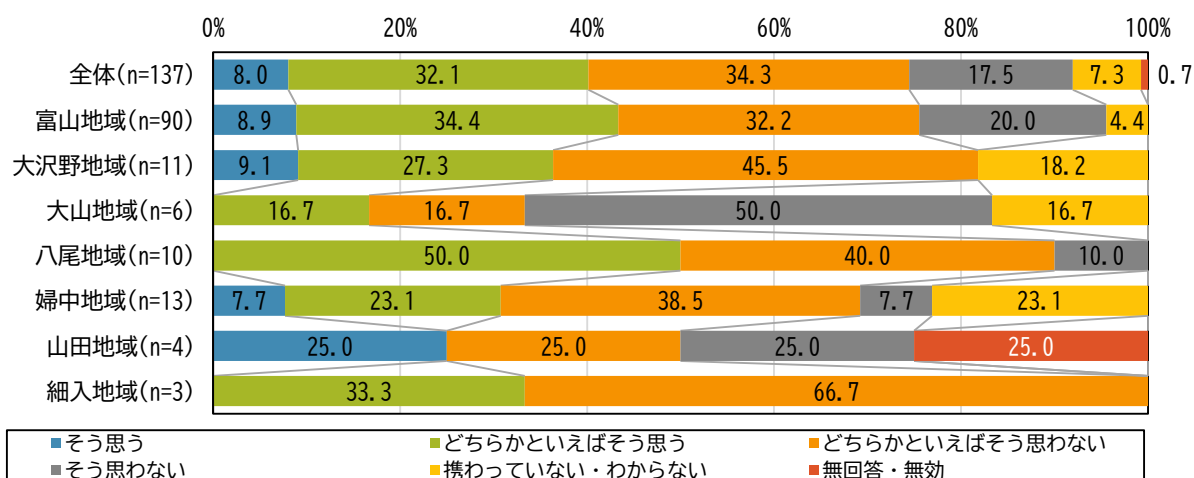
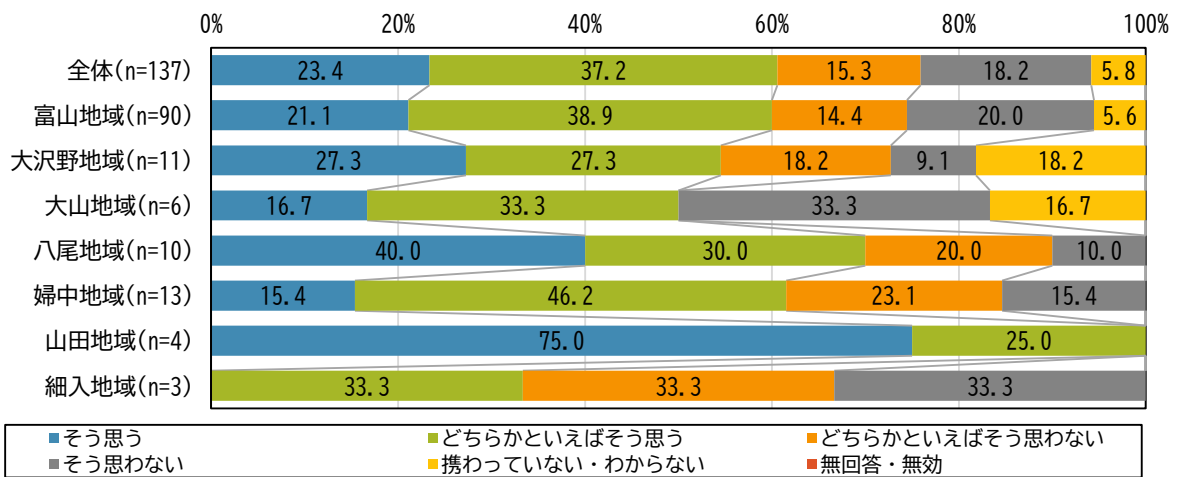


図 c. 道路や公園の清掃 (地域別)



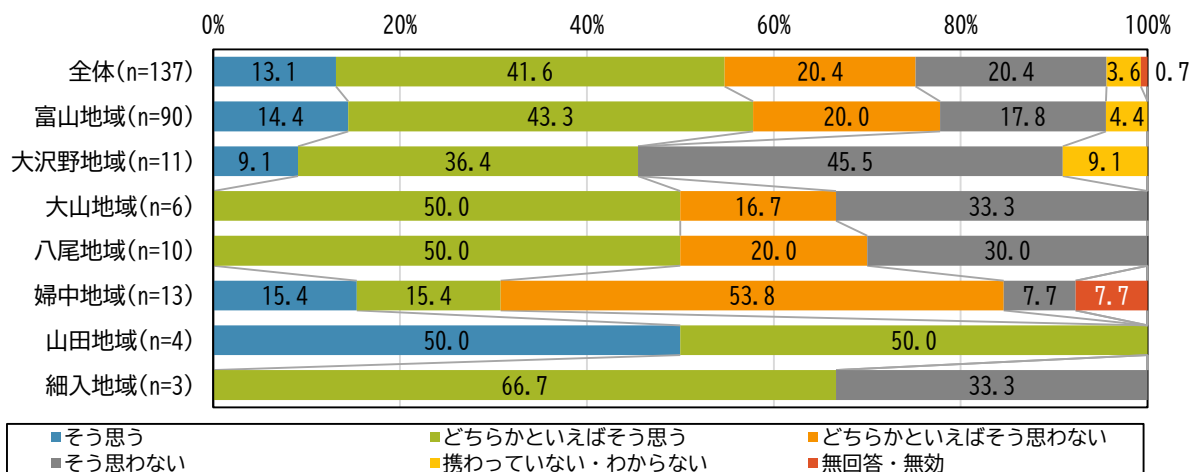


図 g. 施設（ごみステーション・街路灯など）の管理（地域別）

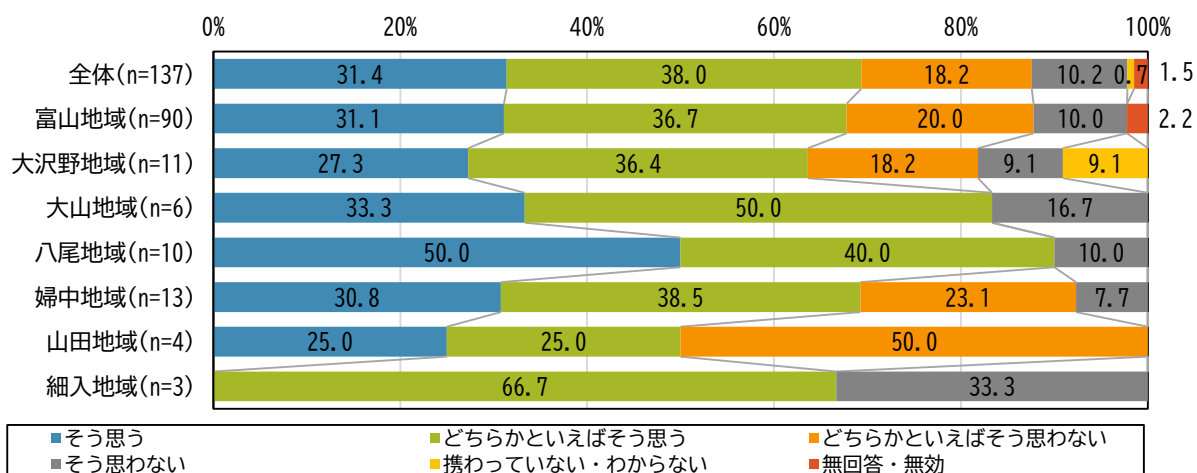


図 h. 地域の苦情処理（地域別）

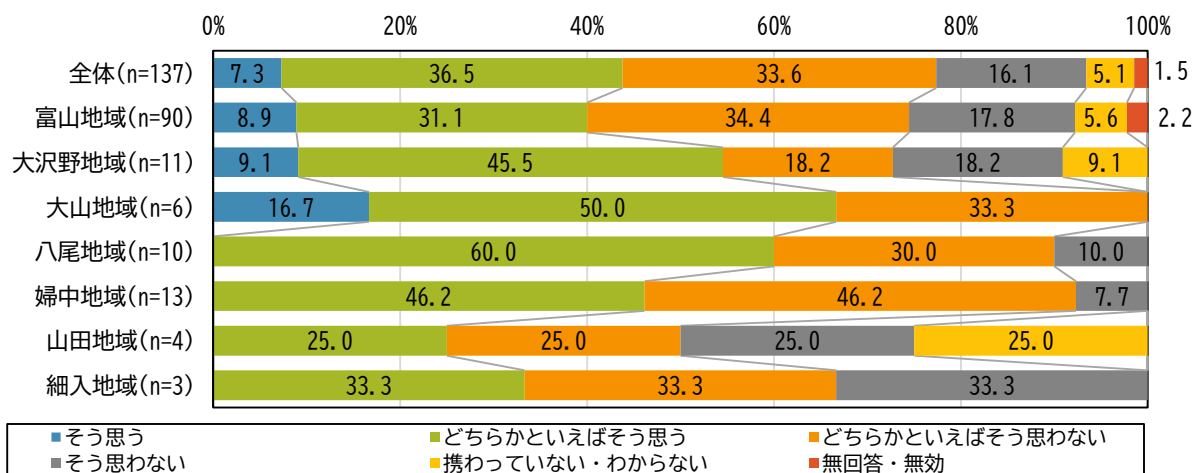


図 a. 他団体との連携（地域別）

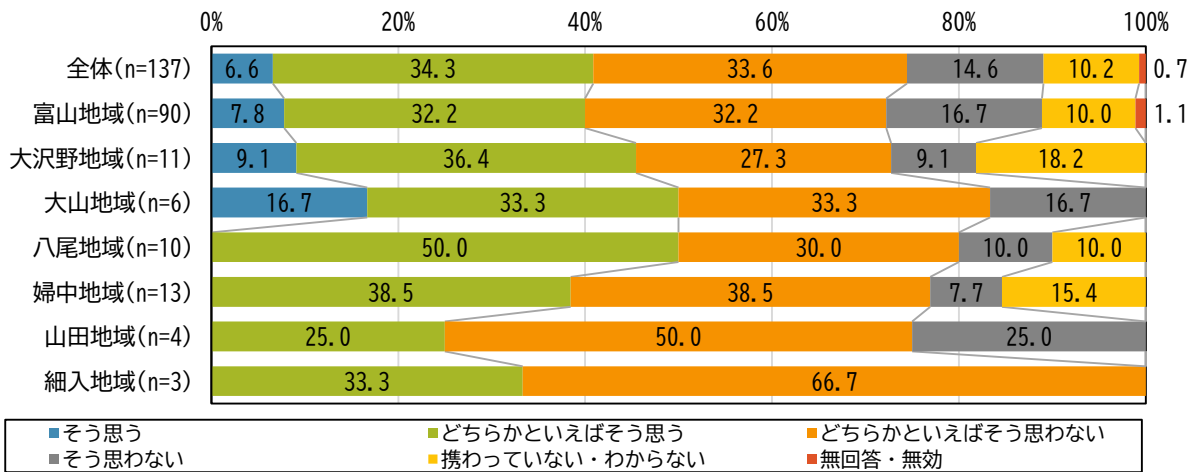


図 j. 防犯活動（地域別）

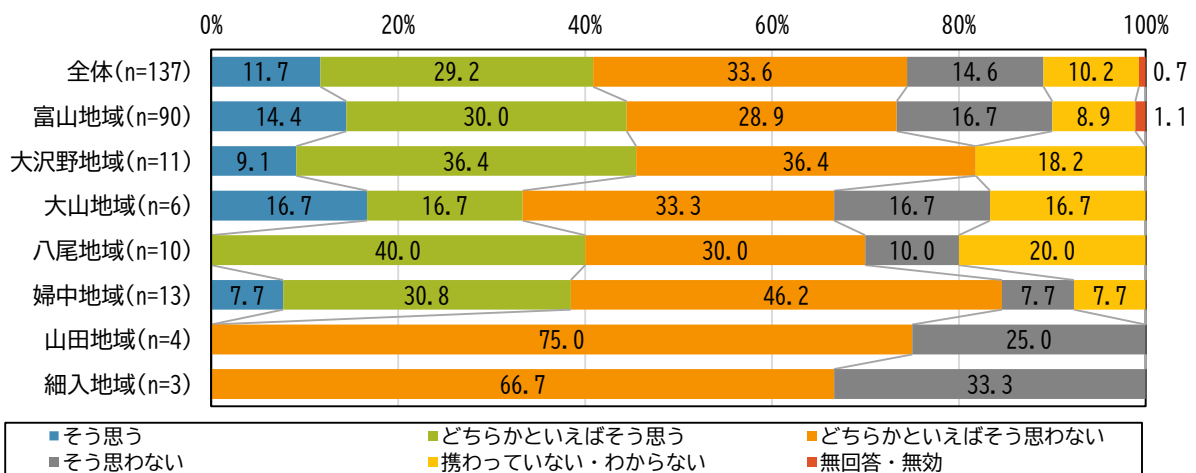


図 k. 防災活動・防災訓（地域別）

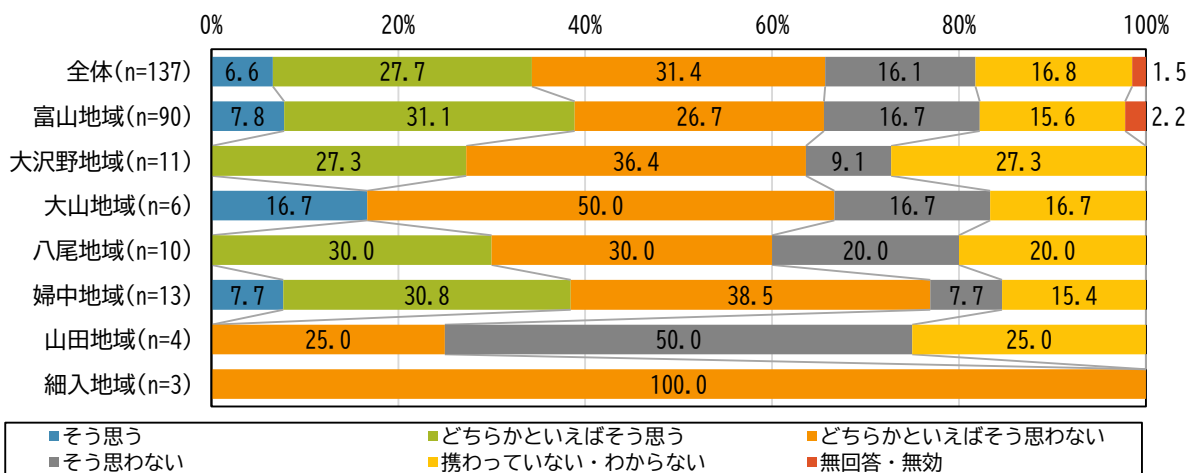


図 l. 福祉活動（地域別）



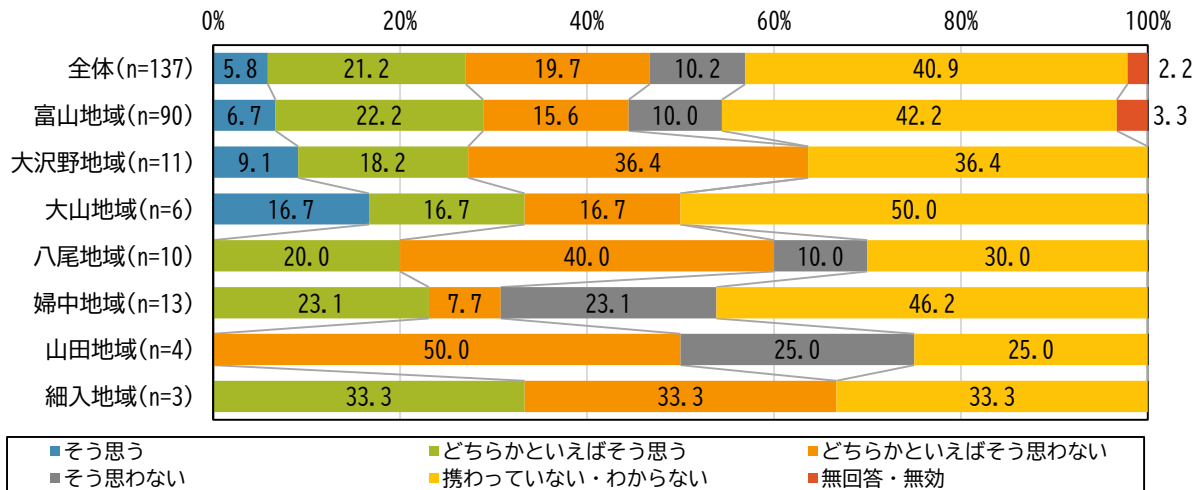


図 m. デジタル化（地域別）

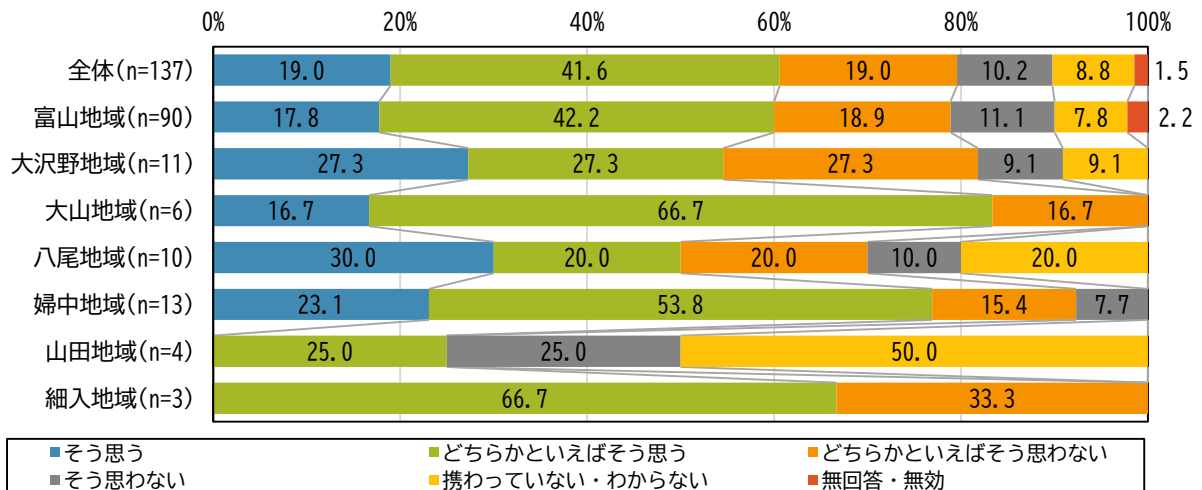


図 n. 町内会長に割り当てられるあて職（地域別）

## 2. アンケート票

### 富山市町内会アンケート調査ご協力のお願い

町内会長の皆様には、日頃から市政に関してご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

本市では町内会を中心とした地域のまちづくり活動が一層活発になるため町内会長の皆様を対象に、どのような施策・事業が必要かを検討していきたいと考えており、その基礎資料とするため、町内会の実態調査を実施するものです。

つきましては、ご多用中のところ、大変恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和5年 8月 10日

富山市市民生活部地域コミュニティ推進課

#### 調査票ご記入にあたっての留意事項

- ご回答は、町内会長ご本人がご記入ください。
- 回答のしかた
  - (1) 最もよくあてはまる番号を1つ○で囲んで、お答えください。
  - (2) 「あてはまるものすべて」と指示がある場合は、いくつでも○をつけてください。
  - (3) 答えのあとに ⇒問〇〇△ と進み方の指示がある場合は、その指示にしたがってお進みください。
  - (4) 設問によっては「その他」など、お考えを記入していただく場合もありますので、ご自由に記入願います。
- 回答期限：令和5年9月8日（金）まで
- 提出場所：最寄りの地区センター

第1章 町内会の概要

1. 町内会の概況について(令和5年5月1日現在)

問1 町内会の概況についてお答えください。

①地域	1. 富山地域	2. 大沢野地域	3. 大山地域	4. 八尾地域
②結成時期	5. 嶺中地域	6. 山田地域	7. 細入地域	
③世帯教・班数	1. 昭和20年代以前	2. 昭和30年代	3. 昭和40年代	
	4. 昭和50年代～60年代	5. 平成以降	6. 不明	
	( ) 世帯 ( ) 班			

2. 役員・町内会長について

問2 町内会長ご自身についてお答えください。

①性別	1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
②年齢	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代
	4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳代
	7. 80歳代以上		
③会長の任期	1. 1年	2. 2年	3. 3年
④在職年数 <small>※暫年は選挙</small>	4. 任期は定めていない	5. その他( )	
	1. 1年未満	2. 1～2年未満	3. 2～3年未満
	4. 3～5年未満	5. 5～10年未満	6. 10年以上
⑤ご職業	1. 会社員	2. 公務員	
	3. 自営業	4. 農業	
	5. 無職	6. その他( )	
⑥兼任している役職	1. 兼任していない	2. 民生委員・児童委員	
	3. 主任児童委員	4. スポーツ推進員	
	5. その他( )		
⑦会長の選出方法	1. 役員の間での互選	2. 役員会や選挙委員による推薦	
	3. 前会長の指名	4. 輪番制(班ごとの持ち回り)	
	5. 抽選	6. ルート型 (副会長などの役員を経歴して会長となる)	
	7. その他( )		

問3 町内会長の業務について、どのようにお考えですか。  
a.～e.のそれぞれについて○をつけてください。

	町内会長の業務について			
	1. そう思う	2. どちらか というば そう思う	3. どちらか というば そう思わ ない	4. そう思わ ない
(記入例) a. 地域の人々に頼りにされ、やりがいがある仕事である	①	2.	3.	4.
b. 地域の人々に頼りにされ、やりがいがある仕事である	1.	2.	3.	4.
c. 町内会長をとめることは名誉なことだ	1.	2.	3.	4.
d. 町内会長としての責任は重い	1.	2.	3.	4.
e. 町内会長の仕事の責任が大きすぎる	1.	2.	3.	4.
f. 負担に見合うだけの報酬があるべきだ	1.	2.	3.	4.

問4 町内会長として携わる以下の業務について、負担が大きいかと感じていますか。  
a. ~o. のそれぞれについて○をつけてください。

	業務の負担が大きいか				
	1. 全く思いません	2. ほとんど思いません	3. 思いません	4. 思わない	5. 思っている
(記入例) a. 市からの回覧・配布物	1.	2.	3.	4.	5.
a. 市からの回覧・配布物	1.	2.	3.	4.	5.
b. 市以外からの回覧・配布物	1.	2.	3.	4.	5.
c. 道路や公園の清掃	1.	2.	3.	4.	5.
d. 祭り・運動会等の行事	1.	2.	3.	4.	5.
e. 地域整理のとりまとめ	1.	2.	3.	4.	5.
f. 募金活動	1.	2.	3.	4.	5.
g. 施設（ごみステーション・ 街路灯など）の管理	1.	2.	3.	4.	5.
h. 地域の苦情処理	1.	2.	3.	4.	5.
i. 他団体との連携	1.	2.	3.	4.	5.
j. 防犯活動	1.	2.	3.	4.	5.
k. 防災活動・防災訓練	1.	2.	3.	4.	5.
1. 福祉活動	1.	2.	3.	4.	5.
m. デジタル化	1.	2.	3.	4.	5.
n. 町内会長に割り当てられる あて職	1.	2.	3.	4.	5.
o. その他 ( )	1.	2.	3.	4.	5.

3. 財政について

問5 1戸あたりの町内会費（年額）をご記入ください。  
※ 店舗等は除く、一般世帯の金額です。

1戸あたり年額	円
---------	---

問6 町内会費の徴収方法は可ですか。

1. 集金	2. 振込
3. その他( )	

問7 町内会費の徴収に關して、負担に感じていることはありますか。

1. 負担に感じていない	2. 現金の取り扱い
3. 留守宅への専訪問	4. 対面での対応
5. 集金する回数が多い、(月一回など)	6. その他( )

問8 あなたの町内会の役員について具体的な人数と、役員に対する手当の有無について、以下の表にご記入ください。

役員名	人数	うち女性的人数	手当の有無	
			1. あり	2. なし
会長	人	人	1.	2.
副会長	人	人	1.	2.
部長	人	人	1.	2.
副部長	人	人	1.	2.
会計	人	人	1.	2.
監事	人	人	1.	2.
班長	人	人	1.	2.
その他( )	人	人	1.	2.
その他( )	人	人	1.	2.
その他( )	人	人	1.	2.

4. 総会への参加状況について

問9 町内会の総会に、住民の皆様はどの程度参加されていますか。

1. 委任状がほとんどで、ほぼ役員だけが参加している
2. 1～2割の住民が総会に参加する
3. 2～5割の住民が総会に参加する
4. 5割を超える住民が総会に参加している
5. 規約や規定で役員等だけの総会としている
6. その他 ( )

第Ⅱ章 町内会の活動

1. 活動場所

問10 あなたの町内会には自治公民館や集会所がありますか。  
 「1. あり」と回答した方は所有形態について、「2. なし」と回答した方は打ち合わせや会議の場所についてお答えください。

1. あり	自治公民館や集会所の所有形態
2. なし	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 町内会で単独所有している</li> <li>2. 複数の町内会で共用（連合町内会等で所有など）</li> <li>3. その他 ( )</li> </ol>
	打ち合わせや会議の場所（あてはまるものすべてに○）
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個人の住宅</li> <li>2. 会議のたびにご会議室を借りている（公共施設、民間施設などの貸室）</li> <li>3. 飲食店など（ファミリーレストラン、居酒屋、喫茶店、商店など）</li> <li>4. その他 ( )</li> </ol>

2. 活動状況

問11 町内会活動についてお聞きます。a.～p.それぞれについて「活動の有無」をお答えください。「2. あり」と回答した方は、「(1)活動の頻度」「(2)参加者数」についてお答えください。

活動の有無	「2. あり」と回答した方のみ								
	(1)活動の頻度								
1. なし	2. あり	1. 毎月1回以上 の頻度	2. 毎月1回 の頻度	3. 毎月1回以上 の頻度	4. 年に1回以上 の頻度	5. 年に1回 の頻度	6. 年に1回以上 の頻度	7. 年に1回以上 の頻度	8. 年に1回以上 の頻度
	1. あり	1. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	3. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	4. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	5. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	6. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	7. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	8. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.
a. 除害に関する活動	1. 2.	1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	3. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	4. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	5. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	6. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	7. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	8. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.
b. 交通安全推進活動	1. 2.	1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	3. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	4. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	5. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	6. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	7. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	8. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.
c. 子どもの安全の見守りなどの活動	1. 2.	1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	3. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	4. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	5. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	6. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	7. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	8. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.
d. 犯罪防止活動（空き巣、自転車泥棒、暴行行為など）	1. 2.	1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	3. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	4. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	5. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	6. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	7. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	8. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.
e. 災害の予防や災害時の対策についての活動	1. 2.	1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	3. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	4. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	5. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	6. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	7. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	8. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.
f. 地域の清掃やリサイクルなど地域の環境美化活動	1. 2.	1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	3. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	4. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	5. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	6. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	7. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	8. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.
g. パソコン、教室や生涯学習など教育・学習活動	1. 2.	1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	3. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	4. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	5. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	6. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	7. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	8. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.
h. 子ども向けの遊具、乳幼児保育など子育て活動	1. 2.	1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	3. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	4. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	5. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	6. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	7. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	8. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.
i. 高齢者・障がい者への支援など保健福祉活動	1. 2.	1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	3. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	4. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	5. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	6. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	7. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	8. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.
j. 祭りや伝統芸能などの維持・保存活動	1. 2.	1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	3. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	4. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	5. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	6. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	7. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	8. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.
k. 音楽、演劇など文化芸術やスポーツの振興を図る活動	1. 2.	1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	3. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	4. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	5. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	6. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	7. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	8. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.
l. 懇親会や新年会など、町内会の住民との交流を図る活動	1. 2.	1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	3. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	4. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	5. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	6. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	7. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	8. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.
m. 他団体との交流を図る活動	1. 2.	1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	3. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	4. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	5. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	6. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	7. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	8. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.
n. 行政機関・議会に対する要望等	1. 2.	1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	3. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	4. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	5. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	6. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	7. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	8. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.
o. 行政の計画策定への参加	1. 2.	1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	3. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	4. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	5. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	6. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	7. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	8. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.
p. その他 ( )	1. 2.	1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	3. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	4. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	5. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	6. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	7. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	8. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.





問20 問19で「1.ある」と答えた方におうかがいします。どのような方法で加入を働きかけましたか、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 直接、住人に対し面談し、加入を勧めた
2. 管理会社（管理組合）、家主に加入を勧めた
3. チラシ（パンフレット）を配布した
4. その他（ ）

問21 未加入者が加入に応じた例がある場合のみお答えください。加入の決め手は何でしたか、最も決め手になったものに○をつけてください。

1. 町内会長や役員のお働きかけ
2. 管理会社（管理組合）、家主の働きかけ
3. チラシ（パンフレット）の配布
4. 文化・教養活動や行事への参加
5. 子ども会、老人会、婦人会などの活動や行事への参加
6. 緑化・美化推進（道路や公園などの緑化、清掃）の必要性への理解
7. 環境整備（ごみステーションの管理、街路灯の維持管理など）の必要性への理解
8. 情報の提供（市、公民館、児童館、社会福祉協議会など）
9. その他（ ）

問22 町内会として会員名簿を作成していますか。「作成している場合」はその活用方法を、「作成していない場合」はその理由についてお答えください。

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作成し、各世帯に配布している</li> <li>2. 作成しているが、配布していない</li> <li>3. 作成していない</li> </ol>	<p><b>名簿の活用方法（あてはまるものすべてに○）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通常の連絡用に使用</li> <li>2. 災害時や緊急時に備えて作成</li> <li>3. その他（ ）</li> </ol> <p><b>作成していない理由（あてはまるものすべてに○）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作成事務の負担が大きい</li> <li>2. 作成について町内会員の理解が得られにくい</li> <li>3. 個人情報のため、管理・保存が難しい（情報もれの恐れ）</li> <li>4. その他（ ）</li> </ol>
---	---

**5. 運営における課題**

問23 町内会の活動を行っていく上での課題についてどのようにお考えですか。a.～g.のそれぞれについて○をつけてください。

	活動上の課題について			
	1. そう思う	2. どちらかというときそう思う	3. どちらかというときそう思わない	4. そう思わない
(記入例) a. 役員のより手が不足している	(1)	2	3	4
a. 役員のより手が不足している	1.	2.	3.	4.
b. 役員が高齢化している	1.	2.	3.	4.
c. 未加入世帯が多い	1.	2.	3.	4.
d. 住民の関心が少ない	1.	2.	3.	4.
e. 新旧住民の交流が難しい	1.	2.	3.	4.
f. 世代間交流が難しい	1.	2.	3.	4.
g. 活動の参加者が少ない	1.	2.	3.	4.
h. 特定の個人しか参加しない	1.	2.	3.	4.
i. 活動内容が慣例化している	1.	2.	3.	4.
j. 活動の指導者がいない	1.	2.	3.	4.
k. 活動経験が不足している	1.	2.	3.	4.
l. 活動のための情報が少ない	1.	2.	3.	4.
m. 活動のPRが不足している	1.	2.	3.	4.
n. 予算が不足している	1.	2.	3.	4.
o. 活動や会議をする場所が少ない	1.	2.	3.	4.
p. 他の地域（町内会）との連携が弱い	1.	2.	3.	4.
q. その他（ ）	1.	2.	3.	4.



第三章 今後の町内会活動

問24 今後の町内会活動についてお聞きします。次の各活動について今後新しく取り組みたい、または内容を充実させたいと思えますか。a.～p.のそれぞれについて○をつけてください。

	活動上の課題について			
	1. そう思う	2. どちらか といえは そう思う	3. どちらか というど そう思わ ない	4. そう思わ ない
(記入例)				
a. 除雪に関する活動	①	2.	3.	4.
a. 除雪に関する活動	1.	2.	3.	4.
b. 交通安全推進活動	1.	2.	3.	4.
c. 子どもの安全の見守りなどの活動	1.	2.	3.	4.
d. 犯罪防止活動(空き巣、自転車 横暴行為など)	1.	2.	3.	4.
e. 災害の子防や災害時の対策について の活動	1.	2.	3.	4.
f. 地域の清掃やリサイクルなど地域の 環境美化活動	1.	2.	3.	4.
g. パソコン教室や生涯学習など教育・ 学習活動	1.	2.	3.	4.
h. 子どものしつけや教育、乳幼児保育 など子育て活動	1.	2.	3.	4.
i. 高齢者・障がい者への支援など保健 福祉活動	1.	2.	3.	4.
j. 祭りや伝統芸能などの維持・保存活 動	1.	2.	3.	4.
k. 音楽、演劇など文化芸術やスポーツ の振興を図る活動	1.	2.	3.	4.
l. 懇親会や旅行会など、町内会の住民 との交流を図る活動	1.	2.	3.	4.
m. 他団体との交流を図る活動	1.	2.	3.	4.
n. 行政機関・議会に対する要望等	1.	2.	3.	4.
o. 行政の計画策定への参加	1.	2.	3.	4.
p. その他 ( )	1.	2.	3.	4.

問25 今後の町内会活動に関して、今後、新しく連携したい、連携を強くしたいと考えている団体がありますか。a.～p.のそれぞれについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

	今後、新しく連携したい、連携を強くしたい団体										
	1. 学区会 (ア) 学区会 (イ) 学区会 (ウ) 学区会 (エ) 学区会 (オ) 学区会 (カ) 学区会 (キ) 学区会 (ク) 学区会 (ケ) 学区会 (コ) 学区会 (サ) 学区会 (シ) 学区会 (ス) 学区会 (セ) 学区会 (ソ) 学区会	2. 学区会 (ア) 学区会 (イ) 学区会 (ウ) 学区会 (エ) 学区会 (カ) 学区会 (キ) 学区会 (ク) 学区会 (ケ) 学区会 (コ) 学区会 (サ) 学区会 (シ) 学区会 (ス) 学区会 (セ) 学区会 (ソ) 学区会	3. 学区会 (ア) 学区会 (イ) 学区会 (ウ) 学区会 (エ) 学区会 (カ) 学区会 (キ) 学区会 (ク) 学区会 (ケ) 学区会 (コ) 学区会 (サ) 学区会 (シ) 学区会 (ス) 学区会 (セ) 学区会 (ソ) 学区会	4. 学区会 (ア) 学区会 (イ) 学区会 (ウ) 学区会 (エ) 学区会 (カ) 学区会 (キ) 学区会 (ク) 学区会 (ケ) 学区会 (コ) 学区会 (サ) 学区会 (シ) 学区会 (ス) 学区会 (セ) 学区会 (ソ) 学区会	5. 学区会 (ア) 学区会 (イ) 学区会 (ウ) 学区会 (エ) 学区会 (カ) 学区会 (キ) 学区会 (ク) 学区会 (ケ) 学区会 (コ) 学区会 (サ) 学区会 (シ) 学区会 (ス) 学区会 (セ) 学区会 (ソ) 学区会	6. 学区会 (ア) 学区会 (イ) 学区会 (ウ) 学区会 (エ) 学区会 (カ) 学区会 (キ) 学区会 (ク) 学区会 (ケ) 学区会 (コ) 学区会 (サ) 学区会 (シ) 学区会 (ス) 学区会 (セ) 学区会 (ソ) 学区会	7. 学区会 (ア) 学区会 (イ) 学区会 (ウ) 学区会 (エ) 学区会 (カ) 学区会 (キ) 学区会 (ク) 学区会 (ケ) 学区会 (コ) 学区会 (サ) 学区会 (シ) 学区会 (ス) 学区会 (セ) 学区会 (ソ) 学区会	8. 学区会 (ア) 学区会 (イ) 学区会 (ウ) 学区会 (エ) 学区会 (カ) 学区会 (キ) 学区会 (ク) 学区会 (ケ) 学区会 (コ) 学区会 (サ) 学区会 (シ) 学区会 (ス) 学区会 (セ) 学区会 (ソ) 学区会	9. 学区会 (ア) 学区会 (イ) 学区会 (ウ) 学区会 (エ) 学区会 (カ) 学区会 (キ) 学区会 (ク) 学区会 (ケ) 学区会 (コ) 学区会 (サ) 学区会 (シ) 学区会 (ス) 学区会 (セ) 学区会 (ソ) 学区会	10. 学区会 (ア) 学区会 (イ) 学区会 (ウ) 学区会 (エ) 学区会 (カ) 学区会 (キ) 学区会 (ク) 学区会 (ケ) 学区会 (コ) 学区会 (サ) 学区会 (シ) 学区会 (ス) 学区会 (セ) 学区会 (ソ) 学区会	11. 学区会 (ア) 学区会 (イ) 学区会 (ウ) 学区会 (エ) 学区会 (カ) 学区会 (キ) 学区会 (ク) 学区会 (ケ) 学区会 (コ) 学区会 (サ) 学区会 (シ) 学区会 (ス) 学区会 (セ) 学区会 (ソ) 学区会
(記入例)	①	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.
a. 除雪に関する活動	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.
b. 交通安全推進活動	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.
c. 子どもの安全の見守りなどの 活動	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.
d. 犯罪防止活動(空き巣、自転車 横暴行為など)	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.
e. 災害の子防や災害時の対策に ついで活動	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.
f. 地域の清掃やリサイクルなど 地域の環境美化活動	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.
g. パソコン教室や生涯学習など 教育・学習活動	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.
h. 子どものしつけや教育、乳幼 児保育など子育て活動	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.
i. 高齢者・障がい者への支援な ど保健福祉活動	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.
j. 祭りや伝統芸能などの維持・ 保存活動	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.
k. 音楽、演劇など文化芸術やス ポーツの振興を図る活動	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.
l. 懇親会や旅行会など、町内会 との交流を図る活動	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.
m. 他団体との交流を図る活動	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.
n. 行政機関・議会に対する要望 等	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.
o. 行政の計画策定への参加	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.
p. その他 ( )	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.





## 富山市町内会アンケート調査 報告書

令和6年3月発行

富山市市民生活部地域コミュニティ推進課  
〒930-8510 富山県富山市新桜町7番38号  
TEL : 076-443-2046 FAX : 076-443-2176